

令和6年度 事業報告書



自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

理 念 市民の笑顔あるれる支え合いのまちなは
～頼られる社協を目指して～

職員行動原則

- 一．私たちは地域住民に寄り添い、柔軟な姿勢で対応します
- 一．私たちは使命感を持って、新たなことにチャレンジします
- 一．私たちは仲間の個性を認め合いチームワークで対応します
- 一．私たちは福祉サービスの質の向上と自己研鑽に努めます
- 一．私たちは感謝と笑顔を大切にします

社会福祉法人那覇市社会福祉協議会

令和6年度那覇市社会福祉協議会事業報告書（目次）

目 次

事業総括	P. 1
1. 組織基盤の整備	P. 3
(1) 会務の運営	
(2) 会員の拡充強化	
(3) 福祉活動の財源の確保	
(4) 事務局体制の基盤整備	
(5) 研修の推進	
(6) 那覇市社協第4次強化発展計画の実施	
(7) 各種規程・規則等の整備	
(8) 監査の実施	
(9) 正規職員採用	
(10) 那覇市民生委員児童委員連合会への職員派遣	
(11) 食を通じた見守り支援事業	
2. 地域福祉活動の推進	P. 13
(1) 安心生活創造推進事業（市受託）	
(2) 地域ふれあいデイサービス事業（市受託）	
(3) 生活支援コーディネーター配置事業（市受託）	
(4) 地域支えあい訪問型サービス事業（市受託）	
(5) 歳末たすけあい見舞激励金事業	
(6) 歳末たすけあいクリスマスケーキ配布事業	
3. ボランティア活動・福祉教育の推進	P. 69
(1) ボランティア市民活動センターの運営事業	
(2) 啓発広報活動の推進	
(3) ボランティアコーディネート活動の推進	
(4) ボランティア団体活動助成事業・支援	
(5) 災害時支援に関すること	
4. 広報活動の推進	P. 79
(1) 社協会報「なは社協だより」の発行	
(2) 第47回那覇市社会福祉大会の開催（市補助）	
(3) インターネットホームページの運用	
(4) ラジオ番組「それいけ!! みんなの なは社協」の実施	
(5) だより編集会議の開催	

5. 福祉関係団体活動の支援・助成	-----P. 82
(1) 福祉関係団体等活動の支援助成	
(2) 介護保険事業関係事業所連絡会への参画（訪問・通所）	
6. ふれあいのまちづくり事業（市補助）	-----P. 93
(1) ふれあい福祉相談室の運営	
(2) 法外援護活動の実施	
7. 生活困窮者に対する相談支援	-----P. 99
(1) 生活福祉資金貸付事業の実施（県社協受託）	
8. 権利擁護支援の推進	-----P. 105
(1) 日常生活自立支援事業（県社協受託）	
(2) 那覇市生活保護世帯金銭管理支援事業（市受託）	
(3) 法人後見事業（成年後見制度の推進）	
(4) 預金通帳等緊急預かり支援事業	
9. 障がい者相談支援・福祉サービス事業の推進	-----P. 129
(1) 特定相談支援事業・障害児相談支援事業	
(2) 那覇市ピアサポート事業（市受託）	
(3) 重度心身障害者医療費等貸付事業（市補助）	
(4) リフト付きバス運行事業（市受託）	
10. 子育て支援事業の実施	-----P. 135
(1) ファミリーサポートセンター事業（市受託）	
(2) ファミリーサポートセンター事業アドバイザー・援助を行う会員研修事業（県委託）	
(3) 子育て世帯訪問育児支援事業（訪問支援員派遣業務）（市受託）	
(4) 子どもの支援団体等へのサポート事業（市受託）	
(5) 子どもの居場所・困窮世帯等支援事業	
11. 介護サービス事業の推進	-----P. 152
(1) 介護保険居宅介護支援事業所の経営	
(2) 介護保険指定通所介護事業所の経営（デイサービスあしびなー）	
(3) 介護保険指定訪問介護事業所の経営（ホームヘルプステーションわかば）	
(4) 障がい福祉サービス事業所の経営（ホームヘルプステーションわかば）	
(5) 移動支援事業（ホームヘルプステーションわかば）（市受託）	
(6) 介護保険・障がい福祉サービス自費サービスの実施	
(7) 一般旅客運送事業（福祉有償移送事業）	
(8) 介護保険・障がい福祉サービスの各事業関連	

12. 那覇市総合福祉センターの指定管理運営（市受託） —————P. 169
- （1）総合福祉センターの指定管理運営
 - （2）金城老人憩の家の指定管理運営
 - （3）金城児童館の指定管理運営
 - （4）ボランティア室の指定管理運営
 - （5）社会福祉センターの指定管理運営
 - （6）ラウンジ運営者公募選定の経過
 - （7）泡消火剤流出事故関連対応
 - （8）人生 100 年時代の手ごたえのある生き方普及啓発事業
13. 那覇市老人福祉センター及び老人憩の家の指定管理運営（市受託） —————P. 178
- （1）那覇市小禄老人福祉センター（かりゆしうるく）の指定管理運営
 - （2）那覇市識名老人福祉センターの指定管理運営
 - （3）那覇市金城老人憩の家の指定管理運営（再掲）
 - （4）とびだせ老人福祉センター（新規）
14. 那覇市児童館（小禄・識名・金城）の指定管理運営 —————P. 208
- （1）那覇市小禄児童館の指定管理運営
 - （2）那覇市識名児童館の指定管理運営
 - （3）那覇市金城児童館の指定管理運営（再掲）
 - （4）つどいの広場事業の受託
15. 沖縄県共同募金会那覇市共同募金委員会の運営 —————P. 234
- （1）赤い羽根共同募金運動の推進
 - （2）歳末たすけあい運動の推進
 - （3）共同募金助成審査委員会の開催
 - （4）配分金事業・歳末たすけあい事業の実施
16. その他の事業 —————P. 239
- （1）南部地区社会福祉協議会連絡協議会への参画
 - （2）物品等貸し出し事業の実施
 - （3）社会福祉士・介護福祉士養成実習の受け入れ
 - （4）実習生・インターンシップ等の受け入れ

令和6年度 那覇市社会福祉協議会 事業報告（案）

事業総括

昨今の少子高齢化や人口減少の進展と、地域社会における相互扶助の精神が希薄化する中、生活困窮、8050問題、ダブルケア、ヤングケアラーといった問題が顕著になっており、制度の狭間で支援が行き届かない困難なケースや、複合的な課題を抱える人々が増加しています。また、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着き、景気は徐々に回復傾向にあるものの、昨年からの物価高騰は、高齢者の単身世帯や低所得者層を中心に深刻な影響を与えています。一方、昨年1月1日に発生した能登半島地震や、沖縄本島北部における大雨災害は甚大な被害をもたらし、被災された方々は長期にわたる避難生活を余儀なくされていることから、復旧・復興に向けて、県内外から継続的な支援金やボランティアなどの支援の輪が広がっています。

さて、地域においては、コロナ禍において住民組織による個別の見守り活動や、地域住民同士の繋がりが重要であることが再認識され、対面での集会や行事など、地域活動は徐々にコロナ禍以前の状況を取り戻しつつあります。

令和6年度は、7つの重点項目を掲げ、地域社会の現状や国の施策を注視しながら、各事業の目的達成に向けて職員間の連携を深め推進してまいりました。

令和6年度 重点項目

1. 包括的支援体制の構築に向けたプログラムへの協働参画
2. 総合相談支援体制の構築及び強化
(コミュニティソーシャルワーク機能の強化と多機関連携)
3. 権利擁護支援センター設置に向けた取り組み
4. 子どもや高齢者の居場所づくり支援と食支援を通じた見守り機能の強化
5. ボランティア活動支援の強化
6. 法人の経営改善と自主財源の充実強化
7. 第3次那覇市地域福祉活動計画の進捗管理及び第4次強化発展計画の精査
(中期経営計画の策定)

第3次那覇市地域福祉活動計画の初年度にあたり、着実な計画の推進と包括的支援体制の構築に向けた重層的支援体制整備事業への移行準備期間として、那覇市が昨年度より庁内推進会議を立ち上げるなど重要な取り組みを進めており、本会としても担当課である福祉政策課との意見交換や、地域福祉審議会の専門分科会への積極的な参画を行ってまいりました。

重点項目の一つであるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置については、行政をはじめ、民生委員児童委員、福祉団体、自治会、校区まちづくり協議会などとの四者会議や懇談会等を通して、CSWの活動と役割の重要性が高まり、第5次那覇市地域福祉計画に示された通り、令和7年度からCSWの人員が1名増員されることとなりました。

相談機能の強化においては、コロナ特例貸付を通じて見られる生活困窮や社会的孤立といった課題に対し、一部署のみでの対応が困難な場合もあり、断らない相談や横断的な連携が不可欠となっています。令和6年度には、民間の助成金を活用した食支援を通じた見守り体制の構築に1年間取り組みました。この取り組みは、地域の課題解決に向けた包括的な支援体制の基盤整備のひとつとなり、行政機関をはじめ既存の関係団体や中間支援団体等との密な連携を図ることが出来ました。また、食支援の継続性の観点から、フードドライブ活動に関する協定を締結する企業・団体も増加しており、他分野における資源開発や社会参加の場づくり等にも繋がっております。

次に、拠点を活かした地域づくりでは、老人福祉センター、児童館、総合福祉センターの指定管理の初年度として、新たな拠点を活用した事業の推進を図ってまいりました。活動拠点にはボランティアの担い手と人材確保は重要であり、市民活動センターのマッチング機能を活かした各事業への支援も行っていました。

本会の自主財源である会費や寄付金、共同募金は、多くの市民、企業、福祉団体等からご支援ご協力を賜り、チャリティゴルフ大会を5年ぶり開催する等財源確保に努めました。また、子どもの食支援及び居場所の運営に対しては、令和6年度も個人・県内外の企業との連携等から多くの物資が寄贈されました。

一方で、自主財源の大きな柱である介護保険事業の収益は依然として厳しい状況にあり、昨年のマイナスからの改善は見られるものの、法人運営の不足分をこれまでの繰越金で充当するなど安定的な運営までには至っていません。人材の確保においては、一部職員に業務過多が生じ、また、将来設計への不安等から正規職員等の転職が続いています。健全な経営と安定した人材確保が喫緊の課題であり、職員とのコミュニケーションを図るための職員面談や地区担当制を実施するなど、部署を超えた職員同士の情報共有や業務の見直しにも着手しています。リスク管理についても研修会等を通じて法人内の管理体制及びガバナンスの強化に努めてまいりました。

次年度に向けて

令和7年度は、第3次地域福祉活動計画の推進に加え、昨年度に十分な精査ができなかった第4次社協強化発展計画の内容や事業評価を、令和7年度に外部コンサルタントを導入しながら、事業の廃止を含めた業務改善を図り、中期経営計画の策定に取り組めます。また、役職員一丸となって本会の使命と役割を再認識し、誰一人取り残されることなく「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向けて、自治会、民生委員・児童委員をはじめとする多様な地域関係者やまちづくり協議会などの任意団体と連携・協働し、中核的な組織としてコーディネート機能を最大限に発揮し、地域福祉の推進に向けた取り組みを着実に邁進してまいります。以上が令和6年度事業報告となります。

令和7年3月31日

社会福祉法人那覇市社会福祉協議会
会 長 川 満 正 人

1. 組織基盤の整備

(1) 会務の運営

①理事会・評議委員会の開催

理 事 (33 期・定数 理事 11 人、監事 3 人)

評議員 (31 期・定数 24 人)

理事会 (開催状況) 3 回開催

月／日	場 所	出席数	議 題
第 1 回 5 月 31 日	那覇市総合福祉センター(2F 大会議室)	理事 11 人 監事 3 人	第1号議案 令和5年度那覇市社協事業報告について 第2号議案 令和5年度那覇市社協一般会計収支決算について 令和5年度監査報告 第 3 号議案 第 33 期理事及び監事候補者の選任案について 第 4 号議案 第三者委員の選任について 第 5 号議案 令和 6 年度第 1 回評議員会（定時評議員会）の開催 及び議事に付すべき事項について 報告事項 ① 会長（全役員含む）職務執行報告（下半期 10 月～3 月）
第 2 回 11 月 19 日	那覇市総合福祉センター(2F 大会議室)	理事 9 人 監事 2 人	第 1 号議案 令和 6 年度第 1 次補正予算について 第 2 号議案 評議員選任・解任委員の選任について 第 3 号議案 第 33 期理事の選任案について 第 4 号議案 評議員選任・解任委員会の招集及び第 31 期評議員 の補充候補者の推薦について 第5号議案 パートタイム職員就業規則の一部改正について 第6号議案 経理規程の一部改正について 第7号議案 令和6年度第2回評議員会の開催及び議事に付すべき 事項について 報告事項等 ① 令和 6 年度社会福祉法人及び社会福祉施設の指導監査結果 について ② 会長の職務執行報告について（上半期 4 月～9 月） ③ 障がい者相談支援事業所ゆいゆい（特定相談・障がい児 相談）事業廃止について
第 3 回 3 月 4 日	那覇市総合福祉センター(2F 大会議室)	理事 10 人 監事 3 人	第 1 号議案 令和 6 年度第 2 次補正予算について 第 2 号議案 令和 7 年度事業計画について 第 3 号議案 令和 7 年度資金収支予算について 第 4 号議案 職員就業規則の一部改正について 第 5 号議案 常勤職員就業規則の一部改正について 第 6 号議案 パートタイム職員就業規則の一部改正について 第 7 号議案 育児・介護休業等に関する規則の全部 第 8 号議案 職員の再雇用に関する規程の改廃について 第 9 号議案 役員等賠償責任保険契約について 第 10 号議案 令和 6 年度第 3 回評議員会の開催及び議事に付す べき事項について 報告事項 ① 泡消火剤（PFOS 等）流出事故の経過報告

評議員会（開催状況）3回開催

月／日	場 所	出席数	議 題
第 1 回 6 月 18 日	那覇市総合福祉センター （2F 大会議室）	16 人	第1号議案 令和5年度事業報告について 第2号議案 令和5年度一般会計収支決算について 令和5年度監査報告 報告事項 ① 会長（全役員含む）職務執行報告（下半期10月～3月） ② 欠席評議員からの訂正依頼・提案事項の報告
第 2 回 12 月 3 日	那覇市総合福祉センター （2F 大会議室）	18 人	第 1 号議案 令和 6 年度第 1 次補正予算について 第 2 号議案 第 33 期理事の補充選任について 報告事項 ① 令和 6 年度社会福祉法人及び社会福祉施設の指導監査結果について ② 会長の職務執行報告について（上半期 4 月～9 月） ③ 障がい者相談支援事業所ゆいゆい（特定相談・障がい児相談）事業廃止について令和 6 年度社会福祉法人 ④ 令和 6 年度赤い羽根共同募金実績報告（中間） ⑤ 見守りフォーラムの案内
第 3 回 3 月 18 日	那覇市総合福祉センター （2F 大会議室）	18 人	第 1 号議案 令和 6 年度第 2 次補正予算について 第 2 号議案 令和 7 年度事業計画について 第 3 号議案 令和 7 年度資金収支予算について 報告事項 ①泡消火剤（PFOS 等）流出事故の経過報告 ②赤い羽根募金実績報告

評議員選任・解任委員会（2回開催）

月／日	場 所	出席数	議 題
6 月 6 日	那覇市総合福祉センター （2F 大会議室 A）	4 人	第 31 期評議員の補充選任について（推薦 4 名）
11 月 26 日	那覇市総合福祉センター （2F 大会議室 B）	5 人	委嘱状交付（5 名） 第 31 期評議員の補充選任について（推薦 1 名）

② 各種部会・委員会の開催

ア. 第三者委員会（委員 3 名）開催回数 1 回

- ・社会福祉法第 82 条の規定に基づき、那覇市社協が提供する福祉サービスに係る苦情への適切な対応を行うため、第三者委員会を設置している。苦情への適切な対応を行うことで福祉サービス利用者の満足度を高めるとともに、提供者である那覇市社協の信頼及びサービス適正性の確保に努めている。

開 催 3 月 26 日（水）14：00～ 大会議室 B

報 告 35 件・他 2 件（地域福祉課 11 件・在宅福祉課 17 件・福祉施設課 7 件・社協へのお手紙等 2 件）

イ. 投書箱「社協へのお手紙」を設置

那覇市社協の指定管理施設（総合福祉センター、老人憩の家・老人福祉センター3施設、児童館3施設）内に投書箱《社協へのお手紙》を設置し、利用者からの苦情や要望等を受け付け、対応・改善に取り組んだ。

③三役会議等の開催

- ア. 三役調整会議の開催（20回開催） 毎月第1・3火曜日
 イ. 業務調整会議の開催（4回開催） 毎週金曜日
 ⇒5月より事業企画検討会議に統合
 ウ. 事業企画検討会議の開催（48回開催） 毎週月曜日

④外部委員会への出席状況

開催日	委員会名	開催場所	参加者
5月23日 10月23日 3月18日	那覇市要保護児童対策地域協議会 実務者会議 実務者会議	協働プラザ 協働プラザ 那覇市役所	宮城哲哉常務理事 高野大秋
5月16日 8月13日 11月7日 2月12日	那覇市民生委員推薦会	那覇市役所	川満正人会長
5月20日 10月2日	那覇市奨学生選考委員会	那覇市役所	真栄城事務局長
5月23日	那覇市青少年健全育成市民会議総会	ほしぞら公民館	真栄城事務局長
5月23日	読売巨人軍那覇協力会役員会	沖縄セルラースタジアムなは	川満正人会長
6月27日	那覇市民憲章推進協議会定期総会	那覇市役所	宮城哲哉常務理事
5月22日	那覇市社会福祉審議会	那覇市役所	前原信達副会長 宮城哲哉常務理事
12月20日	那覇市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会	那覇市役所	前原信達副会長 宮城哲哉常務理事 仲程大輔 高澤祐樹
6月20日 12月10日 3月19日	沖縄県社会福祉協議会 評議員会	沖縄県総合福祉センター	川満正人会長
6月21日 3月18日	沖縄県共同募金会 評議員会	那覇市総合福祉センター	川満正人会長
6月26日	社会福祉法人そてつの会評議員会	ドリームワークそてつ	真栄城事務局長
7月5日	新都心安全なまちをつくる会定期総会・夜間パトロール・清掃活動	協働プラザ	真栄城事務局長
7月2日	那覇市交通安全市民運動推進協議会総会	那覇市職員厚生会	指導監査の為欠席
7月10日～ 7月12日	なはまち未来隊 地域運営組織の先進地視察	兵庫県明石市	仲程大輔
7月23日	那覇市こどものみらい応援プロジェクトネットワーク会議	那覇市役所	仲程大輔

8月16日 3月17日	那覇市空家等対策審議会	那覇市役所	宮城哲哉常務理事
10月8日	那覇市健康ウォーキング推進事業 実行委員会	那覇市役所	代理出席 西銘明子
11月2日	那覇市在宅医療介護連携支援ネットワ ーク協議会	那覇市医師会	真栄城事務局長
8月15日 10月31日 3月27日	那覇市保健医療審議会 地域保健感染分科会 健康増進歯科口腔保健分科会	那覇市保健所	長嶺美佐子副会長
1月30日	那覇市政功労者表彰審査委員会	那覇市役所	宮城哲哉常務理事
10月29日 3月13日	那覇市国民健康保険運営協議会	那覇市役所	宮城哲哉常務理事
9月4日 10月16日 1月29日	在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇 在宅医療・介護の充実 作業部会C	那覇市医師会	仲程大輔
11月13日 12月23日 1月28日 3月19日	こども政策審議会	那覇市役所	仲程大輔
11月22日	那覇市バリアフリー推進協議会	那覇文化芸術劇 場なは一と	仲程大輔
11月25日	那覇市自殺対策関係機関連絡協議会	那覇市保健所	真栄城事務局長
12月18日	那覇市地域包括ケアシステム推進会議	那覇市保健所	仲程大輔

⑤関係行政機関等連絡会の開催

- ア. 那覇市福祉部課長会議への参加（毎週水曜日）
 イ. 担当者間の調整会議を随時開催
 ウ. 那覇市長・那覇市議会議長への要請（補助金及び新規事業への増額要請）

（２）会員の拡充強化

社協会員加入促進月間（６月～７月）を設定し、会員加入を呼びかけ会費納入の拡充を図った。また、パソコン機器を活用して会員台帳の整備を図った。

・会員加入実績

	R6 実績額（件）		R5 実績額（件）		会員構成内容
戸別会員	854,050	85	969,300	96	・各世帯件数（自治会 95 ヲ所）
個人会員	985,313	559	1,075,611	568	・市社協役職員 ・民生委員児童委員 ・学識経験者 ・その他賛同する個人 等
団体会員	366,000	111	413,945	129	・住民組織（小地域社会福祉組織、その他社会福祉に関連のある住民組織） ・福祉団体（当事者等の組織・ボランティア団体） ・福祉関係機関（福祉施設・社会福祉団体・更生保護事業施設・更生保護団体等）

特別会員	1,990,000	195	2,322,000	222	
合 計	4,195,363	950	4,780,856	1,015	

(3) 福祉活動の財源の確保

- ①公・民の助成金等の活用
- ②那覇市社会福祉協議会財政対策積立金の活用
- ③那覇市地域福祉基金等の活用
- ④チャリティゴルフ大会の実施
- ⑤卓上募金箱募金等活動の推進
- ⑥その他自主財源の確保を目的とした事業の推進

ア. 不要入れ歯リサイクル回収ボックスの設置 ※随時

入れ歯等に含まれる金や銀、パラジウムなどの希少金属を取り出して換金し、日本入れ歯リサイクル協会の活動を支援することにより、事務費等の諸経費を除いた収益金がユニセフ協会と社協へ寄附される。現在、那覇市総合福祉センター、那覇市役所、各支所、老人福祉センター等に設置

イ. 寄附型自動販売機の設置

子どもの居場所支援と提携して企業や団体等に自動販売機を設置。売り上げの一部が市社協へ寄附

⑦社協活動へ寄附実績（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

種 別	金 額	件 数
寄附金	20,734,346 円	296 件
（うち、おきぎん Smart アプリ募金）	99,808 円	83 件
こども食堂や生活困窮世帯への食糧や物資提供、活動に関する資金に活用		

(4) 事務局体制の基盤整備（外部専門家導入による組織強化）

①労務環境等の整備

ア. 社会保険労務士法人クローバーと年間の顧問契約を結び、改正労働契約法に基づき、労務環境整備に関する相談を随時行った。 担当：比嘉正人氏

イ. 福利厚生「ソウウェルクラブ」の加入

ウ. 相談窓口「みんなの保健室」設置（幸喜穂乃氏対応）

心の悩みやハラスメント相談など第三者による相談環境を整備

②人材育成研修の実施（人材育成強化プロジェクト）

人事評価制度が人材育成に繋がる効果的な運用に向けて、昨年に引き続き外部講師を活用し職員の人材育成を図った。（講習会及び要綱等整備）

委託先：合同会社 Happy Joy 代表 幸喜 穂乃 氏

③寺田明弘弁護士事務所と顧問契約を結び、月 1 回定期的に弁護士が訪問し、法律問題に対処するための法律相談やテーマ内容に応じて学習会を開催した。

第 1 回	リスク管理・個人情報・クレーム対応 1	4 月 10 日	23 名
第 2 回	リスク管理・個人情報・クレーム対応 2	5 月 15 日	12 名
第 3 回	成年後見制度入門	6 月 5 日	17 名
第 4 回	後見実務について	8 月 7 日	11 名

第5回	沖縄の消費者被害の実態 1	9月11日	12名
第6回	沖縄の消費者被害の実態 2	10月2日	12名
第7回	著作権の侵害について	11月18日	32名
第8回	障がい者への「合理的配慮提供義務化」について	3月5日	21名

④安全衛生委員会（感染症対策委員会）の活動

ア. 定例会議の実施（委員+産業医 11名）

産業医：國吉純郎 先生（小禄病院） ※令和2年度より委託

第1回	6月6日	令和6年度の委員顔合せ／安全衛生委員会の役割/ 令和6年度事業計画について／コロナ関連情報/ (委員9名)
第2回	7月4日	令和6年度事業計画について／令和5年度労災事故報告/ 職場巡視報告 (委員9名)
第3回	8月1日	健康器具の購入について／県内インフルエンザ感染状況/ 職場巡視報告 (委員7名)
第4回	9月5日	ひやみかちなはウォーク 2024 について／感染症関連/ 職場巡視報告 (委員9名)
第5回	10月3日	ひやみかちなはウォーク 2024/ちゅらウォーク 2024 のイベント 参加について/感染症関連／職場巡視報告 (委員7名)
第6回	11月7日	ひやみかちなはウォーク 2024/ちゅらウォーク 2024 のイベント ／感染症関連／職場巡視報告 (委員9名)
第7回	12月5日	ひやみかちなはウォーク 2024/ウォーキングミッション 2024 イベントの参加について／感染症関連／職場巡視報告 (委員8名)
第8回	1月9日	ウォーキングミッション 2024 達成状況/感染症関連/ 職場巡視報告 (委員7名)
第9回	2月5日	事業所健康度診断報告/感染症関連/産業医による健康相談会の 開催について/職場巡視報告 (委員10名)
第10回	3月6日	本年度の事業報告/産業医による健康相談会の報告/ 感染症関連/職場巡視報告 (委員9名)

イ. 安全衛生委員会による健康づくりイベント

「ウォーキングミッション 2024」（対象：職員）

ミッション1：1日1万歩 達成者 47名（お茶1本プレゼント）

ミッション2：2週間平均1万2千歩 達成者 12名（500円商品券プレゼント）

ミッション3：20万達成 達成者 7名（抽選で3名食事券プレゼント）

ウ.「ひやみかちなはウォーク 2024」への給水所の運営協力
開催日 11月10日(日) 安全衛生委員5名動員
内 容 うるくまーいの給水所運営(宇栄原団地前)

エ.感染管理認定看護師による施設訪問と感染対策の支援(職員研修)
開催日:令和7年3月21日(金)17:00~19:00
内 容:デイサービスにおける感染対策のポイント
講 師:沖縄県看護協会 感染管理認定看護師 伊波千恵子氏

⑤安全運転管理に関すること

ア.安全運転管理者 正:西銘明子 副:上地哲司
イ.安全運転管理者講習への参加 11月29日(水)上地/1月31日(金)西銘
ウ.安全運転講習会 4月17日(水)会議室
講師:大同火災海上保険株式会社 業務部あんしん・あんぜん企画推進課
交通安全指導担当課長 照屋 勝則 氏

(5)研修の推進

①那覇市社協職員研修会の開催

ア.新任職員研修会 4月2日(火)事業説明 講師:事業担当職員
4月3日(水)リスクマネジメント研修 講師:寺田明弘弁護士
4月12日(金)人材育成研修 講師:幸喜 穂乃氏
イ.新任職員フォローアップ研修会 10月29日(火) 参加9名
講師:幸喜 穂乃 氏
ウ.接遇研修会(ビジネスマナー編) 4月12日(金)15:00、18:30 参加65名
講師:神谷 トモ子 氏
エ.人材育成研修 10月10日(木) 参加22名
「民間事業者を巻き込んだ新たな地域づくりの展開と住民主体の取り組み」
講師:HITOTOWA INC. 執行役員 奥河 洋介 氏
一般社団法人まちのね浜甲子園 井川 舞 氏
オ.管理職研修(面談評価者研修) 10月22日(火)参加19名
講師:幸喜 穂乃 氏

②各種研修会への参加派遣

(6)那覇市社協第4次強化発展計画の実施

①令和4年度に立ち上げた社協経営基盤強化プロジェクトチームを引き継いで
正規職員を中心に各部門事で実施した。

経営基盤強化プロジェクト	令和6年度
(1)組織力強化	那覇市地域福祉活動計画の推進(CSW増員要請)
	那覇社協BCP策定(介護事業BCP作成)
(2)財政基盤・広報強化	広報委員会(社協だより、毎月FMなはラジオ番組)
	財源確保(補助金要請、自主財源)
(3)人材育成強化	人材育成事業(人事評価、研修)

②地区別担当者の組織化

ア.ブロック別:東ブロック・西ブロック

イ. 内 容：毎月1回会議 ※その他、地域のイベントや業務等で対応
③評価委員会の開催なし

(7) 各種規程・規則等の整備

- ①職員就業規則の一部改正について
- ②常勤職員就業規則の一部改正について
- ③パートタイム職員就業規則の一部改正について（2回改正）
- ④育児・介護休業に関する規則の全部改正について
- ⑤経理規程の一部改正について

(8) 監査の実施

①内部監査

令和5年度事業決算監査（会計中心）

期日 令和6年5月17日（金）9：30～16：30

場所 那覇市総合福祉センター2階 大会議室

監事 諸見里安秀氏・金城敏彦氏・有銘寛之氏

②令和6年度社会福祉法人及び社会福祉施設の指導監査

期日 令和6年7月2日（火）9：30～15：00

場所 那覇市総合福祉センター2階 大会議室

所管 那覇市福祉部 福祉政策課 指導監査グループ（4名）

(9) 正規職員採用

①採用試験（2月募集） 応募者 1名 採用者 0名

(10) 那覇市民生委員児童委員連合会への職員派遣

派遣職員：金城香（主任）

1998年4月に那覇市民生委員児童委員協議会（当時）が本会から分離独立したとき以来現在まで、継続して職員派遣を行っている。

(11) 食を通じた見守り支援事業

【事業概要・目的】

休眠預金等活用事業の令和5年度緊急枠を活用した助成事業。資金分配団体である一般社団法人全国食支援活動協力会（東京）の「相談機能付き食支援体制整備事業」に応募し、採択された。事業概要は以下の通り。

事業目的：生活困窮世帯などの見守りや支援に取り組んでいる機関や支援員、子どもの居場所や市民活動団体等を対象に、①活動で必要になる食材のサポート（提供）と、②関係機関がつながる交流会やスキルアップの研修会などを実施し、地域における食を通じた見守り体制の構築に取り組む。

事業予算：2500万円

事業期間：令和6年3月～令和7年2月

支援対象：食を通じた見守り活動に取り組む団体（支援団体）や支援員

（社協、子どもの居場所、関係機関支援員、自治会、民生委員、社会福祉法人など）

支援エリア：那覇市を中心に本島全域（市外は子どもの居場所や社協をメイン対象に）

① 個別支援に関する活動団体向け相談窓口の設置

コーディネーターを2人配置し、事業の推進を担った。

② 個別支援・見守り・アウトリーチ用の食品購入と活動団体への提供

購入：食品・日用品含む約20,806kg 購入費用：約1,358万円

提供：登録団体向け食糧提供件数337件 提供量：28.5トン

※取り扱い物資には、ほかにも寄贈受付分もある

—主な取り扱い品

米、インスタントライス、レトルト食品、缶詰など常温食品

紙おむつ、トイレットペーパー、生理用品など日用品や生活必需品

③ 行政・関係機関との連携（見守り支援のモデル構築・物資連携等）

登録団体（47団体）

内訳：公的機関・事業22か所（社協5か所、包括5か所）

民間法人・事業所4か所、市民活動21か所

④ 広く興味がある人を対象にした、取り組みを知るシンポジウム（活動報告会）の開催

研修会「食を通じた見守り支援と連携」10月25日開催58人参加

「沖縄における食・見守り活動報告会 in 東京」7月26日開催100人参加

⑤ 行政・関係機関・活動団体、活動を始めたい団体や市民を対象にした研修会の開催

・研修会「食を通じた見守り支援と連携」10月25日開催58人参加

- ・「沖縄における食・見守り活動報告会 in 東京」7 月 26 日開催 100 人参加
- ・「食支援のプラットフォームのあり方に関する研修報告会」2 月 13 日開催 35 人参加

⑥ 食材の安定確保に向けた取り組み（寄付寄贈のコーディネートや仕組みづくり）

- ・子どもの居場所支援の主管課である県こども家庭課と連携し、寄贈コーディネートの連携や、企業紹介、沖縄県全体のロジハブ体制構築に取り組む勉強会（プラットフォームづくり、全 6 回）に取り組んだ。
- ・持続性が高まるように、大口寄付者に寄付受付・支援方法の構築を目指して、営業やコーディネートを進めた
- ・KFC 食材チキン提供プロジェクトとして、調理実習を開催し、利用団体を増やした

⑦ 食を通じた支援のニーズ、必要となる食糧数の分析（物資提供団体へのヒアリングや調査）

- ・登録団体への支援実績、意見交換を通じた分析
- ・登録団体から支援を受ける利用者向けアンケートを通じた分析

⑧ 資金分配団体と連携した、東京での大手企業や行政担当者らを対象にした取り組みと沖縄の現状発信勉強会の開催

- ・「沖縄における食・見守り活動報告会 in 東京」を 7 月 26 日に開催。参加者は会場・ZOOM 合わせて約 100 人が参加。6 割が県外からの参加者だったため、広く沖縄の現状などを発信できた。報告会后に、実際の支援や問い合わせにつながった。

2. 地域福祉活動の推進

(1) 安心生活創造推進事業（市受託）

【事業目的】

地域におけるつながりの中で、住民が持つ多様なニーズや生活課題に柔軟に対応できるよう、地域住民のニーズ・生活課題の把握、住民主体の活動支援・情報発信、地域コミュニティを形成する居場所づくり、多様な担い手が連携する仕組みづくりを行うことを通じて、身近な地域における共助の取組を活性化させ、地域福祉の推進を図ることを目的としている。

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の配置状況

本庁地区	主事 高澤 祐樹	全域統括 主査 前川 三奈
首里地区	主事 國場 優美	
真和志地区	主事 玉城 愛梨	
小禄地区	主事 崎原 優維	

【業務内容】

[1] 地域住民のニーズ・生活課題の把握

住民のニーズや生活課題、それらに対応する社会資源の状況などについて、実態把握を行う。

① 近隣住民による安否確認・見守り訪問等の支援

ア. 個別及び近隣住民からの新規個別支援対応及び継続支援

イ. 個人宅を訪問し緊急医療情報キットの再登録及び新規設置



泊新港埠頭で、制度につながっていない方への個別支援を実施



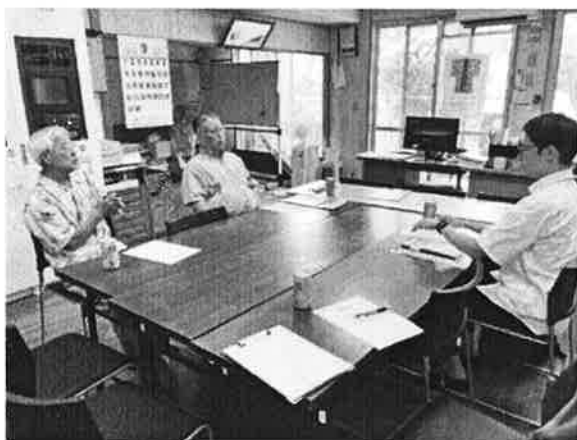
草刈りをきっかけに、孤立しがちな住民と地域住民をつなぐ取り組み

② 地域見守り会議へのコミュニティソーシャルワーカーの参加

見守り会議は、見守り隊からの情報共有の場であり、必要があれば、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）や地域包括支援センター等の専門機関に繋がれることから重要な取

地区	月/回数 (参加回数)													参加者
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	累計	
本 庁	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	6	高澤・崎原
	壺川市営 (3) 泉崎1丁目 (1) 県営天久高層 (2)													
真 和 志	5	4	4	2	3	0	3	4	4	0	5	4	38	玉城・國場
	末吉市営 (8) 真地団地 (8) 真地自治会 (3) 繁多川4丁目 (9) 識名団地 (2) 与儀市場通り (3) 上間自治会 (1) 識名市営 (3) 県営松川 (1)													

	10	2	5	1	5	4	7	5	3	3	7	4	56	
首里	大名第二団地 (2) 大名市営 (4) 久場川 (5) ペンタス (4) 知念商店 (9) 山川町 (4) 桃原町 (3) 寒川町 (1) 金城町 (6) 城東 (1) 石嶺市営 (7) 石嶺ハイツ (10)													國場
小禄	1	0	0	2	0	0	0	0	2	0	1	1	7	崎原
	宇栄原団地 (1) 東雲 (2) キッズ見守り (ペリー保育園) (3) 當間 (1)													
	合計 28 箇所 (107 回)													



県営天久高層住宅自治会見守り会議の様子



与儀市場通り見守り会議の様子



大名市営住宅自治会見守り会議の様子



キッズ見守り訪問活動の様子
(ペリー保育園)

③ 他機関・団体会議の参加

市内 36 小学校毎の協働による地域福祉推進体制の充実と、小学校区毎の拠点づくりを推進するために、地区担当制を配置しながら市のまちづくり協議会や 18 民生委員児童委員協議会等へ参画を図っている。

ア. 校区まちづくり協議会との連携

日 時	小学校区名	議題内容・依頼内容	参加職員
4月5日(金)	若狭小学校区	R6年度の活動について	高澤
4月23日(火)	城東小学校区	令和6年度定期総会について	國場
5月10日(金)	上間小学校区準備会	自己紹介・情報交換会	玉城
5月16日(木)	金城小学校区	令和6年度 定期総会	崎原・前川
5月28日(火)	小禄南小学校区	第7回 総会&交流会	崎原・前川
6月20日(木)	金城小学校区	1年の日程確認、防災チームの運営計画について	崎原
7月4日(木)	高良小学校区 たまご会	趣意書確認、役員選出	崎原
7月18日(木)	金城小学校区	避難所運営のマニュアル確認、団地祭りでの炊き出し訓練について	崎原
7月24日(水)	銘苅小学校区	定期総会	高澤
7月25日(木)	石嶺小学校区	地域情報交換	國場
7月31日(水)	金城小学校区	金城中学校 防災倉庫棚卸し	崎原
8月1日(木)	高良小学校区 たまご会	準備会への移行準備、兵庫県明石市視察の報告	崎原
8月5日(月)	城西小学校区	福祉部会地域見守り隊について 情報交換	國場
8月10日(土)	金城小学校区	炊き出し訓練	崎原
8月15日(木)	金城小学校区	7月の防災備蓄倉庫棚卸しについて 報告	崎原
8月19日(月)	城西小学校区	全体部会地域見守り隊について 情報交換	國場
8月27日(火)	城東小学校区	ハロウィン・イルミネーション設置及び美化作業について・フードライブ贈呈式	國場
9月2日(月)	上間小学校区準備会	地域イベントへの参加について	玉城
9月4日(水)	真和志小学校区	まわしティーダ祭りに向けた会議	玉城

9月5日(木)	高良小学校区準備会	準備会設立、今後の活動について	崎原
9月12日(木)	泊小学校区 準備会	まちづくり協議会設立に向けた 今後の進め方について協議	高澤
9月24日(火)	小祿南小学校区	防災マップ、防災イベントについて	崎原
10月3日(木)	高良小学校区準備会	防災講座開催について、子どもの居 場所について紹介	崎原・前川
10月9日(水)	与儀小学校区	第9回 よぎトックリキワタまつりに 向けた会議	玉城
10月15日(火)	天妃小学校区	防災キャンプ開催に向けた企画会議	高澤
10月24日(木)	石嶺小学校区	地域情報交換	國場
11月26日(火)	石嶺小学校区	石嶺雨水地下貯水施設についてワー クショップ	國場
12月5日(木)	高良小学校区準備会	防災講座の準備	崎原
12月8日(日)	高良小学校区準備会	防災講座、ワークショップ	崎原
2月2日(日)	石嶺小学校区	グランドゴルフ交流会	國場
3月6日(木)	高良小学校区準備会	リユースボックスの設置、セントラ ルクリニック開所について	崎原
3月11日(水)	松川小学校区 準備会	松川小学校区地域カルテの紹介、ま ち協で取り組みたいことについて	玉城
3月19日(月)	天妃小学校区	R6年度の活動振り返り	高澤



かなぐすくまち協炊き出し訓練



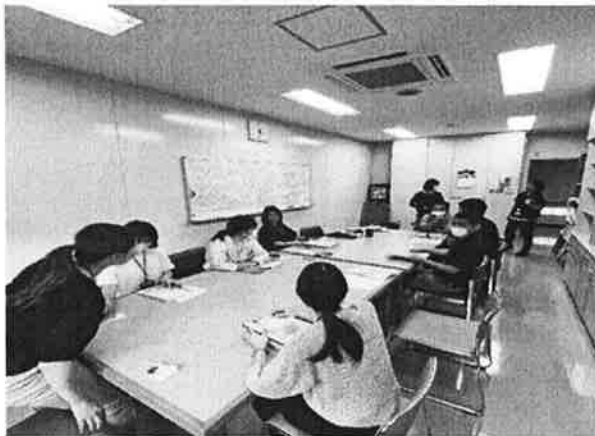
古蔵小学校区地域大ゆんたく会

イ. 関係機関会議参加

日 時	関係機関名	議題内容・依頼内容	参加職員
4月25日(木)	学校と地域コミュニティ 顔合わせ会	小学校、中学校の校長・教頭と 地域関係者による顔合わせ	玉城
4月26日(金)	繁多川地域計画報告会	令和5年度繁多川地域計画の教 育部会、福祉・防災部会に関す る振り返り	玉城
5月8日(水)	担当者会議参加	Yさん担当者会議(保護課・障 がい福祉課・保健所)	國場・前川
5月23日(木)	包括支援センター新都心	第1回地域ケア会議 R6年度取り組んでいきたいこ との意見交換会	高澤・崎原
5月23日(木)	精神保健医療福祉連携 会議作業部会	R5年度地域生活支援促進事業 の振り返り	高澤・國場・ 崎原
6月7日(金)	医療生協 各支部会	医療生協支部会議にて、緊急医 療情報キット説明会開催	高澤・崎原
7月2日(火)	医師会	普及啓発の実績報告、課題・対 応策の検討	仲程課長・ 前川・崎原
7月3日(水)	小緑北地域福祉推進会	親睦グラウンドゴルフ大会	前川・崎原
7月9日(火)	金城児童館地域関係者懇 談会	関係者顔合わせ、金城地域の現 状共有	崎原・前川
8月8日(木)	包括支援センター新都心	第2回地域ケア会議 地域カルテ作りのための企画会 議	高澤
8月26日(月)	精神保健医療福祉連携会 議作業部会	統合失調症患者の支援方法と関 わり方について	高澤・玉城・ 國場・崎原
8月30日(金)	包括支援センター安謝	第1回ケア会議 ～なじみの仲間といつまでもち ゃーがんじゅうで過ごすには～	高澤
9月5日(木)	包括支援センター城岳	「第1回おさんぽウォーク」調 整会議	高澤
9月27日(金)	包括支援センター安謝	第2回ケア会議 ～自治会集会所を活用して居場 所を作ろう～	高澤
9月27日(金)	包括支援センターかなぐ すく	認知症イベント	崎原

10月13日（日）	小祿西地域福祉推進会	親睦グラウンドゴルフ大会	仲程課長・ 崎原
10月17日（木）	医師会	普及啓発の実績報告、緊急連携 シート（高齢者施設版）の改定	仲程課長・ 前川・崎原
10月29日（火）	包括支援センター松島	松島地域の災害の対応について	玉城
12月16日（月）	包括支援センター古波蔵	男性の交流の場および担い手に ついて	玉城
12月23日（月）	松島自治会自治会	地域見守り隊および地域ふれあ いデイサービスの事業紹介	玉城
1月8日（水）	寄添い支援員	顔合わせ、各事業説明、グルー プワーク	高澤・玉城・ 國場・崎原
1月10日（金）	第2弾認知症まちづくり 地域円卓会議 in 首里	首里儀保町「ゆんたくばあめぐ み」次年度運営についての意見 交換会	仲程課長・ 國場
1月19日（日）	本庁管内グラウンドゴルフ 大会	本庁地区自治会対抗グラウンドゴ ルフ大会出場	仲程課長・ 高澤・崎原
1月21日（火）	那覇市ひきこもり 支援会議	ひきこもり支援プラットフォーム の設置、ひきこもり地域資源 ガイドについて	玉城・崎原・ 前川
1月29日（水）	包括支援センター国場	移動手段がなくても安心して暮 らすためには	玉城
1月29日（水）	包括支援センター小祿	小祿1丁目圏域の防災マップに ついて	崎原
1月31日（金）	精神保健医療福祉連携会 議作業部会	R7年度の作業部会にむけた検 討会議	高澤・國場
1月31日（金）	居場所代表者連絡会	那覇市子どもの居場所・その他 関係機関顔合わせと意見交換	高澤・玉城・ 國場・崎原
2月4日（火）	居場所代表者連絡会	那覇市子どもの居場所・その他 関係機関顔合わせと意見交換	高澤・玉城・ 國場・崎原
2月5日（水）	ちゅいしーじー那覇 終活 セミナー	人生会議について	玉城・國場
2月6日（木）	小祿北地域福祉推進会	親睦グラウンドゴルフ大会	崎原
2月13日（木）	包括支援センター繁多川	令和7年度の繁多川地域計画策 定に向けた会議	玉城
2月17日（月）	医師会	コーディネーターによる講話の 報告、キット設置数の報告	仲程課長・ 前川・崎原

2月25日（火）	包括支援センター識名	地域の支えあい、地域での暮らしを考える	玉城
----------	------------	---------------------	----



精神保健医療福祉連携会議作業部会



包括支援センター松島ケア会議参加

ウ． 民生委員児童委員関係

毎月、18単位民児協定例会へのコーディネーター参加・情報交換を行なった。

民生委員・児童委員からのニーズキャッチをする取組みの基本になる。CSWが各定例会へ参加した。



首里第1民児協定例会にて事業説明



真和志第2民児協 見守り交流事業

- ④ 支援の必要な方に対する那覇市避難行動要支援者名簿の情報の提供に関する同意案内令和元年に個別避難計画の会議を開催したケースが5年経過しており、台風シーズンが来る前に再度会議の場をもち、計画の見直し・修正会議に参加



個別避難計画の検討会議

[2] 地域住民の活動支援・情報発信等

地域住民により把握した、地域住民のニーズ・生活課題を住民主体の活動で活性化させるよう柔軟に対応し、地域住民の活動支援や情報発信を行った。

① 地域サービスの担い手（地域見守り隊）等やこれらのコーディネーター人材に対する研修（養成講座）

地域で「地域見守り隊」として見守り活動やボランティア活動を行なう方、関心のある方を対象に、自治会等小地域単位で見守り隊員の養成講座を行い委嘱状の交付。また、既存の地域見守り隊の役員変更時期及び自治会向けに見守り勉強会の実施

日時	団体名	内容・参加者	職員
5月9日（木）	大名第二団地自治会	見守り隊養成講座 参加者（13名）	宮城常務・國場・前川
6月12日（水）	泉原自治会	見守り隊勉強会 参加者（10名）	崎原・前川
6月12日（水）	天久高層テンQ	見守り隊勉強会 参加者（12名）	高澤
6月23日（日）	上間団地自治会	見守り隊勉強会 参加者（14名）	玉城・國場
7月14日（日）	真地団地自治会	見守り活動勉強会 参加者（16名）	玉城・崎原
10月4日（金）	繁多川市営住宅自治会	見守り隊養成講座 参加者（19名）	仲程課長・玉城・ 國場・高澤
2月16日（日）	樋川第一自治会	見守り活動勉強会 参加者（12名）	高澤



大名第二団地自治会地域見守り隊
養成講座・委嘱状交付式



真地団地見守り隊への勉強会

(2) 地域見守り隊の結成支援

自治会への地域見守り隊結成は、自治会役員の高齢化等から見守り隊結成に踏み切れない自治会が多いことや那覇市には自治会などの地縁組織が無い空白地域が約4割もあることから、今後、空白地域へのアプローチや通り会やサロンのような小規模コミュニティでの地域見守り隊の結成促進を図る必要がある。

新規地域見守り隊の設置

	認証番号	地区	名称	結成日	代表者
1	58号	小禄	山下町自治会	令和6年5月25日	上原康永
2	59号	真和志	繁多川市営住宅自治会	令和6年10月4日	松田浩幸

ア. [山下町自治会] 第58号

山下町エリア在住の65歳以上は597名で内75歳以上の後期高齢者が300名住んでいる。自治会による活動は山下町地域まつり、敬老会や、月1回の夜間パトロール等を実施。また、昨年山下町エリアでペリー福祉会ペリー保育園による「キッズ声かけ見守り」が立ち上がり、園児による散歩を活用した見守りは実施されているが、年々増える独居高齢者やその他生活に困っている世帯が増えている事を踏まえ、住民が困りごとを抱え込まない支え合いの仕組みづくりに向けた見守り活動の必要性を感じ、見守り隊を結成する運びとなる。今後、班長が各自集金や自治会活動の周知を行う際の見守り訪問を実施する。また、老人会が中心に行っているふれあいデイサービス、近隣で包括が開催している認知症カフェ、キッズ声かけ見守り等には民生委員児童委員も参加し班長だけではなく、関係者も含め見守り活動に取り組んでいる。

○地域見守り隊の構成（15名）

- ・代表：上原康永（自治会長）
- ・見守り活動者：自治会役員14名、
- ・ボランティア1名

○見守り対象者

- ・各班の班長が気になる世帯を把握している。



山下町自治会地域見守り隊結成式

イ. [繁多川市営住宅自治会] 第 59 号

繁多川市営住宅自治会では、毎月第 2 月曜日にゆんたくカフェ、第 2、3、4 金曜日に地域ふれあいデイサービス一期会、月 2 回のワクワクゆんたく食堂を行っており、高齢者だけではなく、住人の居場所づくりや見守り活動を行っている。現在、市営住宅では 4～8 人の多子世帯が多く、子どもの貧困や高齢者の孤食が深刻化しており、住民の見守りの必要性を感じ、見守り隊を結成する運びとなった。今後、見守り隊養成講座や地域福祉懇談会などの開催を検討し、民生委員児童委員や地域包括支援センター繁多川などの関係機関と更に連携を深め、地域見守り活動の拡大を図っていく。

○地域見守り隊の構成（30名）

- ・代表：松田浩幸（自治会長）
- ・見守り活動者：自治会役員 5 名、役員以外 25 名

○見守り対象者

- ・高齢者、障がい者、
- ・子育て世帯など支援を必要とする世帯



繁多川市営住宅自治会地域見守り隊

【地域見守り隊設置状況 : 59か所】 ※R7/3月現在

本庁地区	見守り隊(自治会名)	結成年月日	見守り対象エリア
◆那覇第一民児協	あけぼの地域	令和元年6月4日	○曙1～3丁目 ○港町1～3丁目
	安謝新都心自治会若水会	平成28年8月9日	○安謝1丁目・2丁目 ※若水会(老人クラブ)会員
◆那覇第二民児協	若狭2丁目自治会	平成27年9月13日	○若狭2丁目
	若狭めもと自治会	平成28年7月13日	○若狭3丁目20～45 ○前島3丁目26～27
	前島3丁目自治会	令和3年1月17日	前島3丁目1～27
◆那覇第三民児協	くもじ地域自治会	平成27年7月28日	○久茂地2丁目、3丁目 ○牧志1丁目 ○松尾2丁目1～11
◆那覇第四民児協	松尾2丁目自治会	平成27年7月8日	○松尾2丁目12～24 ○松尾2丁目4の一部
	県営大橋市街地住宅自治会	平成27年10月28日	○壺川2-10-6 (県営大橋市街地住宅)
	泉崎2丁目自治会	平成29年1月8日	○泉崎2丁目
	楚辺中央自治会	平成29年7月12日	○楚辺2丁目1番～19番と隣接する一部
	壺川市営住宅自治会	平成30年1月18日	○壺川市営住宅1～3号棟
	泉崎1丁目自治会	令和3年1月8日	○泉崎1丁目
◆那覇第五民児協	銘苅新都心自治会	平成27年12月23日	○銘苅1丁目～3丁目 ※市営、県営住宅は除く
	新都心銘苅市営住宅自治会	平成29年3月18日	○銘苅1-18-16 (新都心銘苅市営住宅)
	県営天久高層住宅自治会 「天久高層テンQ」	令和6年1月26日	○銘苅1-18-73 (県営天久高層住宅)

◆那覇第六民児協	宮城区自治会	平成27年4月24日	○寄宮2丁目17～28番
	安里二区自治会	平成27年10月15日	○字安里45～492-6
	壺宮通り会	平成29年10月16日	○壺屋2丁目の一部・寄宮1丁目の一部
	銘苅区自治会	平成30年12月12日	○寄宮1丁目89,10,12,13,14,15番地居住者
	平野区自治会	平成31年4月25日	○寄宮1丁目4,5,6,7,17,18,19,20,21,22番地
	安里一区自治会	令和1年9月6日	○安里1・2丁目の一部、3丁目全域、 字安里の一部

真和志地区	見守り隊(自治会名)	結成年月日	見守り対象エリア
◆真和志第一民児協	末吉市営住宅自治会 「地域見守り隊 ぶどう」	令和4年3月26日	○末吉市営住宅及び周辺
◆真和志第二民児協	県営繁多川高層住宅自治会	平成28年7月13日	○県営繁多川高層住宅 (繁多川1-16-30)
	大道区自治会	令和元年9月24日	○字大道
	松川共同住宅自治会	令和元年10月19日	○松川3-2-1(松川共同住宅 団地内)
◆真和志第三民児協	真地団地自治会	平成26年11月21日	○真地団地 (字真地270、277番地)
	真地自治会	平成27年7月17日	○字真地全域 (真地団地を除く)
	繁多川自治会4丁目	平成28年2月19日	○繁多川4丁目
	識名団地自治会	平成28年6月6日	○字識名1253-5～73 ○字上間224-5～224-8・12・13
	県営上間団地自治会	平成30年5月20日	○県営上間団地 (字上間295-1)
	県営松川団地自治会	令和5年2月12日	○県営松川団地 (繁多川2-5-2)
	繁多川市営住宅自治会	令和6年10月4日	○繁多川市営住宅 (繁多川3-4-40)
◆真和志第四民児協	与儀市場通り	平成26年12月9日	○与儀市場通り一帯(旧与儀市場通りを中心とした任意の対象者宅)
	県営国場団地自治会	令和4年3月9日	○県営国場市街地住宅
◆真和志第五民児協	字国場自治会	平成28年3月4日	○字国場全域
◆真和志第六民児協	上間自治会	平成28年7月12日	○上間1丁目
	識名市営住宅自治会	令和3年2月25日	○識名市営住宅

首里地区	見守り隊(自治会名)	結成年月日	見守り対象エリア
◆首里第一民児協	大名第二団地自治会	平成26年11月9日	○大名町1丁目 (大名第二団地および周辺一部)
	大名市営住宅自治会	平成27年1月18日	○首里大名町3-20、3-35、3-41全域 (大名市営住宅内)
	久場川町自治会	平成28年7月19日	○首里久場川町1丁目2丁目全域 (久場川市営住宅を除く)
	ペンタス花の会(サロン)	平成30年1月16日	○石嶺1丁目141-24(周辺エリア)
	赤平町自治会	令和3年1月13日	○首里赤平町1丁目～2丁目全域
	知念商店	令和5年1月27日	○
◆首里第二民児協	首里山川町自治会	平成27年2月22日	○首里山川町1～3丁目全域 字松川の一部
	桃原町自治会	平成27年5月10日	○首里桃原町1丁目、2丁目全体、 山川二丁目の一部
	寒川町自治会	平成29年3月17日	○首里寒川町全域
	首里金城町自治会	平成30年11月4日	○金城町1～4丁目全域

◆首里第三民児協	城東自治会	平成27年6月9日	○首里石嶺町2丁目一部 (1-1～2丁目58-1)
	石嶺団地自治会	平成28年4月2日	○石嶺町2丁目70、70-2、127、132、 4丁目335(石嶺団地)
	石嶺ハイツ自治会	令和元年5月15日	○石嶺4丁目(周辺エリア)
小禄地区	見守り隊(自治会名)	結成年月日	見守り対象エリア
◆小禄第一民児協	宇栄原団地自治会	平成26年9月28日	○宇栄原4-17-9(宇栄原団地)と 地域の賛助会員
	東雲自治会	平成27年9月14日	○小禄1丁目30～42の各号
	小禄泉原自治会	平成28年9月9日	○字小禄1200番台、1400～1600 番台まで(旧琉球団地)
◆小禄第二民児協	田原自治会	平成27年12月9日	○字田原全域、山下町、字小禄、 字宇栄原、金城一部
	當間當寿会	平成30年6月21日	○字小禄826番地の當間協同利用施設の 周辺地域を主として小禄の一部
	安次嶺でいご会	令和2年2月7日	○小禄839-6番地の安次嶺自治会館の 周辺地域を主として小禄の一部
	山下町自治会	令和6年5月25日	○山下町全域 及び小禄番地1536一部
◆小禄第三民児協	小禄市営住宅自治会	平成27年2月17日	○田原3-6-1(小禄市営住宅)
	県営赤嶺団地自治会	平成27年7月4日	○赤嶺2-5-1(県営赤嶺団地)

○那覇地区(21か所) ○真和志地区(16か所) ○首里地区(13か所) ○小禄地区(9か所) 合計:59か所

③ 見守り交流会の開催

今年度も見守り隊に対するアンケート調査を実施し、その調査結果から、見守り隊員の数に変化はないが、例年、課題として挙げられるのが、見守り隊員も高齢化が進んでおり、活動の担い手の確保である。見守る側(担い手)が増えない限り、見守り対象者の増加に対応することは厳しい状況にあると言える。しかし、見守り隊を結成している自治会等からは見守り活動の重要性は感じている。今後も見守り活動を継続していくためには、見守り隊員への養成講座の開催や、企業や社会福祉法人等との連携を図ることで新たな見守りネットワークを構築して見守り活動を活性化していく必要があると考える。

実施日・場所	内 容	参加人数
6月28日(金) 14:00～16:00 ともかぜ振興会館 1階多目的ホール	1. ぼうさい ダ・ズ・ン(防災グッズ編) 2. 地域見守り隊の活動状況 事前アンケートより報告 3. 交流ワークショップ テーマ① 活動の喜び・悩み テーマ② これからやってみたいこと	本庁地区 11名 真和志地区 11名 首里地区 14名 小禄地区 9名 合計 45名



見守り隊交流会の様子

④ 見守り活動の周知広報（見守りフォーラムの開催）

「なは見守りフォーラム2025」の取り組み

平成26年度からスタートした安心生活創造推進事業において、地域見守り隊が59箇所結成された。（R7.3月現在）今後も継続して安心・安全・安否確認の見守り活動の基盤づくりを推進するためには、地域見守り隊の活動の効果（具体的な活動の取り組み実態）を伝えることや地域が抱える課題に見える化し、様々な主体と見守りのネットワークを構築することが関係者や市民に対しての啓発広報を目的に7回目の見守りフォーラムを開催した。

●日時：令和7年1月28日（火） ●場所：沖縄県立博物館美術館講堂 ●参加者：161名

分類	一般	自治会	民生委員 児童委員	見守り 隊	福祉 関係者	行政	登壇者・来賓 ・関係職員
人数	21	23	57	5	21	7	27

ア. 内容プログラム

第1部 「那覇市意識調査分析～市民が求めているつながりとは～」

那覇市社会福祉協議会

地域福祉課長 仲程大輔

首里地区 CSW 國場優美

ファシリテーター：琉球大学 人文社会学部人間社会学科 社会福祉学コース

准教授 田中将太

第2部 『のぞいてみよう！ご近所同士のつながり』

【活動報告1】コープおきなわ 宮城唯規 ・首里地区 CSW 國場優美

【活動報告2】泊みまもり隊 與那摂 那覇地区 CSW 高澤祐樹

【活動報告3】繁多川市営住宅自治会 松田浩幸・崎原みさ子 真和志地区 CSW 玉城愛梨

【活動報告4】山城塾 山城勝秀 小禄地区 CSW 崎原優維

イ. 活動報告者への感想と主な意見

【コープおきなわ】

- ・移動支援、買い物支援は高齢者の生活課題として大きいので、このような取り組みはとても素敵だと思いました。今後一緒に取り組めていけたら嬉しいです。
- ・首里は車があっても移動が大変。買い物難民にとって、すごく良い取り組みだと思った。
- ・音声で人と人のつながりを聞けて感動した！

【山城塾】

- ・子供へのかかわり方や考える視点が、教員の経験からきているんだなととても参考になりました。すばらしいの一言です
- ・「貧困の連鎖を教育で絶つ」がとても響いたひと言でした！中学生メインで、卒業後、働くようになって稼いだお金で塾に差し入れをするエピソードがステキだと思いました！そてつの会の win-win の関係も素晴らしいです！

【泊みまもり隊】

- ・泊みまもり隊による子どもたちへの見守りは、いろんな地域でも取り組みそうな事例だと思います。子ども達が安全で安心して暮らせるための大人の行動は大切なことだと思います。
- ・店舗と住民が協力していることが素晴らしい。地域の目標を共有することが信頼につながり、広がる要因と教えられました。そして、地域への愛ですね！
- ・勇気を出して行動する。きっとその思いが誰かに届き仲間を増やすきっかけになるんだなあと思いました。

【繁多川市営住宅自治会】

- ・市営住宅の住民だけでなく、「地域住民」の方が交流場所を設けているのが、なかなかできないことだと思った。
- ・こどもも高齢者もボランティアも楽しめるコミュニティの場がそこにあると思いました。
- ・集会所という利点を最大限に活かした活動をされていると思いました。
- ・今後、周辺地域にもその輪が広がるといいですね。

【全体の意見】

- ・子供達と大人のふれあいがあっていいと思います。みまもり隊が活躍していてよかった。繁多川自治会、ワクワク食堂、カフェ、すばらしいです。
- ・今後、地域見守り隊を作っていこうとしている自治会です。早めに作りたいと思い、その参考になればと思い、参加しました。身近な所から一步始めてみたいと思います。
- ・立ち上げたばかりの自治会で、どのように見守り隊活動をすればよいか悩んでいます。人も場所も課題があり、今後は地域の CSW の協力を得ながら、高齢者が多い地域を見守り、見守られるようにしたいと思います。
- ・ゆるやかなつながりでいいんだ。地域ごとでそのつながりが見えるようにすると、より理解できそう・楽しく参加できる仕掛けづくりの重要性を再確認できました。

- ・地域に合った地域ならではの活動を見い出すのは大変だったことと思います。一步踏み出す勇気を一人ひとり持つことが大切だと感じました。
- ・みまもりのきっかけ（思い）から冒険（行動）へ出るすごさ、大切さ。そして、福祉関係者として役割を改めて知ることができた。最後の山城先生のメッセージから、活動をしている方の協力が役割だと強く感じた。協力も冒険。私も冒険したいと思う。



なはみまもりフォーラム 2025 『人を知る冒険に出よう！』

⑤ 行政区単位及び市全域の四者会議の開催（行政区各1回、市全域1回）

毎年全地区を対象とした四者（自治会、民生委員、那覇市、社協）の会議を開催し、より良い連携のあり方について議論を進めてきた。本日の四者会議としてのテーマは、「地域のお宝さがし ～未来の地域を支える担い手について～」、地域の現状共有を図りながら地域の担い手に焦点を当てて、そこから見えてくる課題や解決に向けて多機関連携の在り方等について、自治会及び民生委員・児童委員、那覇市、本会の四者にて各行政区毎の開催と全体の会議を開催しそれぞれの立場で何ができるかなど活動状況や課題を共有する会議となった。

ア. 各地区四者会議

場所	地区	内容	場所、関係者参加者
12月25日（水） 14：00～16：00	本庁	共通テーマ 『地域のお宝さがし』 ～未来の地域を支える担い手について～	那覇総合福祉センター2階 会議室 （22名参加）
12月26日（木） 14：00～16：00	小禄		ともかぜ振興会館 2階研修室 （18名参加）
1月16日（木） 10：00～12：00	首里		沖縄県総合福祉センター3階 第1会議室 （19名参加）
1月17日（金） 10：00～12：00	真和志		ともかぜ振興会館 2階研修室 （24名参加）
3月21日（金） 15：00～17：00	全体	令和6年度四者会議の内容報告について	那覇市役所 12階 1201AB 会議室 民児協、自治会、社協、行政、32名

各四者会議（行政区）参加者

自治会：各地区自治会長連合会会長（5支部）

民生委員：単位民生委員児童委員協議会会長（18民児協）

行政：ちゃーがんじゅう課、地域保健課、まちづくり協働推進課、福祉政策課

社協：常務理事、事務局長、地域福祉課長、地域福祉課職員（CSW）

イ. 本庁地区の主な意見

“担い手不足”については民生委員、自治会、行政それぞれの立場で課題を感じている。民児協では民生委員児童委員の欠員ゼロを達成している地域もあれば、欠員が多いところもあり地域格差が生じている。また、担い手の高齢化や自治会加入率低下の問題も重なり、地域見守り隊はこれまでできていた見守り活動が難しくなっており、若い世代をどう取り込んでいくかが課題との意見が出た。担い手探しの為のアプローチとして、①それぞれできることをやる ②地域に住む子供の参加 ③地域とつながるためのきっかけ作りという、主に3区分の意見が挙げられた。それぞれの地域で担い手探しのために試行錯誤をしているが、住民が集まれる拠点や、ふれあいの場が少ないといった課題もあり、難航している地域が多い。自治会、見守り隊、PTAといった組織との横の連携を強化することで情報共有をしやすくし、ボランティア活動の見える化や有償化といった仕組みも作っていくことで、市民一人一人が地域に興味を持ってもらえるよう、参加のハードルを下げることも必要である。

ウ. 真和志地区の主な意見

「新しい時代の価値観にあった地域づくり、担い手づくり」という共通のワードが挙げられた。時代が変化したことにより、地域との関わり方も変化しており、地域活動すべてにしっかり関わるのではなく、隙間時間を活用して参加できる仕組みや役割作りのあり方も重要である。また、民生委員児童委員や小学校区まちづくり協議会では、担い手確保のために、学校関係者や企業、自治会などキーパーソンになる方に声をかけ、積極的に担い手を育成している。CSWも地域活動に参加し、キーパーソンとなる方と繋がる必要がある。

今後の見守りにおいては、自治会・通り会だけでは負担が大きく、限界があるため、企業の「ながら見守り隊」を結成するべきではないかという意見が出た。那覇市ではちゃーびら隊、那覇市社会福祉協議会では企業が見守り隊員として、業務の延長線上での見守りを行っている。那覇市には多くの企業があり、従業員を抱えている。このような方々も見守りの担い手になることで那覇市全体の見守りにつながる。今後は企業による新たな見守りネットワークを構築して見守り活動を活性化していくことが求められており、CSWとして企業へ活動を促していく必要がある。

エ. 首里地区の主な意見

担い手が不足しているからこそ、さまざまな関係機関と情報を共有する必要がある。自治会や民生委員児童委員との連携が非常に重要。しかしそれに反して、各地域自治会の加入率や民生委員児童委員の充足率は減少傾向にある。地域の関係性が希薄化してしまうと、いざ困った

ときに助けてくれる人がいないという世帯が多くなることが懸念点である。既存の団体がお互いを補完し合う関係性も大切で、情報交換を行う事や場所を設ける必要がある。また、地域でもちつき大会やその他イベントを企画し、子どもから高齢者まで楽しめる空間づくりも人と人を繋げるきっかけになるのではないかと感じる。そして、SOSを発信できない世帯の声をどう拾っていくかも課題となってくる。情報弱者に制度をどう繋げるかという事に関しては、見守り隊や民生委員児童委員のような存在が大切で、日ごろの関係性で相談に来る人達を制度に繋げられるような体制づくりも必要と感じる。

最後に担い手を発掘し育成する為には柔軟に対応する事が重要ではないかと考える。仕事をしながらも、地域活動に興味があるというデータがあるように、隙間時間で、地域にかかわる事ができるのではないかとこの考えを前提に持ち、担い手の発掘をこれからもやっていきたい。

オ. 小祿地区の主な意見

まず、潜在化してしまっている担い手をどう地域につなげるかというチャンネルを作る必要がある。昔はテレビをつけると限られている情報の選択肢であったが、最近は情報の多様化が進み、自分の興味のある情報しか残らないようになっている。こうした現状を考えると、「防災」は年齢層関係なく興味のあるテーマだと考える。「防災」というテーマを情報のチャンネルとして作っていく必要がある。地域の担い手に関して、「防災」をテーマにしたイベントを開催すると、多くの人に参加するきっかけになると考える。また、情報の一元化、見える化することも大切であり、自分の興味のあるものについて、いかに情報を得ていくかということがとても肝心である。

次に、隙間時間を使った担い手の、ゆるくつながる参加のあり方も重要であると考え。地域活動に参加してみたいけど時間が作れない方々をどうつなげるかについて、しっかり地域活動に関わる方の増やし方だけではなく、隙間時間でも気軽に参加できる担い手のあり方も考えていかないといけない。忙しい日常の中でも、無理なく地域に貢献できる環境づくりが、アクティブシニア層を地域につなげるきっかけになると感じる。無理せずできることを組み合わせるという視点も大切である。



真和志地区四者会議



首里地区四者会議



本庁地区四者会議



小禄地区四者会議

⑥ 地域の実情に応じて行政区単位の地域福祉懇談会の開催

地域の実態に即した身近な地域課題を共有し解決に向けたネットワークづくりを行う地域福祉懇談会を様々な規模（単位自治会毎、小学校区、民児協区）に応じて開催し、住民の地域における福祉活動への理解を深めていきます。今年度は本庁地区・真和志地区・小禄地区の3箇所を実施した。

日時、場所	地区 開催場所	協議内容	参加者
8月23日(木) 14時～16時	本庁地区 銘苅市営住宅 自治会事務所	テーマ 『ご近所同士の交流を 深めよう』	銘苅市営住宅自治会 安岡自治会 銘苅松葉会 安岡はごろも会 那覇第5民児協 地域包括支援センター新都心
9月11日(水) 10:00～12:00	真和志地区 ボランティア サロンまわし	テーマ 『地域と関わりの少ない 一人暮らし高齢者を 地域でどう支えるか』	松川共同住宅自治会 コープおきなわ ヘルパーステーションわかば 沖縄工業高等学校 松川小学校・実習生 良創夢ケアプランセンター松川 松川児童クラブ 居宅介護支援事業所ゆいまーる松川 真和志第2民児協 地域包括支援センター松川
9月11日(水) 14:00～16:00	小禄地区 ともかぜ振興 会館	テーマ 『地域と関わりの少ない 独居高齢者の社会参	具志自治会 小禄南公民館 ウェルケア沖縄

		加を地域でどのように 支えるか』	リハビックス小禄店 高良小学校・実習生 サトウ株式会社那覇営業所 小禄第1民児協 地域包括支援センター高良
--	--	---------------------	---



銘苅市営住宅・県営安岡市街
地住宅での地域福祉懇談会



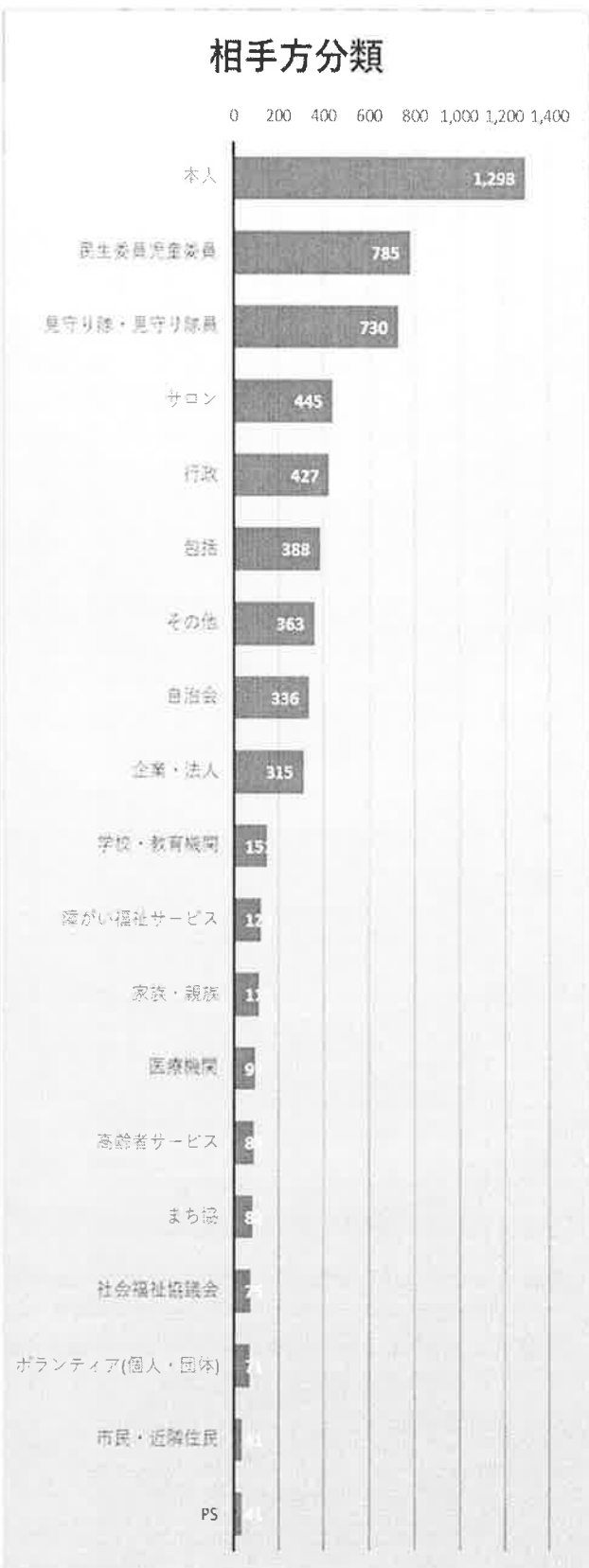
松川共同住宅自治会
での地域福祉懇談会



具志地域
での地域福祉懇談会

- ⑦ 個別相談、支援活動を通して地域見守り隊への助言や行政との仲介等の活動支援
ア. C S Wの個別支援状況

No.	相手方分類	延件数
1	本人	1,298
2	民生委員児童委員	785
3	見守り隊・見守り隊員	730
4	サロン	445
5	行政	427
6	包括	388
7	その他	363
8	自治会	336
9	企業・法人	315
10	学校・教育機関	151
11	障がい福祉サービス	122
12	家族・親族	112
13	医療機関	97
14	高齢者サービス	89
15	まち協	82
16	社会福祉協議会	75
17	ボランティア(個人・団体)	71
18	市民・近隣住民	41
19	PS	41
20	那覇社協内部	1,725
	計	7,693



イ. 緊急医療情報キットの配付(令和6年度目標数200)

今年度情報キットをより多くの方々へ活用していただくことを目的に、関係機関への普及啓発を実施していく。

		令和6年度 (延べ件数) 令和7年3月現在							
那覇地区民児協		累計			真和志 地区民児協	累計			
		世帯	人数	更新		世帯	人数	更新	
	那覇第一	31	34	1		真和志第一	9	9	1
	那覇第二	38	41	1		真和志第二	8	8	0
	那覇第三	9	10	2		真和志第三	18	20	0
	那覇第四	27	30	0		真和志第四	5	6	1
	那覇第五	11	12	0		真和志第五	12	16	0
	那覇第六	5	7	1		真和志第六	17	19	1
	小計	121	134	5		小計	69	78	3
首里地区民児協		世帯	人数	更新		小禄地区民児協	世帯	人数	更新
	首里第一	25	27	0		小禄第一	25	26	0
	首里第二	6	7	1		小禄第二	6	6	1
	首里第三	38	44	1		小禄第三	13	15	1
	小計	69	78	2		小計	44	47	2
					合計	303	337	12	

緊急医療情報キット

65歳以上の高齢者や障がい者、見守りが必要な世帯など、心身に不安を抱えている方が、かかりつけ医や服薬情况等が入ったキットを冷蔵庫に保管しておき、緊急時に迅速な対応につなげます。



○平成22年度から緊急医療情報キットを配付し始め、現在は更新方法が課題となっている。那覇市医師会の作業部会において、緊急医療情報キットの活用が注目されて、活用方法について継続しての協議が行われ、病院や薬局での配付が可能となった場合、それらの機関と那覇市社会福祉協議会との連携をどのようにとるか検討が必要。また消防局と緊急医療情報キット配付者名簿の共有については課題があり協議する必要がある。配付後の取扱いについては、民生委員から必要に応じて見守り活動のために情報を提供してほしいこともあり、那覇市民児連との協議を進めながら緊急医療情報キットの活用を考えていきたい。

○緊急医療情報キットの活用と推進 ※令和7年3月末現在

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
キット配布数(世帯数)	200	197	505	258	303

ウ. 見守り訪問ティッシュ配布安否確認支援事業

地域見守り隊の活動手段として、定期的な訪問活動を行った。配布の手段として毎回ティッシュの持参はなくてもよいという声もある。代わりにごみ袋を提供している事例もある。しかし緊急時の連絡先(ティッシュボックス)については、必要と感じている。民生委員・児童委員の連絡先については、設置の際に掲載するか都度確認している(携帯電話も多いため)。掲載できない場合は、自治会の連絡先を掲載する等の対応をとっている。

年度	配布数(世帯)
令和6年(累計)	222世帯



見守りティッシュ

いざという時、どこに電話をすればよいのか迷うことがありますよね。見守り隊を結成した地域へ、関係機関の電話番号を記載した、「見守りティッシュ」を提供しています。

(3) 地域コミュニティの場を形成する「居場所づくり」

地域住民が、属性や世代の垣根を超えて地域の様々な人と気軽に関わり、安心して過ごすことのできる場を設置・運営する。

① 地域住民が集えるふれあい・いきいきサロンの設置推進

小地域において住民主体による地域福祉活動として、居場所づくりを展開している。助け合いの関係づくりのきっかけとする。

本年度の新規設置は3箇所。現在82カ所となった。(令和7年3月現在)

開所式日時	立ち上げた団体・活動日	参加者
4月23日(火)	すこやか 代表 儀間光徳 活動日: 第2火曜日 午前10時~12時	22名
9月19日(木)	オレンジの友 代表 宮里美代子 活動日: 毎月第1・3木曜日 午後1時~3時	14名
11月7日(木)	ハッピーハッピーサロン 代表 宮城徳子 活動日: 第1木曜日 午後7時~20時30分	16名



すこやか
開所式



オレンジの友
開所式



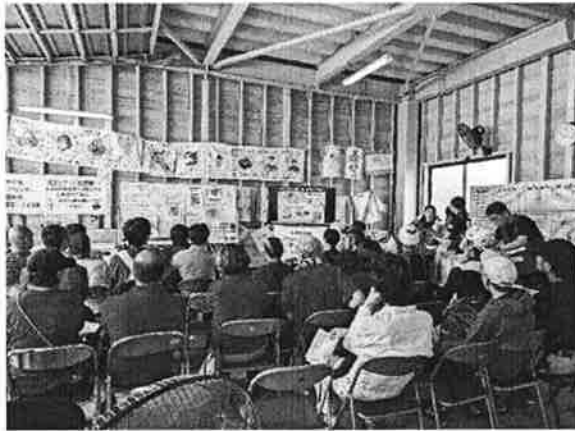
ハッピーハッピーサロン
開所式

(4) その他地域福祉の推進を図るために必要となる事業

① その他必要な事業

九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、被災地災害ボランティアセンターへ運営支援等の職員派遣協力要請に伴い能登半島地震災害に伴う被災地災害ボランティアセンター運営支援のための職員の派遣

- ・派遣期間：第 19 クール 6 月 19 日（水）～6 月 25 日（火）
- ・派遣先：石川県珠洲市災害ボランティアセンター
- ・業務内容：災害ボランティアセンター運営支援
- ・派遣職員：地域福祉課 前川三奈



珠洲市災害派遣 珠洲市の様子

(2) 那覇市地域ふれあいデイサービス事業（市受託）

【事業目的】

地域の施設等を活用し、介護予防に資する基本的な知識や技術を普及啓発することにより住民1人1人の生活機能の維持向上を図り、また住民主体の介護予防活動、地域づくりを推進することを目的とする。

【事業内容】

(1) 運営協議会の設置・運営に関すること

- ①運営協議会の立ち上げを申し出る団体等に対し事業の目的等の説明を行うこと
- ②地域の高齢者が参加しやすい場所等を運営協議会と検討し支援すること
- ③運営協議会の活動回数について、閉じこもり予防の観点から派遣型活動及び未派遣型活動を取り入れ週1回の活動を推進すること
- ④運営協議会に対し、継続して活動できるよう支援し連絡等がスムーズに図れるよう体制を整備すること
- ⑤運営協議会に対し、住民主体の介護予防活動が実施できるように、運営協議会活動マニュアル等を作成し、受託事業者との役割を明確に定めること
- ⑥事故発生時に備え、緊急時対応マニュアル等を作成し、運営協議会と受託事業者との役割を明確に定めること

(2) 事業の実施・運営・支援に関すること

- ①市担当者と年3回の定例連絡会
- ②運営協議会が主体となって介護予防活動に取り組めるよう支援をする
- ③個別支援が必要な参加者については、運営協議会、健康づくり支援員及び看護師、関係機関等と連携をしながら支援をすること
- ④参加者同士による見守り支援の体制を整備すること
- ⑤健康づくり支援員及び看護師に対し必要な研修を企画し、受講させること
- ⑥介護予防に関する情報を収集し、健康づくり支援員及び看護師へ周知すること
- ⑦健康づくり支援員及び看護師の派遣型活動の際には適切に配置すること。

【活動実績】

(1) 活動内容

健康相談員（看護師）によるバイタルチェック・健康相談・健康講話。健康づくり支援員による歌・レク体操・民踊・健康運動・操体法・ヨガ・3B体操・太極拳・手話ダンス・筋力UP運動・エアロビクス・シナプソロジー・リラリズムストレッチ・スクエアステップ、音楽療法など、健康づくり支援員がそれぞれの持っている得意分野を生かし、活動を実施した。また今年度は、那覇市保健所による栄養講話、人権擁護委員による講座、高齢者を狙った特殊詐欺予防の講話を実施し、利用者の安全や健康についての普及活動を行った。



看護師によるバイタルチェック



健康づくり支援員による健康体操



人権擁護委員による講座



那覇市保健所による栄養講話

(2) 運営協議会 実施状況（地区別）

地区	実施状況				休止数	合計
	月 1 回活動	月 2 回活動	月 3 回活動	月 4 回活動		
本庁	0	16	21	11	1	49
真和志	1	8	18	8	1	36
首里	0	9	10	6	1	26
小禄	0	8	7	7	1	23
合計	1	41	56	32	4	134

※延べ設置数：142 ヶ所 閉会地区：8 ヶ所

(3)登録者人数（令和7年3月時点）

地区	利用者登録			ボランティア登録			合計
	男	女	計	男	女	計	
本庁	180	1,680	1,860	48	251	299	2,159
真和志	146	1,473	1,619	40	195	235	1,854
首里	115	878	993	30	117	147	1,140
小禄	161	839	1,000	38	106	144	1,144
合計	602	4,870	5,472	156	669	825	6,297

今年度は新規開所が3ヶ所あり、友人の紹介などでの参加者が増となった。参加人数が増えたことにより、転倒事故もあり救急搬送の対応もあった。今後は利用者の安全を最優先し、活動中の危険の予防と、看護師による見守り活動をより強化し、ボランティアの方へも協力を依頼していく。

(4)参加延べ人数（過去3年間の比較）

	2022年度（令和4年度）			2023年度（令和5年度）			2024年度（令和6年度）		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
本庁 利用者	780	10,745	11,525	890	12,153	13,043	865	13,310	14,175
ボラ	845	4,305	5,150	976	4,345	5,321	962	4,542	5,504
小計	1,625	15,050	16,675	1,866	16,498	18,364	1,827	17,852	19,679
真和志 利用者	468	7,144	7,612	644	8,911	9,555	833	9,332	10,165
ボラ	482	2,083	2,565	577	2,507	3,084	691	2,760	3,451
小計	950	9,227	10,177	1,221	11,418	12,639	1,524	12,092	13,616
首里 利用者	623	5,034	5,657	705	6,131	6,836	823	6,400	7,223
ボラ	479	2,154	2,633	483	2,240	2,723	539	2,393	2,932
小計	1,102	7,188	8,290	1,188	8,371	9,559	1,362	8,793	10,155
小禄 利用者	1,191	5,238	6,429	1,044	6,262	7,306	907	6,831	7,738
ボラ	570	1,727	2,297	593	1,900	2,493	562	1,803	2,365
小計	1,761	6,965	8,726	1,637	8,162	9,799	1,469	8,634	10,103
利用者	3,062	28,161	31,223	3,283	33,457	36,740	3,428	35,873	39,301
ボラ	2,376	10,269	12,645	2,629	10,992	13,621	2,754	11,498	14,252
合計	5,438	38,430	43,868	5,912	44,449	50,361	6,182	47,371	53,553

今年度の前半は、大雨警報などにより活動が休会となる日が多数あったが、前年度より 3,000 人ほど利用者が増えた。またレクの内容として、シニア向けのヒップホップダンスを取り入れ、前期高齢者から好評を得ることが出来た。次年度は体力測定を予定していて、利用者に参加する意義とモチベーションを高める意識を持っていただけるよう、取り組んでいく。



利用者の動きを見守りながら健康体操



体操中における看護師の見守り



新たな体操の取組（ヒップホップダンスなど）



研修で学んだ内容を紹介・実践

(5)新規開所 3 箇所

①日時：令和 6 年 4 月 2 日（火）

名称：つどいの広場キラキラ（140 ヶ所目）

活動日：毎月第 1.2.3 火曜日 10 時～12 時

場 所：那覇市人材育成支援センター
まーいまーい

②日時：令和 6 年 4 月 9 日（水）

名称：長田 2 丁目さくら会（141 ヶ所目）

活動日：毎月第 2 火曜日 14 時～16 時

場 所：長田保育園

③日時：令和 6 年 5 月 21 日（火）

名称：馬場いきいき IN 大名（142 ヶ所目）

活動日：毎月第 1.3 火曜日 10 時 30 分～12 時

場 所：大名町公民館

※今年度は、ふれデいの拠点が無かった仲井真地区で開所することが出来た。また初めての試みで保育園を使つての拠点を開所し、園児との世代間交流を行った。



「つどいの広場キラキラ」開所式
140 ヶ所目



「つどいの広場キラキラ」開所式
健康づくり支援による健康体操



「長田2丁目さくら会」開所式
141 ヶ所目



「長田2丁目さくら会」開所式
園児たちと交流



「馬場いきいき IN 大名」開所式
142 ヶ所目



「馬場いきいき IN 大名」開所式
参加者による踊りのセレモニー

(6) 研修会・調整会議開催（レク支援員、看護師）

登録者数：レク支援員 44 名 看護師：34 名

No.	日時	テーマ	依頼講師	参加人数
1	4 月 30 日 (火) 10:00～12:00	調整会議	自主	34 名
2	5 月 30 日 (木) 10:00～12:00	調整会議 研修会「ロコモについて」	豊見城中央 病院	35 名
3	6 月 27 日 (木) 16:00～17:00	調整会議	自主	30 名
4	7 月 30 日 (火) 10:00～12:00	調整会議	自主	30 名
5	8 月 29 日 (木) 10:00～12:00	調整会議 研修会「こころの健康講座」	天久台病院 看護師長	35 名
6	10 月 30 日 (水) 13:30～16:00	調整会議 研修会「認知症サポーター養成講座」	那覇市ちゃー がんじゅう課	33 名
7	11 月 29 日 (金) 14:00～16:30	調整会議 研修会「伴奏支援講座」	沖縄県理学療 法士会	30 名
8	1 月 30 日 (木) 9:00～17:00	調整会議 嘉手納町社協視察	嘉手納町シニ アヒップホッ プクルー	40 名
9	2 月 27 日 (木) 16:00～16:30	調整会議	自主	29 名
10	3 月 31 日 (月) 10:00～11:30	調整会議 令和 7 年度委嘱状交付	自主	41 名



嘉手納町社協視察 1



嘉手納町社協視察 2

(7)行事

①地域ふれあいデイサービス運営協議会情報交換会・全体交流会について

5月29日、沖縄県総合福祉センターゆいホールにて開催。今回は、市防災危機管理課職員による、災害についての講話を行った。令和6年4月、沖縄県内に津波避難警報が出されたこともあり、運営協議会の皆様の、防災に対する意識が高まってきている。今後は、介護予防も兼ねた「防災フレイル」として、各拠点で運動メニューの中に取り入れていく予定。



講話「災害に備え私たちができること」

防災危機管理課 主幹 源河 北斗



会場の様子

②那覇市地域ふれあいデイサービス事業 第12回「敬老の祝い」

日時：令和6年9月30日（月）

場所：沖縄県総合福祉センターゆいホール

首里地域からの要望もあり、初の首里地区での開催となった。

90歳表彰者：112名 10年ボランティア表彰：27名 開所20年地域：1か所

来場者：300名

ア.表彰者

表 彰 内 容	表彰者				
	本庁地区	真和志地区	首里地区	小禄地区	合計
卒 寿 表 彰 (90 歳)	46 人	27 人	21 人	18 人	112 人
10 年ボランティア表彰	15 人	7 人	3 人	2 人	27 人
合計	61 人	34 人	24 人	20 人	139 人

イ. 開所20周年

No.	地 区	運 営 協 議 会 名	会 長 名
1	本 庁	わかさ百寿会	島袋 俊子



90 歳表彰



参加者全員による那覇市歌体操

(8) その他

①看護学生実習受け入れ

沖縄県立看護大学の実習生を受け入れ、実際にふれデイサービスで看護師の血圧測定や健康相談の様子を見学した。また、地域の利用者達とレクリエーションに参加し、コミュニケーションの技術について学びを深めた。



看護師から血圧測定を学ぶ実習生



レクリエーション参加交流

以上

(3) 生活支援コーディネーター配置事業（市受託）

【事業目的】

生活支援コーディネーター及び協議体を設置し、本市の生活支援・介護予防サービス等を担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図って行くことを目的とする。

【業務範囲】

(1) 地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起に関する業務

① 生活支援の地域ニーズと資源の見える化、まとめ

- ・ 山下町地域ふれあいデイサービス買い物ニーズアンケート実施
- ・ 2 層 SC ヒアリング取りまとめ
- ・ 地域活動、資源モニタリング 等

② 社会資源一覧のまとめ

現在、編集作業中。令和 7 年 4 月に『第 9 版』発行予定。



安謝公民館 まちかど便



那覇市高齢者のための社会資源一覧

(2) 多様な主体等への協力依頼、支援等に関する業務

① 第 1 層協議体の団体等代表者に課題解決に向けた協力依頼の働きかけ

8 月に、アクティブシニアの社会参加促進と地域活動とのマッチング強化を目的とした『ボランティア関係団体意見交換会』を開催。第 1 層協議体の構成員等に出席いただき、担い手の確保に向けた意見交換を行った。

詳細は、「3-①ボランティア関係団体意見交換会の開催」参照。

② そのほか関係団体などへの周知・協力依頼の働きかけ

各団体の定例会や会議等に参加した際に、地域で行われている移動支援事業や担い手確保に向けた取り組み等について、適宜周知を行った。

(3)関係者のネットワーク化に関する業務

①ボランティア関係団体意見交換会の開催

地域で行われている移動支援活動や集いの場開催等において課題となっている『担い手の確保』と、地域活動に繋がっていないアクティブシニアの社会参加促進を目指して、共通する課題である『ボランティアマッチングの強化・活性化』に向けた意見交換を、那覇市ボランティア・市民活動センターとなは市民活動支援センター、そして第1層協議体構成員も含めた関係団体で実施した。両センターと地域包括支援センターが連携したボランティア情報の発信、既存の地域団体や拠点との連携強化等、今後の取り組みの参考となる意見が多く挙げられた。

出席者：《第1層協議体構成員》琉球大学准教授 田中将太、松島自治会・古島自治会会長 西平博人、那覇市地域包括支援センター新都心管理者 上里愛子
《関係団体》なは市民活動支援センター(兼第1層協議体構成員)、那覇市ボランティア・市民活動センター、那覇市ちゃーがんじゅう課、那覇市福祉政策課、那覇市社会福祉協議会、ソーシャルワーク実習生

記録：NPO 法人まちなか研究所わくわく代表理事兼事務局長 宮道喜一



ボランティア関係団体意見交換会



第1層協議体構成員

②その他意見交換の実施

各業務を行う中で、必要に応じて関係機関との意見交換を企画・実施した。

〈一部抜粋〉

- ・ コープおきなわ ・ 沖縄トヨタ自動車株式会社 ・ 株式会社トヨタレンタリース沖縄
- ・ 損害保険ジャパン株式会社 ・ 沖縄県かりゆし長寿大学校
- ・ 大名第二団地自治会 ・ 首里大名町自治会 ・ 社会福祉法人若杉福祉会
- ・ 大名小学校区まちづくり協議会 ・ 那覇市協働によるまちづくり推進協議会
- ・ 第2層 SC ・ 県内市町村社協、SC 他

(4)目指す地域の姿・方針の共有・意識の統一に関する業務

①市と定例会議

No.	日 付	内 容
1	令和 6 年 4 月 11 日	今年度事業計画・体制図確認等
2	令和 6 年 7 月 1 日	第 1 層協議体・訪問 A 研修の調整、移動支援共有等
3	令和 6 年 8 月 23 日	第 1 層協議体・訪問 A 研修の調整、包括一覧作成等
4	令和 6 年 10 月 16 日	第 1 層協議体の調整、社会資源一覧調整等
5	令和 6 年 12 月 23 日	第 1 層協議体実施報告、事業報告会・社会資源一覧調整等

②第 1 層第 2 層コーディネーター合同連絡会

No.	日 付	内 容
1	令和 6 年 4 月 26 日	今年度事業計画・体制図確認等
2	令和 6 年 6 月 28 日	社会資源一覧共有、訪問 A・B 研修共有等
3	令和 6 年 8 月 23 日	包括一覧共有、ボランティア関係団体意見交換会報告等
4	令和 6 年 10 月 25 日	社会資源一覧作成依頼、包括一覧意見交換等
5	令和 6 年 12 月 27 日	事業報告会調整、社会資源一覧意見交換等

(5)生活支援サービスの担い手の養成に関する業務

①生活支援訪問型サービス従事者養成研修（年 2 回）

この研修是那覇市介護予防・日常生活支援総合事業における「生活支援訪問型サービス」の従事者に必要な一定の研修となる。より専門的な学習を目指し、科目に応じて外部講師を依頼し実施した。

ア．第 12 回：令和 6 年 8 月 14 日・15 日・16 日（全 3 日間）

申込者 13 名のうち 11 名が受講し、修了。

1 日目：令和 6 年 8 月 14 日(水)

講義テーマ	講師
介護に関する基礎知識	那覇市社会福祉協議会 新垣 聡美
那覇市介護予防・日常生活支援総合事業	那覇市チャーがんじゅう課 義永 敦
地域包括支援センターとは	地域包括支援センター古波蔵 管理者 饒波 武之
職務の理解・訪問介護の理解	ヘルパーステーション大翔 代表取締役 植田 一輝
訪問介護の職業倫理	ケアプランもくれん 管理者 米城 智淳

2日目：令和6年8月15日(木)

講義テーマ	講師
尊厳の保持・自立支援	オリブ山居宅介護支援事業所 管理者 比嘉 貞憲
認知症の理解	地域包括支援センター小祿 認知症地域支援推進員 金城 徳
障がいの理解	相談支援事業所ひかり 管理者 吉元 めぐみ
老化の理解	介護老人保健施設オリブ園 教育課長 桑江 貴英

3日目：令和6年8月16日(金)

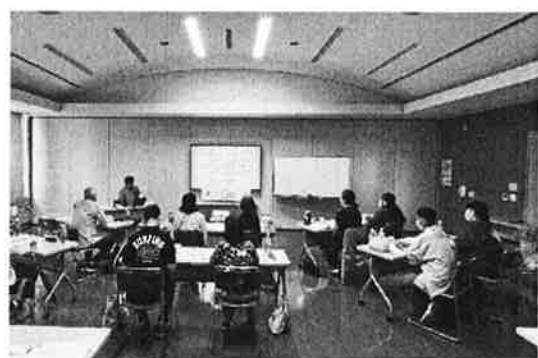
講義テーマ	講師
介護の基本	那覇市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 當山 清太
家事援助の方法	那覇市社会福祉協議会 在宅福祉課 金城 優子
介護におけるコミュニケーション技術	



「地域包括支援センターとは」
地域包括支援センター古波蔵 饒波 武之



「訪問介護の職業倫理」
ケアプランもくれん 米城 智淳



「尊厳の保持・自立支援」
オリブ山居宅支援事業所 比嘉 貞憲



「認知症の理解」
地域包括支援センター小祿 金城 徳

イ. 第13回：令和6年12月18日・19日・20日（全3日間）

申込者5名が受講し、修了。

1日目 令和6年12月18日(水)

講義テーマ	講師
介護に関する基礎知識	株式会社琉球の街 教育部長 芳賀 恵
那覇市介護予防・日常生活支援総合事業	那覇市ちゃーがんじゅう課 義永 敦
地域包括支援センターとは	地域包括支援センター大名 管理者 仲里 衣愛
職務の理解・訪問介護の理解	ヘルパーステーション大翔 代表取締役 植田 一輝
訪問介護の職業倫理	グリーンハウス長田 訪問統括管理者 浦崎 太一

2日目 令和6年12月19日(木)

講義テーマ	講師
尊厳の保持・自立支援	オリブ山居宅介護支援事業所 管理者 比嘉 貞憲
認知症の理解	地域包括支援センター安里 認知症地域支援推進員 下里 わかな
障がいの理解	相談支援事業所椿 管理者 我那覇 奈々
老化の理解	介護老人保健施設オリブ園 教育課長 桑江 貴英

3日目 令和6年12月20日(金)

講義テーマ	講師
介護の基本	那覇市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 當山 清太
家事援助の方法	那覇市社会福祉協議会 在宅福祉課 金城 優子
介護におけるコミュニケーション技術	



「介護に関する基礎知識」
株式会社琉球の街 芳賀 恵



「地域包括支援センターとは」
地域包括支援センター大名 仲里 衣愛



「職務の理解・訪問介護の理解」
ヘルパーステーション大翔 植田 一輝



「訪問介護の職業倫理」
グリーンハウス長田 浦崎 太一



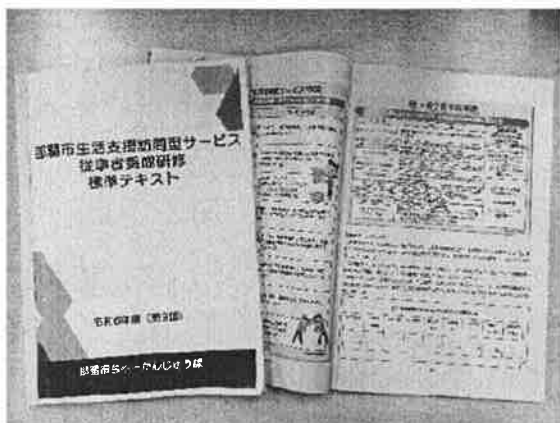
「認知症の理解」
地域包括支援センター安里 下里 わかな



「障がいの理解」
相談支援事業所椿 我那覇 奈々

②生活支援訪問型サービスの担い手養成研修の標準テキスト作成

令和4年度より那覇市へ申請することにより、生活支援訪問型サービス実施事業所において研修が実施できることとなった。その研修の標準テキストをこれまでの講師から提供頂いた資料等を参考に作成し、毎年校正・発行を行っているが、今年度より、なは高齢者プラン改定年度毎に作成を行っていく。現在第4版作成中。



標準テキスト（第3版）



本会実施の研修でも活用

③沖縄県高齢運転者安全運転講習会参加

移動支援事業における運転ボランティアの確保を目指し、損害保険ジャパン株式会社等関係者と共に、養成講座の実施や安全運転講習会の開催について協議を進めている。その中で、関係機関との連携強化や協議の参考とするため、損害保険ジャパン株式会社、沖縄トヨタ自動車株式会社、沖縄県警察の三者が実施している安全運転講習会に参加した。



令和6年5月19日(日)
第1回 普天間自動車学校にて開催



令和6年11月27日(水)
第2回 天久ドライビングスクールにて開催

(6)第1層協議体の運営に関する業務

第19回より、「那覇市における移動支援の継続・発展を考える～地域住民・社会福祉法人・企業等で作る移動支援～」をテーマに掲げ、移動支援の取り組みを行う中で挙がってきた『資金調達』と『担い手』の課題について協議を進めている。第20回の今回は、担い手の中でも特に、移動支援を実施する上で様々な調整を担う『調整役』に焦点を当て、その確保に向けた取り組みについて協議を行った。構成員からは、「ボランティアの有償化」「役割の細分化」「人材育成に向けた仕組みづくり」の必要性、そしてそれらの取り組みを校区まちづくり協議会圏域で検討・実施していくことが重要ではないか等の意見が挙がった。

日時	令和6年10月22日（火）10：00～12：00
場所	沖縄県教職員共済会館八汐荘 屋良ホール
テーマ	那覇市における移動支援の継続・発展を考える ～地域住民・社会福祉法人・企業等で作る移動支援～

構成員一覧（令和5年12月委嘱）

※今年度より交代

No.	団体名	氏 名
1	琉球大学	田中 将太
2	松島自治会・古島自治会	西平 博人
3	那覇市民生委員児童委員連合会	※石垣 勝秀
4	小禄南小学校区まちづくり協議会	大浅田 均
5	那覇市協働大使(NPO 法人ゆくり)	佐久川 伊弘
6	那覇地区老人クラブ連合会	平良 真弓
7	那覇市シルバー人材センター	長嶺 達也
8	大名第二団地自治会	仲座 方久
9	社会福祉法人 千草福祉会	金城 佑佐
10	社会福祉法人 ゆうなの会	山内 雅之
11	社会福祉法人 若杉福祉会	屋宜 貢
12	社会医療法人 葦の会 オリブ山病院	※宮里 勝子
13	株式会社トヨタレンタリース沖縄	※榑 隆造
14	損害保険ジャパン株式会社	※川上 和香
15	那覇市地域包括支援センター連絡会	上里 愛子
16	那覇市 福祉部 福祉政策課	※佐久川 正守
17	那覇市 市民文化部 まちづくり協働推進課	渡嘉敷 洋美



第 20 回 会場の様子



田中将太准教授による講評



構成員によるグループワーク
(1 グループ)



構成員によるグループワーク
(2 グループ)

(7)第 2 層協議体の運営を補助する業務

①第 2 層協議体への参加、運営の補助

ア. 地域包括支援センター繁多川

ゆんたくはんたく市場協力

イ. 地域包括支援センター高良

小禄地区買い物ボランティア引継ぎ

ウ. 地域包括支援センター城岳

おさんぽウォーク企画参加

エ. 地域包括支援センター国場

わくわくフェスタ打合せ参加

他にも、各包括が開催する地域ケア会議や協議体へ出席し、情報提供や課題把握等を行った。



包括繫多川 ゆんたくはんたく市場



包括城岳 おさんぽウォーク

②第2層コーディネーター等からの提案・課題等を整理、解決策の検討

第2層コーディネーターへヒアリング等を行い、現状や取り組みの確認、地域の問題や課題の把握等を実施した後、下記の『地域包括支援センター 地域の問題・住民ニーズ』一覧を作成した。また、その一覧を活用し、第1層第2層生活支援コーディネーター連絡会において、取り組み内容等に関する質疑応答や意見交換を行った。

令和6年度 地域包括支援センター 地域の問題・住民ニーズ		令和6年11月10日時点					
識名	【現状と取り組み】 ▶『男の健康教室』・『男の運動、おにぎり教室』サークルを運営、地域男性の引きこもりやフレイル予防に取り組んでいる。保健所の栄養士も定期的に水や塩も使わないで出来る調理教室を開き、実際に参加者で料理を作り実食するプログラムを行っている。コミュニケーションが受け入れられやすい。コミュニケーションが受け入れられやすい。 ▶「地域の高齢者も地域で活躍する」をコンセプトに高齢者リハビリや健康講座を兼ねた『長田ゆいまるマップ』情報の更新を行う。今後は他地域も同様のマップ作成に取り組み予定。 ▶包括保健師と保健師、関係機関との会議で連携を共有し介護予防の課題内容を決める。近年、地域内で高血圧の方が多くおられたため、講話内容を『血管に良い食事・おしくし減量する方法』で血圧に関する講話を4カ所で開催。今年度は高齢13市町民宅の高血圧者に対する介護予防講話を開催する予定。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域の問題</th><th>地域の課題</th><th>住民ニーズの優先度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ①高齢や障がい者より高齢高齢者受けの対応確認、引きこもり・フレイルに関する相談が増加している。仕事を辞めた方が多い。食料（食料や健康の介護）の負担と人との交流が途絶えている方が多い。 ②利用サークルや集いの場が少ない。『男の健康教室』は現在1カ所で開催。地域内に存在したサークル、集いの場の必要性は高いが人材（介護予防リーダー）と場所の確保が難い。現在のサークルもリーダー及び講師の高齢化により活動休止に苦慮。若い年輩の参加を促す。 ③「第3」目・第4、第5地区の民生委員が少なく地域の認知度低下が懸念。 </td><td> ①介護保険制度から連絡や相談が入る前に、引きこもる方々（フレイル予防）などのような方法で外出意欲を高め地域と繋がりを増やすことができれば。『男の健康教室』の様な活動も他地域へも広めさせていきたいが第（場所）と人材（リーダー）が足りない。地域のボランティアさんの協力が必須不可欠だがマッチングができていない。活動休止しているサークルも多い。手が届かないで地域活動が望める。 ②地域を巡る方々の認知度向上と集いの場を増やしていきたい。 </td><td> ① ② ③ ・サークルや集いの場の活用 ・男性の健康増進 ・若い世代の確保 </td></tr> </tbody> </table>	地域の問題	地域の課題	住民ニーズの優先度	①高齢や障がい者より高齢高齢者受けの対応確認、引きこもり・フレイルに関する相談が増加している。仕事を辞めた方が多い。食料（食料や健康の介護）の負担と人との交流が途絶えている方が多い。 ②利用サークルや集いの場が少ない。『男の健康教室』は現在1カ所で開催。地域内に存在したサークル、集いの場の必要性は高いが人材（介護予防リーダー）と場所の確保が難い。現在のサークルもリーダー及び講師の高齢化により活動休止に苦慮。若い年輩の参加を促す。 ③「第3」目・第4、第5地区の民生委員が少なく地域の認知度低下が懸念。	①介護保険制度から連絡や相談が入る前に、引きこもる方々（フレイル予防）などのような方法で外出意欲を高め地域と繋がりを増やすことができれば。『男の健康教室』の様な活動も他地域へも広めさせていきたいが第（場所）と人材（リーダー）が足りない。地域のボランティアさんの協力が必須不可欠だがマッチングができていない。活動休止しているサークルも多い。手が届かないで地域活動が望める。 ②地域を巡る方々の認知度向上と集いの場を増やしていきたい。	① ② ③ ・サークルや集いの場の活用 ・男性の健康増進 ・若い世代の確保
地域の問題	地域の課題	住民ニーズの優先度					
①高齢や障がい者より高齢高齢者受けの対応確認、引きこもり・フレイルに関する相談が増加している。仕事を辞めた方が多い。食料（食料や健康の介護）の負担と人との交流が途絶えている方が多い。 ②利用サークルや集いの場が少ない。『男の健康教室』は現在1カ所で開催。地域内に存在したサークル、集いの場の必要性は高いが人材（介護予防リーダー）と場所の確保が難い。現在のサークルもリーダー及び講師の高齢化により活動休止に苦慮。若い年輩の参加を促す。 ③「第3」目・第4、第5地区の民生委員が少なく地域の認知度低下が懸念。	①介護保険制度から連絡や相談が入る前に、引きこもる方々（フレイル予防）などのような方法で外出意欲を高め地域と繋がりを増やすことができれば。『男の健康教室』の様な活動も他地域へも広めさせていきたいが第（場所）と人材（リーダー）が足りない。地域のボランティアさんの協力が必須不可欠だがマッチングができていない。活動休止しているサークルも多い。手が届かないで地域活動が望める。 ②地域を巡る方々の認知度向上と集いの場を増やしていきたい。	① ② ③ ・サークルや集いの場の活用 ・男性の健康増進 ・若い世代の確保					
古波蔵	【現状と取り組み】 ▶介護職員も通入者と連携し、看護士も通入者で『がんじょう教室』を年1回開催している。がんじょう教室の参加者を集い自ら活動に繋げる取組みとして『健康の教室』を開いた。結果を振り返った後AとWで食事をする活動を取り入れたが、まだ自ら活動の実現に至っていない。今後自ら活動に繋げていくように働きかけていく。 ▶介護職員も通入者も地域内の高齢者や高齢者になる方と連携し、男性が集まりやすい、役割を担った活動ができる場所の創設を模索している。 ▶関係者会議として自主サークル活動で、毎月1回は介護予防の活動、水・土曜は折り紙や絵画、高齢者福祉の学習や男性限定のサークル活動する。高齢者参加しない男性高齢者の参加のきっかけ作りとして『スナックイベント』を開催し昼食・ワンドリンク・カラオケ付の内容で介護予防の学習や男性限定の学習も得て活動に繋がる。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域の問題</th><th>地域の課題</th><th>住民ニーズの優先度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ①介護チェックリスト（15分程度）に記入している方が少ない。地域によって活動にスーパーやコンビニで買い物に不便な高齢者。歩行者利用のスーパーへのアクセスは低い。 ②介護施設に在住の方は包括会員の自主サークルへ参加しやすいが、高齢者や高齢者で介護施設に在住の方は参加が難しい。介護施設にはサークルや集いの場がない。 ③介護施設での介護や介護職員が自宅に訪問するサークルが増加（R5、R6 内1件は女性）。 </td><td> ①介護職員も通入者や高齢者の方が多く参加しており、若い世代で活動に参加する機会や高齢者と高齢者で集いやすい場所や場所での活動が少なくない。活動にスーパーがない地域での買い物や高齢者の移動支援の必要性を感じる。 ②介護施設に在住する方々のサークル、集いの場の創設を検討するが施設内と異なる人材の確保が難しい。地域と関わりが薄く孤立した高齢者の自営り支援のためには介護施設や介護職員、関係機関との連携が必要。 </td><td> ① ② ③ ・移動に関する支援 ・買い物支援 ・サークルや集いの場の活用 ・若い世代の確保 </td></tr> </tbody> </table>	地域の問題	地域の課題	住民ニーズの優先度	①介護チェックリスト（15分程度）に記入している方が少ない。地域によって活動にスーパーやコンビニで買い物に不便な高齢者。歩行者利用のスーパーへのアクセスは低い。 ②介護施設に在住の方は包括会員の自主サークルへ参加しやすいが、高齢者や高齢者で介護施設に在住の方は参加が難しい。介護施設にはサークルや集いの場がない。 ③介護施設での介護や介護職員が自宅に訪問するサークルが増加（R5、R6 内1件は女性）。	①介護職員も通入者や高齢者の方が多く参加しており、若い世代で活動に参加する機会や高齢者と高齢者で集いやすい場所や場所での活動が少なくない。活動にスーパーがない地域での買い物や高齢者の移動支援の必要性を感じる。 ②介護施設に在住する方々のサークル、集いの場の創設を検討するが施設内と異なる人材の確保が難しい。地域と関わりが薄く孤立した高齢者の自営り支援のためには介護施設や介護職員、関係機関との連携が必要。	① ② ③ ・移動に関する支援 ・買い物支援 ・サークルや集いの場の活用 ・若い世代の確保
地域の問題	地域の課題	住民ニーズの優先度					
①介護チェックリスト（15分程度）に記入している方が少ない。地域によって活動にスーパーやコンビニで買い物に不便な高齢者。歩行者利用のスーパーへのアクセスは低い。 ②介護施設に在住の方は包括会員の自主サークルへ参加しやすいが、高齢者や高齢者で介護施設に在住の方は参加が難しい。介護施設にはサークルや集いの場がない。 ③介護施設での介護や介護職員が自宅に訪問するサークルが増加（R5、R6 内1件は女性）。	①介護職員も通入者や高齢者の方が多く参加しており、若い世代で活動に参加する機会や高齢者と高齢者で集いやすい場所や場所での活動が少なくない。活動にスーパーがない地域での買い物や高齢者の移動支援の必要性を感じる。 ②介護施設に在住する方々のサークル、集いの場の創設を検討するが施設内と異なる人材の確保が難しい。地域と関わりが薄く孤立した高齢者の自営り支援のためには介護施設や介護職員、関係機関との連携が必要。	① ② ③ ・移動に関する支援 ・買い物支援 ・サークルや集いの場の活用 ・若い世代の確保					

「地域の問題・住民ニーズ」一覧 ※一部抜粋、

(8)1 から 7 の業務を通し、新しい生活支援・介護予防サービスを創設する業務

①生活支援・介護予防サービスの拡充・創設

ア.『地域の足』移動支援プロジェクト運営支援

令和 5 年 7 月より、住民主体の移動支援プロジェクトとして本格実施に至った『地域の足』移動支援プロジェクトは、引き続き沖縄トヨタ自動車株式会社と株式会社トヨタレンタリース沖縄のご協力でカーシェアサービス『TOYOTA SHARE』によるシェアカーを使用、運転ボランティアを社会福祉法人ゆうなの会、社会福祉法人若杉福祉会、2 名の住民ボランティアが担う形で、週 2 回順調に運行を実施している。シェアカーの利用料については、今年度、那覇市福祉政策課の地域福祉基金や他の助成金を活用し運営してきたが、今後の安定した資金確保を目指し、現在、那覇市ちやーがんじゅう課の地域支えあい訪問型サービス事業(団体登録型)の補助金申請を検討している。その他、運営の継続のため、必要に応じて関係機関等との意見交換や調整を行った。利用登録者数:41 名、利用延べ人数:1,099 名(令和 7 年 3 月末現在)。



『地域の足』実施の様子



助成金申請に向けた自治会との打合せ風景



トヨタ・損害保険ジャパン・那覇市
移動支援意見交換会



社会福祉法人ゆうなの会の車両を急遽使用
しての実施



まちづくり協働推進課・那覇市協働による
まちづくり推進協議会との意見交換



大名小学校区まちづくり協議会との移動支
援意見交換会

②新たなサービスの開発、創設の取組み

ア．首里大名町自治会における移動支援試験運行

首里大名町自治会においても、トヨタのシェアカーを利用して買い物にお困りの方の移動支援を実施しようと、令和6年3月より週1回試験運行を開始。自治会や民生委員との協議を重ねながら、運営方法を形作っていった。令和6年12月で試験運行期間は終了となったが、試験運行を進める中で見えてきた運転ボランティアの確保や運営面における課題等については、今後も必要に応じ、自治会やまちづくり協議会等の関係機関との協議を行っていく。利用登録者数：17名、利用延べ人数：165名(令和6年3月～12月迄)。



自治会・民生委員との意見交換



移動支援の様子

イ. コープおきなわ・地域包括支援センター新都心との連携による企画の実施

普段の生活の延長線上で、楽しみながら介護予防に取り組む機会の創出を目的に、店舗のスペースを利用して健康チェックや体操を行う『買い物ついでに、“貯筋生活”』を企画。令和6年7月・8月・9月の月1回、計3回の連続企画として、コープあつぷるタウンで開催した。普段の生活の延長線上でできる介護予防、住民の集いの場や新たな繋がりへの創出、企業との連携強化等、様々な効果が見られた。参加者からは、「普段買い物に来る所で運動もできるのはありがたい。」「気軽に参加できるのが良かった。週1回・月1回でも続けてもらいたい。」等、好評な意見をいただいた。継続的な実施については、引き続き関係機関と共に協議を重ねていく。



看護師による血圧測定、健康
チェック



講師による楽しい健康体操



包括新都心による地域資源の紹介や健康講
話の実施



終了後は、講師への相談や参加者同士交流す
る様子も見られた

(9)その他必要と認められる事項

①事業計画および成果に関するまとめ等に関すること

那覇市・第2層生活支援コーディネーターと共に令和6年4月～12月の実績報告を取りまとめ、令和7年1月30日(木)に令和6年度那覇市生活支援体制整備事業報告会を実施。



那覇市チャージんじゅう課による事業概要及び実績報告



第1層生活支援コーディネーターによる活動報告



第2層生活支援コーディネーターによる活動報告



質疑応答の様子

以上

(4) 地域支えあい訪問型サービス事業(市受託)

【事業目的】

地域支えあい訪問型サービス事業を実施することにより、住民相互による支え合いの支援及び高齢者の社会参加を促進し、多様な高齢者の生活上の困り事への支援を柔軟に行うことで、利用者が地域における自立した日常生活を支援することを目的とする。

【業務範囲】

(1) 地域支えあい訪問型サービスの拡充に関する業務

地域支えあい訪問型サービスの地域の認知度向上と市や関係機関との連携の活性化に取り組むことで当サービスの利用者数及びサービス稼働数等の向上を目指す。

①生活支援サポーター養成講座の周知

(掲示・チラシ配布)

那覇市役所総合窓口、那覇市役所ちやーがんじゅう課、那覇市役所真和志支所
なは市民協働プラザ、ともかぜ振興会館、那覇市石嶺公民館、沖縄県立博物館美術館
沖縄県総合福祉センター、第1層2層連絡会(18包括)、那覇市地域包括支援センター大名
・石嶺・古波蔵・高良・識名・国場・新都心・城西・松島・安里、大名第二団地自治会
久場川市営住宅自治会、真和志第3民生委員児童委員、社会福祉法人偕生会寄宮偕生園
NPO法人グランアーク、地域活動支援センターハーネス、co-op 首里店、co-op 寒川店

(広報誌掲載・SNS)

なは市民の友、那覇市LINE、那覇市社会福祉協議会ホームページ、なは社協だより

(2) サービス・コーディネーターに関する業務

①生活支援サポーター登録者管理

生活支援サポーターの登録申請書である『生活支援サポーター登録カード』は、キャビネットに保管し、施錠した。サポーターの登録データは那覇市社会福祉協議会サーバーにて保存し、外部に持ち出さぬよう厳重に管理した。

②利用者の受付、情報収集

地域包括支援センターのケアプランナー等から相談や依頼の電話を受け、事業対象者のサービス利用について受付を行った。また、マッチング後サポーターと利用者のお互いの行き違いを防ぐため、利用者が希望する支援内容や利用期間、サポーターが利用する駐車場、その他必要な情報を担当のケアプランナーより綿密な情報収集を行った。

③利用者と生活支援サポーターのマッチング業務

受付した利用者と登録名簿にある生活支援サポーターを、利用者が希望する支援内容やその他の条件等を考慮してマッチングを行った。マッチングの依頼は電話やメール等で個別に行うほか、「生活支援サポーター専用公式 LINE」を活用して LINE のともだち登録しているサポーターに一斉送信することで、業務の効率化を図った。(LINE 友達登録者数 73 人)

<令和 6 年度実績>

実績項目	実績数
サービス実利用者数	51 名（前年度 51 名）
延べサービス利用回数	1053 回（前年度 1,000 回）

④生活支援サポーターへの指示及び情報の伝達

マッチング後、初めての活動の際には那覇社協の担当 CN が同行して活動内容を確認することで、実働するサポーターの不安を取り除き、利用者の信頼関係がいち早く形成されるよう支援した。

実働中のサポーターに定期的に連絡を取り、サポーター活動に必要な衛生用品（マスク、手袋、アルコール消毒液など）や備品（買い物ノート、長靴など）支給しながら訪問し、モニタリングを実施した。活動の状況や支援中に気になったことなどをヒヤリングし、サポーターが孤立せず、活動に対するモチベーションが低下しないよう支援を行った。

那覇市ちやーがんじゅう課と生活支援サポーター活動の手引きと生活支援サポーター登録カードの内容を見直し、更新作成を行い、サポーターが安心して活動が行えるよう体制も整えた。



サポーターとの個別相談の様子



清掃活動の様子

- ⑤生活支援サポーター活動の手引きおよび生活支援サポーター登録カードの見直し活動の手引きに災害時等の対応およびハラスメント行為への対応を新たに追加し、登録カードには個人情報の取り扱いに関する文言をより厳格な内容に見直しを行った。

(3)生活支援サポーターの養成及び育成に関する業務

①生活支援サポーター養成講座（第28～32回：計5回）の開催

那覇市介護予防・日常生活支援総合事業の「地域支えあい訪問型サービス（個人登録型）」において高齢者の生活支援を担うサポーターの養成講座を開催した。

今年度は生活支援サポーター登録名簿の整理を行い、2年ぶりに生活支援サポータースキルアップ講座・交流会を開催した。スキルアップ講座では、認知症サポーター養成講座を那覇市ちやーがんじゅう課・那覇市地域包括支援センターと協働して開催した。

生活支援サポーター養成講座受講後に、那覇市地域支えあい訪問型サービス事業（団体登録型）を実施したい団体や法人に繋がった。

<全5回開催実績>

実績項目	実績数
養成講座受講者数	49人（前年度38人）
登録者数	31人（前年度34人）
生活支援サポーター登録数（R7.3月時点）	171人（前年度193人） ※個人受付の登録者含む

ア. 第28回生活支援サポーター養成講座（令和6年6月26日） 14時～15時30分

参加者数：11名 会場：ともかぜ振興会館

登録者数：8名

講義テーマ	講師
高齢者の理解と地域包括ケアシステム みんなで支えよう！ 地域ささえあい訪問型サービス	那覇市社会福祉協議会 地域支えあい訪問型サービス担当 山城博子

イ. 第29回生活支援サポーター養成講座（令和6年9月4日） 14時～15時30分

参加者数：9名 会場：那覇市総合福祉センター1階

登録者数：8名

講義テーマ	講師
高齢者の理解と地域包括ケアシステム みんなで支えよう！ 地域ささえあい訪問型サービス	那覇市社会福祉協議会 地域支えあい訪問型サービス担当 山城博子

ウ. 第30回生活支援サポーター養成講座（令和6年12月11日） 14時～15時30分

参加者数：6名 会場：沖縄県総合福祉センター502教室

登録者数：6名

講義テーマ	講師
高齢者の理解と地域包括ケアシステム みんなで支えよう！ 地域ささえあい訪問型サービス	那覇市社会福祉協議会 地域支えあい訪問型サービス担当 山城博子

エ. 第 31 回生活支援サポーター養成講座(令和 7 年 2 月 4 日) 14 時～15 時 30 分
 参加者数：12 名 会場：沖縄県立博物館・美術館
 登録者数：6 名

講義テーマ	講師
高齢者の理解と地域包括ケアシステム みんなで支えよう！ 地域ささえあい訪問型サービス	那覇市社会福祉協議会 地域支え合い訪問型サービス担当 山城博子

オ. 第 32 回生活支援サポーター養成講座 *出張型(令和 7 年 3 月 21 日) 10～11 時 30 分
 受講者数：11 名 会場：株式会社 五色だんご
 登録者数：3 名

講義テーマ	講師
高齢者の理解と地域包括ケアシステム みんなで支えよう！ 地域ささえあい訪問型サービス	那覇市社会福祉協議会 地域支え合い訪問型サービス担当 山城博子

②生活支援サポータースキルアップ講座・交流会の開催

講師：那覇市ちゃーがんじゅう課 石橋保健師

那覇市地域包括支援センターかなぐすく 砂川氏

参加者数：13 名 会場：那覇市総合福祉センター2 階 大会議室



第 31 回養成講座会場の様子（会場型）



第 32 回養成講座会場の様子（出張型）



生活支援サポータースキルアップ講座



生活支援サポーター交流会（広報誌用）

③個別受付型 生活支援サポーター養成講座の開催

サポーターとなる担い手のさらなる確保を目的として、全5回の養成講座に参加できない方を対象に個別にスケジュール調整を行い、養成講座を開催した。

<個別受付型 実績>

開催回数：計2回（11/19、12/17）

受講者数：2名 登録者数：2名

(4)地域支え合い訪問型サービスを実施するボランティア団体等の支援に関する業務

「那覇市地域支え合い訪問型サービス事業（団体登録型）」は、那覇市において地域支え合い訪問型サービス事業を実施する住民ボランティア団体等に対してその活動を支援するために予算の範囲内において補助金を交付する市の事業であり、那覇社協は令和6年度の仕様書に基づき、サービスを実施する住民ボランティア団体の立ち上げ支援及び団体の相談や事務手続きの支援等に応じる。

団体型の創設を支援するため養成講座を出張型で、那覇市ちゃーがんじゅう課・那覇市地域包括支援センターと協働して開催した。

①団体型向け養成講座

団 体：大名第二団地自治会

日 時：令和7年1月16日（木）10時～12時30分

受講者数：7名



那覇市ちゃーがんじゅう課より団体型説明



那覇市地域包括支援センター大名より説明

②その他関係団体等への参加

NPO 法人グランアーク意見交換会

開催回数：計2回（10/7. 3/24）

参加機関：那覇市ちゃーがんじゅう課・那覇市福祉政策課

那覇市地域包括支援センター大名・城西・みらいファンド沖縄



第1回意見交換会



第2回意見交換会

(5) その他

ソーシャルワーク実習の対応、緊急医療情報キットの周知・説明・設置の対応、那覇市社会福祉協議会地域ふれあいデイサービス・わったー保健室と専門職サポーター派遣の連携について相談対応、識名老人センターとの連携について相談対応、サービス休止中の利用者・サポーター・関係機関の相談対応 等々

以上

(5) 歳末たすけあい見舞激励金事業

【目的】

地域で何らかの事情により生活に困っている世帯を対象に、少しでも明るい正月をむかえてもらうため、歳末たすけあい募金から世帯状況に応じて見舞激励金を支給する。

【調査協力】

民生委員児童委員、那覇市子育て応援課、那覇市パーソナルサポートセンター(以下PS)、地域包括支援センター、母子父子寡婦福祉センター等

【実施内容】(※詳細について別紙参照)

申請件数	195 件
決定件数	181 件
非該当件数	14 件(保護受給中 1 件、基準額超 13 件)

【調査者別申請件数】

年度	民生委員 児童委員	PS	包括	NPO	教育庁	相談 支援	母子父子 寡婦	居宅 介護	社協内	計
R5	169	15	5	0	0	1	1	1	3	195
R6	160	30	4	0	0	0	1	0	0	195

【支給額】

予算	経理区分)歳末助け合い募金事業-事業費支出-給付費支出 <u>¥2,200,000</u>
支給総額	<u>¥1,976,000</u>
支給方法	手渡し支給のみ 181 件

【協力機関】

①保護管理課にて、申請件数 195 件分保護照会を依頼。

(期間：令和 6 年 11 月 14 日～11 月 22 日)

②学校法人カトリック学園 愛児幼稚園より、ラッピングされた缶詰の寄贈。

贈呈式：令和 6 年 12 月 20 日(金)

【調査依頼】調査期間：8 月 1 日から 11 月 8 日(10/27 締切り以降も提出があり延長した)

各民児協定例会にて事業説明及び調査依頼を行い、関係機関へは郵送にて案内文書を配布した。

【見舞激励金支給日】

実施日 令和6年12月20日（金）午後1時半～午後4時

場 所 首里支所1階会議室、識名老人福祉センター、那覇市総合福祉センター2階会議室

【8】ありがとうメッセージ抜粋 ※原文のまま

N o	世帯区分	メッセージ
1	生活困窮	歳末見舞激励金は大変ありがたく、年末年始の出費が重なる時に使わせていただきます。物価高で生活が厳しくなる中、激励金は家計を助けるありがたいものです。感謝申し上げます。
2	母子父子	見舞激励金ありがとうございます。1日1日の生活が大変な思いでいる中、激励金を頂きとても感謝致します。恐縮ですが大事に使わせて頂きます。ご恩をお返しできるよう自立を目指したいと思います。
3	生活困窮	年末の物入りの最中、物価高騰の煽りを受け日々の生活が困窮していくばかりの中、民生委員の方から温かいご指導とお言葉を受け大変感謝しております。ありがとうございます。
4	高齢者	歳末たすけあい見舞金をいただき有難う御座います。有意義に使いたいと思います。皆様方への御厚意に感謝いたします。皆様のお仕事も御苦労様です。ありがとう！ございます
5	生活困窮	あたたかな歳末たすけあい見舞激励金をどうもありがとうございます。これで十分な食料を確保することができ、穏やかな年末年始を遅れそうです。重ね重ねお礼申し上げます。

【まとめ】（改善点等）

今年度は調査依頼を昨年同様早めに行った。また「民生委員児童委員全体研修会」での説明、チラシを作成し支給までの流れを示すなど、特に新任の民生委員への周知に力を入れた。申請はパーソナルサポートセンターからの件数が増えている。

例年同様の課題としては、民児協ごとで申請件数に差があること。364人（8月時点）の民生委員で申請を行った民生委員は74人と総数の25%にも満たない。また、昨年度と同じ世帯からの申請が94世帯と昨年の69世帯から増加している。よって、まだまだ困っている世帯の掘り起こしが必要だと思われる。

今後必要とする世帯に行き届いているか、民生委員によって認識の差がないかなど、働きかけを継続して行っていくことが必要である。

また、昨年の課題にあった寄り添い支援員から民生委員への引継ぎの課題で今年度は寄り添い支援員への事業説明を行ったことで理解してもらい、引継ぎをしたうえで対象者との関係構築は改善の傾向がみられ、大きなトラブルはなかったが、やはり数件は引継ぎの不十分なケースもあり再度民生委員に聞き取りをしてきてもらうケースもあった。

来年度も寄り添い支援員の対応についての協議、実態の掘り起こしや支給後のアフターフォローも含め、民児連・単位民児協との連携をさらに強化し事業を進めていく必要がある。

今年度はこれまで配布会場として利用していた真和志支所が取り壊しのため識名老人福祉センターで配布を行い、スムーズに受け渡しをすることができたため、次年度も引き続き識名老人福祉センターを利用する方向で検討していく。

今年度もありがとうメッセージをグーグルフォームで記入できるように、読み取り用のQRコードを掲載した。匿名でメッセージを寄せたい方や、忙しい合間にスマホで手軽に入力していけることから、次年度も活用していきたい。

※歳末たすけあい見舞い激励金と一緒に、愛児幼稚園や企業からの食料品、子どものいる世帯（高校生まで）にクリスマスケーキの寄贈も行った。

市内のケーキ販売店舗や事業所、団体、個人1名より171個寄贈があり、激励金対象世帯113世帯、その他母子会登録者11世帯、生活福祉資金対象へ4世帯、子どもの居場所「くまここ」へ10個、ファミリーサポートセンター登録者2世帯、若狭児童館へ11個、配付した。

以上

(6) 歳末たすけあいクリスマスケーキ配布事業

【事業目的】

本会では、歳末たすけあい運動の一環として生活困窮世帯に対して見舞激励金の支給や物品の寄贈を実施している。その事業と併せて、子供のいる困窮世帯を対象に、少しでも明るいクリスマスを迎えられるように、市内の各ケーキ製造販売店より寄贈のクリスマスケーキを提供する。この事業を通し、「たすけあい支え合い」の精神を育み、心豊かな地域社会の構築を目指す。

【対象となる世帯】

本会事業で支援している世帯の中から、子のいる世帯及び団体

【ケーキ提供協力先】

有限会社ピッコロモンド石嶺店、デザートラボショコラ、有限会社白バラ洋菓子店、有限会社ハッピー洋菓子店、トーエ洋菓子店、いまいパン、ル・パティシエ・ジョーギ、フォーモストブルーシール株式会社、Çafe わきみず、オークレープ、みやぎ菓子店、株式会社ジミー本店、ミルキー、小緑みらい子ども会、新里美香、(敬称略)

【クリスマスケーキ配布先】

① 激励金対象世帯

地 区	世帯数	激励金対象世帯合計
首 里	9 世帯 (内多子：0)	113 世帯 (内多子：15 世帯)
真和志	30 世帯 (内多子：6 世帯)	
小 緑	6 世帯 (内多子：3 世帯)	
本 庁	57 世帯 (内多子：5 世帯)	
その他 (PS・包括・寄添い ・地域居場所)	11 世帯 (内多子：1 世帯)	

② その他本会事業で支援している世帯及び団体

団体	世帯数
母子寡婦福祉会	13 世帯
生活福祉資金事業担当	4 世帯 (内多子：3 世帯)
子どもの居場所	11 か所
ファミリーサポートセンター	2 世帯
その他地域居場所	5 か所

3. ボランティア活動・福祉教育の推進

(1) ボランティア市民活動センターの運営事業

①プロジェクト

ア. アフガニスタン難民に対する人道支援 多文化ネットワーク fu ふ！

日時：令和6年6月2日、6月6日

イ. やなえもんワクワク体験会 やなえもん後援会

※調整をしたが未実施 令和7年度へ継続

ウ. 防災グッズ等で資金造成 那覇商工会議所青年部

日時：2月19日、3月26日 令和7年度へ継続

②その他

ア. なは市民活動支援センターとのボランティア情報一元化に向けた調整

日時：令和6年5月1日

場所：なは市民協働プラザ

イ. 沖大ぼらさぼの運営に関するミーティング

日時：令和6年7月4日

場所：かなぐすくボランティア室

ウ. なは市民活動支援センター・琉球大学高畑教授との意見交換

日時：令和6年11月22日

場所：Zoom

(2) 啓発広報活動の推進

①ボランティア啓発活動の推進《ボランティア養成講座への講師派遣及び企画協力》

地域や学校等でのボランティアに関する講座の開催や講師の派遣、または講師として出向き啓発広報や人材育成に努めた。また、各団体や企業、学生に対してボランティア活動実践プログラムを提案し、協働を推進した。

内容	開催日	開催場所 対象	参加 人数
サービスマーケティング実践講義	4月18日	那覇市古波蔵(個人宅) 沖縄大学島村ゼミ	17
ボランティア基礎講座	6月25日	沖縄大学本館 基礎講座受講者	80
ボランティア講座	6月28日	Zoom 沖縄大学パクゼミ	10
サービスマーケティング実践講座	7月10日 7月25日	那覇市安里(個人宅) 沖縄大学山野ゼミ	18
社協と行政の違い ボランティア講座	7月17日	沖縄大原簿記専門学校 公務員専科	45
盲導犬ユーザー講話	7月26日	南部地区社会福祉協議会連合会 ボランティア担当者連絡会	13
2学年一斉サービスマーケティング	10月4日	市内各所 安岡中学校	241
那覇市内の主なニーズ ボランティア講座	10月8日	Zoom WE21 ジャパン	15
ボランティア講座 歳末おそうじ隊 講義・実践	12月7日 12月14日	市内6校 中高生	69
「市民社会とボランティア」	1月15日 1月22日	沖縄大学	120
ボランティア講座 手話奉仕員養成カリキュラム	2月5日	那覇市役所会議室 手話奉仕員	20

那覇市の未来の担い手育成に向けた キャリア教育支援事業	2月14日	古蔵小学校 5年生	95
「ボランティア体験」 沖縄大学春季集中講義	2月17日	沖縄大学3号館 沖縄大学学生	30



ボランティア講座
沖縄大学 合同ゼミ



サービslラーニング実践講座
沖縄大学 島村ゼミ



盲導犬ユーザー講話
南部地区社協ボランティア担当者連絡会



サービslラーニング実践
安岡中学校 2学年



キャリア教育 SDGs・地域共生
古蔵小学校



ボランティア講座
沖縄大学 春季集中講座

②那覇市社協ボランティア・市民活動センター情報の発信

「那覇市社協だより」誌の発行・掲示

市民のボランティア活動推進の為、毎月発行の社協だよりによりボランティアのニーズやイベント、トピック等の、ボランティア活動に欠かせない情報提供を行った。

発行数述べ60,000部(1回5,000部)

配布先：ボランティア個人・団体、各種学校等、民生委員児童委員、社協会員、那覇市役所、那覇市議会事務局、市議、公共施設、自治会、市内民間企業、市内団体、市内銀行など

③ボランティアBOX事業（使用済み切手収集等ボランティア）の推進

家庭や学校、職場で気軽にできるボランティア活動として、「古切手」「使用済みプリペイドカード」「書き損じハガキ」を収集し、在宅障がい（児）者の支援事業として紙オムツに換えて支給。※集まったものは地域の事業所・団体・個人ボランティアによって整理している。

ア. 令和6年度「ボランティアBOX」の配布・寄贈・状況

受配実績	件数	R5 年度
BOX 配布	54 個	38 個
" 受取	124 個	87 個
紙オムツプレゼント事業申請者	29 名	21 名
換金額/事業総額	¥178,422/¥400,000	¥253,190/¥300,300

(3) ボランティアコーディネート活動の推進

①ボランティア活動の調整

ア. ボランティア登録の推進

ボランティア活動希望者を登録し活動を支援した。※毎年新規に登録（更新含む）

登録実績	登録数	R5 年度
個人登録	新規 281 名	293 名
団体登録	新規 49 団体	62 団体

イ. ボランティアに関する相談、社協事業に関する相談

各種相談に応じ、内容に応じて社協内部での連携とマッチングを図った。

また、福祉用具貸出に関しては社協会員を促すと共に外部への紹介も行った。

相談対応	延べ件数	R5 年度
講師調整・用具貸出など	13 件	16 件
プロボノ(※1)・CSR(※2)など	27 件	6 件
その他	(相談先や資源・保険に関することなど) 49 件	25 件

※1. 仕事で培った専門的なスキル・経験等をボランティアとして提供

※2. 「企業の社会的責任」環境保全や人権の保護、労働環境の改善、サステナビリティ（持続可能性）、地域社会への貢献など

ウ. ボランティアのマッチング（コーディネート）

ボランティアコーディネーターを配置（市補助金事業）し、ボランティアの派遣を希望する団体個人に対してコーディネートを行った。

※社協事業を含む ※マッチング不成立 36 件（キャンセル及び継続中を含む）

R6 年度派遣実績	依頼件数(件)	ボランティア(人)	R5 年度
個人からの希望・依頼	50 件	61 人	73 件/81 人
団体からの希望・依頼	66 件	605 人	139 件/549 人
合計	116 件	666 人	212 件/630 人

エ. R6 年度マッチング内容別実績

No.	内容	件数 (件)	ボランティア(人)	R5 年度
1	収集物整理	6	92	0 件/0 名
2	掃除(おそうじ隊含む)	17	205	17 件/93 名
3	イベント	19	171	14 件/41 名
4	施設お手伝い	6	67	1 件/1 名
5	余興	1	1	4 件/16 名
6	観光ガイド	2	5	10 件/14 名
7	技術・技能	5	15	21 件/24 名
8	子どもの居場所	18	28	11 件/14 名
9	傾聴	1	1	9 件/6 名
10	保育	1	28	0 件/0 名
11	物品提供・寄付寄贈	14	3	37 件/10 名
12	付添・見守り	9	10	29 件/17 名
13	その他	18	40	118 件/398 名
合計		117	666	271 件/634 人



付添・見守り 視覚障がい者



清掃 個別ケース



イベント 困窮者



収集物整理 ボランティア BOX



技術・技能 独居高齢者

その他 アフガニスタン避難民

オ. 24 時間テレビ 47「愛は地球を救う」への協力

昭和 53 年より全国規模で行われている 24 時間テレビ募金活動へ協力し、ボランティア紹介と対応職員の派遣を行った。

- ・日 時： 令和 6 年 9 月 1 日（日）午後 12 時半～18 時半
- ・場 所： 市内 2 カ所（店舗：イオン那覇店、ザビック小禄店）
- ・依頼者： 沖縄テレビ
- ・ボランティア： 8 団体 107 名

参加校	人数	参加校	人数
さつき小学校	12 名	古蔵中学校	8 名
沖縄尚学高等学校	26 名	沖縄カトリック中学校	16 名
首里高等学校	19 名	首里東高等学校	7 名
小禄高等学校	13 名	弘文館進学ゼミ A C T	6 名



イオン那覇店の様子



ザビック小禄店の様子

カ. ボランティア団体の外部助成等の申請支援

①ボランティア団体に対し、民間助成金情報の提供や申請手続きの支援、表彰関連の推薦など、その他具体的な活動に関する相談支援を行った。

カテゴリー	団体名	助成元
地域食堂	ワクワクゆんたく食堂	コープおきなわ

献血啓発団体	ネパール献血者協会	〃
読み聞かせ	金城小学校 PTA エルマーの会	〃
地域支援	那覇市民生委員児童委員協議会	〃
献血啓発団体	ネパール献血者協会	沖縄国際女性クラブ (Okinawa International Women's Club)

②企業・団体による社会貢献活動

プロボノや CSR 並びに SDGs に関するアドバイスや伴走支援、マッチングを行った。

	企業・団体名	内容
1	NEC マネジメントパートナー	社員の地域活動を推進するプログラム
2	北日本コンピュータ	車いす寄贈
3	JTB 佐賀支店	CSR 活動のマッチング
4	沖縄ホテル	地域課題解決へ向けてのプログラム
5	株式会社フジタ	SDGs プログラムへのアドバイス
6	アルティウスリンク株式会社	SDGs プログラムへのアドバイス
7	公開経営者協会	企業の社員向け福祉教育プログラムへの協力
8	株式会社沖縄テレビ開発	24 時間テレビのボランティアマッチング
9	ダブルツリー by ヒルトン	地域課題解決へ向けてのプログラム
10	那覇電気工事業協同組合 青年部	CSR 活動のマッチング
11	イーストマンケミカルジャパン株式会社	SDGs 活動プログラムへのアドバイス
12	FM レキオ	CSR 活動のマッチング (赤い羽根共同募金周知)
13	環境設計 国建	CSR 活動のマッチング
14	TEAM GOOD CREW	CSR 活動プログラムサポート
15	株式会社グランプログレス	CSR 活動プログラムサポート、マッチング
16	株式会社エイケン	SDGs 活動マッチング
17	那覇商工会議所青年部	CSR 活動プログラムサポート

18	沖縄国際婦人クラブ	地域課題解決へ向けてのマッチング
----	-----------	------------------

R5 年度: 11 企業・団体

③歳末おそうじ隊事業の実施

年末に一人暮らしの高齢者や障がい者の自宅を掃除し、明るいお正月を迎えることを目的として実施している。

- ・掃除 12 件（高齢者・障がい者世帯）
- ・電気点検 0 件
- ・寝具洗浄 2 件（障がい者世帯）
- ・キャンセル 3 件

④紙オムツプレゼント事業の実施

収集ボランティア活動で提供された使用済み切手やプリペイドカード、書き損じハガキ等の換金と歳末たすけあい募金の収益金によって購入した紙オムツを、在宅で常時オムツを使用している方へプレゼントし、在宅障がい（児）者の生活支援とその家族の経済的負担の軽減を図ることを目的に実施した。・交付 29 件（1 人あたり¥15,000 の紙おむつ券進呈）

（4）ボランティア団体活動助成事業・支援

① ボランティア体験・福祉教育プログラム助成事業の実施

児童・生徒のボランティア活動や福祉教育の体験活動等の事業を推進するため、市内学校へ助成を行い福祉実践力の向上を図った。（R5:5 校）

申請決定 1 校 助成総額 10,000 円

②ボランティア保険の加入促進及び事故処理

安心してボランティア活動ができるように、万が一の場合に備えボランティア活動者及び依頼者に対し保険加入を条件づけるなどの周知を徹底した。また、事故発生時には保険会社と調整し、事故処理の事務を行なう。

ア. 加入促進

内容	件数	人数	R5 年度
ボランティア活動保険加入	209	1,970	203 件/1,612 人
ボランティア行事用保険加入	123	11,080	126 件/9,061 人
保険事故処理	4	4	1 件/1 人

イ. 保険事故対応

保険種別	日時	人数	申込者内容
活動	令和 7 年 1 月 26 日	1	沖縄伴走ランナーネットワーク 試走会ボランティア中に、転倒し裂傷
行事用	令和 6 年 11 月 3 日	1	小禄地区市民運動会 競技に起因する、右膝半月板損傷
〃	令和 6 年 12 月 20 日	1	歳末助け合い募金街頭募金 帰路に、転倒し捻挫
〃	令和 6 年 12 月 20 日	1	歳末見舞い激励金支給事業 世帯訪問時に、転倒し両手首骨折

③ボランティアサロンの管理運営

ボランティアグループ等の活動支援を目的に拠点の整備を行っている。

※コミュニティサロン太陽食堂は令和5年9月を以て地域の子どもの居場所団体へ移譲した。

ウ. 各サロン利用実績

名称	場所	件数	人数	R5 年度
かなぐすく ボランティア室	那覇市総合福祉センター B1 階	14 件	135 人	0 件/0 人
ボランティアサロン まわし	真和志庁舎 2 階	402 件	2,418 人	402 件/5,828 人
コミュニティサロン 太陽食堂	那覇市壺屋 1-1-14	-	-	130 件/3,044 人

④福祉用具貸出事業

ア. 地域や学校において、高齢者や障がいを持った方々の機能を理解し、想像できるよう、車椅子や白杖等の疑似体験セットの貸出を行った。

イ. 点字器の活用を積極的に案内することで、従来型の白杖体験で感じられていた「目が見えない＝怖い」という誤った認識をなくし、工夫次第で障がいを持つ方も共に暮らせることを知り、ユニバーサルデザインを意識できるよう促した。

ウ. 【福祉体験用具貸出状況】

器具分類	件数	個数	R5 年度
車イス	15	81	20 件/88 台
白杖（感染抑制の為アイマスクは貸出無し）	11	148	16 件/165 個
高齢者疑似体験セット	21	164	13 件/99 セット
点字器・点字教本	8	223	11 件/333 セット

⑤福祉教育・福祉体験学習活動の支援

ア. 総合学習における福祉教育の推進

高齢者や障がい者の立場をより深く理解できるよう、講師派遣や障がい当事者の講師調整、福祉教育学習プログラム作りへの情報提供等の協力を行い、学校並びに地域住民に対する福祉教育の啓発普及に努めた。また、ボランティアセンター事業整理を踏まえ、疑似体験を主な目的とする依頼については、地域の民生委員児童委員や小学校区まちづくり協議会へ見守りの協力を呼びかけ、福祉用具の貸し出しのみを行うものとした。

イ. SDGs 学習の推進

- ・目標1（貧困をなくそう）・4（質の高い教育をみんなに）・10（人や国の不平等をなくそう）について学ぶきっかけとして、フォトランゲージの手法を用いた。
- ・目標3（すべての人に健康と福祉を）・12（つくる責任つかう責任）について考えるきっかけになるよう、ボランティア BOX 事業で出る廃棄切手を利用し、缶バッジメーカーを活用して学

習を深めた。

- ・目標 8（働きがいも経済成長も）・11（住み続けられるまちづくりを）についてより深く理解できるよう、学習に動画を取り入れた。

実施 25 件（小学校 12 校/36 校、中学校 3 校/17 校、高校 3 校/12 校、その他 7 件） R5 年度：24 件

No.	学校名	実施日	内 容
1	沖縄尚学高等学校	5 月 28 日	貸出のみ
2	壺屋小学校	6 月 13 日	貸出のみ
3	〃	6 月 21 日	当事者（車いすユーザー）講話：迎里崇雅氏
4	〃	6 月 26 日	当事者（盲導犬ユーザー）講話：中嶋琢氏
5	沖縄尚学高等学校	7 月 26 日	貸出のみ
6	曙小学校	9 月 12 日	貸出のみ
7	高良小学校	9 月 12 日・9 月 26 日	貸出のみ
8	リウボウインダストリー	10 月 9 日	貸出のみ
9	ちゃーがんじゅう課	10 月 17 日	貸出のみ
10	上間小学校	10 月 29 日	貸出のみ
11	沖縄銀行	11 月 5 日	貸出のみ
12	ちゃーがんじゅう課	11 月 13 日	貸出のみ
13	泊小学校	11 月 19 日	貸出のみ
14	さつき小学校	12 月 13 日	貸出のみ
15	真和志高等学校	1 月 14 日	当事者（盲導犬ユーザー）講話：中嶋琢氏
16	城北中学校	1 月 15 日・1 月 22 日	貸出のみ
17	沖縄県トラック協会	1 月 25 日	貸出のみ
18	仲井真小学校	1 月 28 日	貸出のみ
19	城北中学校	1 月 31 日	貸出のみ
20	小緑南小学校	2 月 6 日	貸出のみ
21	古蔵中学校	2 月 14 日	キャリア教育
22	琉球銀行	2 月 20 日	貸出のみ
23	渡嘉敷小学校	2 月 24 日	貸出のみ ※渡嘉敷社協経由で調整
24	沖縄県視覚障害者福祉協会	3 月 11 日	貸出のみ
25	松川小学校	3 月 13 日	貸出のみ



車いすユーザーによる講話



盲導犬ユーザーによる講話

(5) 災害時支援に関すること

令和6年1月1日に発生した石川県能登半島地震発生に伴い、全国社会福祉協議会の災害応援協定に基づき職員を派遣し、被災地への支援活動を行った。派遣された職員の活動報告をもとに
 今後は、那覇市災害ボランティアセンター設置訓練の実施に向けた組織体制や関係機関との連携を強化していきたい。また、災害ボランティアセンター機能を充実するための研修会等へ災害協定に派遣登録している職員を中心に参加した。

日時・場所	件 名	参加職員
令和6年6月19日（水） ～25日（火） 石川県珠洲市	石川県珠洲市災害応援派遣 石川県珠洲市	前川主査
7月12日（金） 場所：名護市	災害時相互応援協定に基づく市町村 社協事務局長等連絡会	宮城常務 真栄城局長
8月27日（火） 場所：総合福祉センター会議室	石川県珠洲市災害ボランティアセン ター活動報告会	全職員
11月29日（金） 場所：北中城村総合福祉センタ ー	災害ボランティアセンター運営者研 修会	前川主査 CSW
12月6日（金） 場所：天久ヒルトップ	災害中間支援組織・ネットワーク会議	真栄城局長 高野課長

4. 広報活動の推進

広報活動は①福祉のまちづくりやボランティア活動を広く発信する周知啓発、②福祉サービスなどの情報を必要な人に届けて利用促進や参加支援につなげること、③会員や寄付寄贈者などの支援者に対する説明責任や支援の継続、などを目的に実施している。

令和6年度には広報誌「なは社協だより」を、多世代への伝わりやすさを重視して紙面をわかりやすく、編集作業の効率化などを重視して、デザイン発注会社を変え、デザインを刷新したほか、社協とつながっていない市民をターゲットにした「ポスター版」を新たに発行した。また、令和4年6月より毎月放送していたコミュニティFM「FM那覇」における「それいけ！みんなのなは社協」は、一定の役割を果たしたと考え、広報体制の見直しに伴い、令和6年度を持って終了した。

(1) 広報誌「なは社協だより」の発行

媒体名：なは社協だより

規 格：A4判8頁

部 数：毎月5,000部

配 布：会員や寄付寄贈者などの支援者、自治会、民生委員、関係機関など

媒体名：なは社協だよりポスター版

規 格：A2判1枚

部 数：毎月300部

配 布：自治会、市内小中学校、公民館、児童館、協力事業所など

※沖縄銀行は各支店のデジタルサイネージで掲示協力している

だより、ポスター版は本会HPでもアップしており、過去の広報誌も含めて参照が可能。だよりの送付先の見直し作業に取り組み、会員（募集）と連動して、つながっている支援者や協力期間への送付など目的を持ち、効果を狙った発信を強化した。

(2) 第47回那覇市社会福祉大会の開催

①概要

スローガン 「なはのまち 誰もが安心して暮らせる 地域のきずな」

日 時 令和6年10月11日(金) 13時30分開会

会 場 パレット市民劇場

主 催 那覇市・社会福祉法人那覇市社会福祉協議会

内 容 1部 式典・表彰 2部 記念講演

②記念講演

「地域住民が主体性を持ったコミュニティづくりの展開

～あたたかいつながり、ぬくもり、やさしさがあるまちに向けて～」

講師：HITOTOWA INC. 執行役員 奥河洋介 氏

一般社団法人まちのね浜甲子園代表理事 井川舞 氏

③第 47 回那覇市社会福祉大会表彰（敬称略）

ア. 大会長感謝

〔多額寄付者 個人〕（1 名） 井上祐二

〔多額寄付者 団体〕（3 団体）

永寶株式会社・株式会社沖縄ファミリーマート・有限会社八陽

イ. 大会長表彰

〔特別功労者 社会福祉施設団体役職員〕（2 名） 嘉手納憲治

〔特別功労者 個人〕（1 名） 上地光子

〔特別功労者 団体〕（4 団体）

楚辺中央はっぴークラブ・ちむすがりどうくる船増原
みはらし長寿会・大橋かりゆし

〔社会福祉事業 特別永年勤続功労者〕（13 名）

○民生委員・児童委員として 15 年以上（3 名）

狩俣テリ子・玉寄文代・赤嶺邦子

○社会福祉事業に 25 年以上従事（10 名）

阿嘉清美・崎間初美・名嘉聖子・大城美智代・呉屋仁美
仲宗根美香・新里千穂・長嶺篤博・鈴木育洋・金城香

〔社会福祉事業 永年勤続功労者〕（44 名）

○民生委員・児童委員として 9 年以上（20 名）

與儀悦子・新垣米子・上原ツヤ子・屋良玲子・山城正伸・又吉秀安
仲松常弘・嘉数慶子・日高房子・我如古盛伸・東風平巖・上原明貴
松葉マリ子・佐辺良朋・山城勝秀・下里恵子・浦崎英寛・島袋春代
井上佐智子・山下美香

○社会福祉事業に 15 年以上（24 名）

赤嶺徳郎・知花とも子・眞喜志亜希・新里幸枝・喜納哲也・儀間勇樹
伊佐常樹・嘉陽利江・小濱恭佳・川上喜代志・上原里子・崎濱さゆみ
島袋恵・具志堅由起子・新田いづみ・新里裕大・奥浜裕士・吉田祐司
浦崎憲二・吉田智奈津・城間弘美・金城里美・長嶺江利子・田畑克美

(3) インターネット・ホームページの運用

<http://www.nahasyakyo.org>

ホームページにて行事のお知らせや講座、募集呼びかけ等随時に広報活動を行った。
また、SNS (Facebook と Twitter) を活用し、市民にタイムリーな広報活動を行った。

(4) ラジオ番組「それいけ!! みんなの なは社協」の実施 (本年度で終了)

広報誌の特集と連動するよう番組を毎月配信した。

日 時 : 毎月第3水曜日 PM 7:00~8:00

協 力 : FM なは

(5) だより編集会議の開催

各課や所属グループの担当者を集め、毎月1回会議を開催し、広報誌の内容や広報全般に関する協議を行った。

5. 福祉関係団体活動の支援・助成

(1) 福祉関係団体等活動の支援助成

共同募金配分金を活用して福祉関係団体等への事業助成を行い活動の支援とした。

ア. 赤い羽根共同募金配分助成事業

- ・対象団体：那覇市で高齢者や障がい者福祉、子育て支援につながる活動や、市民の福祉意識を高めるための活動を行う団体等
- ・実施期間：令和6年4月～令和7年3月
- ・助成団体一覧、サロン助成一覧（別紙一覧のとおり）

イ. 歳末たすけあい募金配分金助成事業

- ・対象団体：那覇市で子どもから高齢者、障がい者等との交流活動を支援する福祉関係団体やボランティア団体等
- ・実施期間：令和6年12月1日（日）～令和7年1月31日（金）
- ・助成団体一覧（別紙一覧のとおり）

ウ. 地域見守り交流事業

- ・事業内容：地域内で日々閉じこもりがちで、交流機会の少ない一人暮らし世帯や見守りの必要な世帯へ、民生委員児童委員や地域の関係者等による訪問、交流の機会を通して社会的孤立を防ぎ、単位民児協における見守り活動の充実・強化を目的とする。
- ・実施期間：令和6年8月、11月～令和7年1月
- ・対象団体：単位民生委員児童委員協議会（別紙一覧のとおり）

(2) 介護保険事業関係事業所連絡会への参画（訪問・通所）

①訪問介護ネットワークなは・通所介護ネットワークなは

那覇市内をサービス提供実施地域としている介護事業所の定期的な情報交換や課題解決の場として、また関係機関・団体と連携し互いのスキルアップを図り、よりよい介護のあり方を目指すことを目的として平成17年1月発足。本会は事務局として円滑な会の運営を支援している。

ア. 訪問介護ネットワークなは（令和6年度会員23事業所）

- ①定期総会の開催：令和6年6月25日（火）14時～14時半

②研修会の開催実績

- ・第1回会員研修会（令和6年6月25日（火）14時半～16時半）
研修内容：管理者・サービス提供責任者の法令遵守に関する研修・意見交換会
参加数：17事業所 36名

イ. 通所介護ネットワークなは（令和6年度会員28事業所）

- ①定期総会の開催：令和6年6月28日（金）13時～13時半

②研修会の開催実績

- ・第1回会員研修会（令和6年6月28日（金）13時半～15時半）
研修内容：管理者・生活相談員の法令遵守に関する研修・意見交換会
参加数：20事業所 32名

ウ. 訪問介護・通所介護ネットワークなは 合同研修 開催実績

①「業務継続計画（BCP）研修 ～机上訓練の方法を学ぶ～」

日 時：令和6年10月28日（月） 14時～16時半

参加数：62名（通所介護：23名・訪問介護：39名）

②「個別援助計画書作成のポイント」

日 時：令和7年2月3日（月）10時～16時

参加者：42名（通所介護：28名・訪問介護：14名）

③「自殺思考の方の理解と対応について」※ゲートキーパー養成研修

日 時：令和6年9月24日（火）18時～20時

参加者：41名

エ. 合同就職説明会「第2回 かいご・福祉就職フェア」開催

日 時：令和6年11月16日（土）12時～14時

会 場：ともかぜ振興会館 1階多目的ホール

来場者：11名 法人数：8法人

ア-1. 令和6年度 共同募金助成金 助成団体一覧

(1) 福祉団体助成

NO	種類	団体	事業名	助成額
1	福祉団体	那覇市身体障害者福祉協会	広報誌発行事業	180,000
2	福祉団体	小禄北地域福祉推進会	グラウンドゴルフ交流事業	30,000
3	福祉団体	小禄西地域福祉推進会	グラウンドゴルフ・地域小学校、こども園との交流	30,000
4	福祉団体	小禄南地域福祉推進会	グラウンドゴルフ大会	30,000
			子ども向け行事	
5	福祉団体	那覇市手をつなぐ育成会	クリスマスパーティー	135,000
			新年祝賀会	135,000
6	福祉団体	那覇市障がい者地域活動協議会	第6回地活協福祉まつりイベント交流事業	63,000
7	福祉団体	那覇地区老人クラブ連合会	第62回那覇地区老人クラブ大会・第48回那覇地区老人クラブ芸能発表会	270,000
8	福祉団体	那覇市母子寡婦福祉会	親と子の楽しい集い	270,000
9	福祉団体	那覇市青少年健全育成市民会議	第32回那覇市青少年健全育成綱引き大会	135,000
10	福祉団体	那覇市保護区保護司会	第74回“社会を明るくする運動”『那覇保護区大会』	90,000
福祉団体（10団体） 助成額合計				1,368,000

(2) 自治会助成

NO	種類	団体	事業名	助成額
1	自治会	那覇市自治会長会連合会	グラウンドゴルフ交流事業	45,000
2	自治会	那覇市本庁管内自治会長会	本庁管内自治会対抗グラウンドゴルフ大会	104,400
			本庁管内自治会長会研修会	45,000
3	自治会	小禄地区自治会連合会	小禄地区自治会連合会研修会	90,000
4	自治会	真和志自治会長連絡協議会	宿泊研修会	126,900
5	自治会	首里自治会長会連絡協議会	盆踊り講習会	14,400
			新春のつどい	112,500
			自治会対抗グラウンドゴルフ大会	9,000
6	自治会	那覇市営住宅自治会長会	県外視察研修	68,400
7	自治会	識名市営住宅自治会	グラウンドゴルフ 学事奨励会	45,000
8	自治会	楚辺中央自治会	2丁目夏祭り	45,000
9	自治会	安謝新都心自治会	グラウンドゴルフ及びバーベキュー大会	36,000

NO	種類	団体	事業名	助成額
10	自治会	当蔵町自治会	夕涼み会	31,500
			村屋塾（書き初め大会）	13,500
11	自治会	銘苅市営住宅自治会	自治会交流ピクニック	45,000
12	自治会	新都心銘苅市営住宅自治会	自治会員交流ピクニック	45,000
13	自治会	真地団地自治会	ワクワク交流・モルックとバスツアー	45,000
14	自治会	県営赤嶺団地自治会	交流カレー・かき氷パーティー	45,000
15	自治会	曙一丁目自治会	新春もちつき大会	24,000
			夏休みラジオ体操参加者奨励	8,000
16	自治会	繫多川自治会	グラウンドゴルフ交流事業	45,000
17	自治会	城東自治会	グラウンドゴルフ交流事業	45,000
18	自治会	楚辺一丁目自治会	グラウンドゴルフ交流会	45,000
19	自治会	県営繫多川高層住宅自治会	地域と団地住民の交流清掃	45,000
20	自治会	住吉区自治会	グラウンドゴルフ交流事業	26,888
21	自治会	田原自治会	田原自治会交流研修会	45,000
22	自治会	寒川町自治会	子育て支援食糧配付事業	45,000
23	自治会	宇栄原団地自治会	3世代グラウンドゴルフ大会	36,000
自治会（23団体） 助成額合計				1,331,488

(3) 民生委員助成

NO	種類	団体	事業名	助成額
1	民生委員 児童委員	那覇市民生委員児童委員連合会	民生委員児童委員活動支援事業	739,800
			民生委員児童委員研修事業	177,905
			民生委員児童委員大会事業	297,000
2	民生委員 児童委員	那覇第一民生委員児童委員協議会	安心・安全見守り防災マップ作成事業	41,481
3	民生委員 児童委員	那覇第二民生委員児童委員協議会	日帰り研修	45,000
4	民生委員 児童委員	那覇第三民生委員児童委員協議会	施設見学（日帰り研修）	45,000
5	民生委員 児童委員	那覇第四民生委員児童委員協議会	日帰り研修	45,000
6	民生委員 児童委員	那覇第五民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員欠員地区に対するチラシ配布事業	45,000
7	民生委員 児童委員	真和志第一民生委員児童委員協議会	高田団地地域ケア実践準備事業	28,313

NO	種類	団体	事業名	助成額
8	民生委員 児童委員	真和志第六民生委員児童委員協議会	平和っていいね！中部戦跡バスツアー	45,000
9	民生委員 児童委員	小禄第一民生委員児童委員協議会	ペタンク普及促進・交流事業	45,000
10	民生委員 児童委員	小禄第二民生委員児童委員協議会	写生会 小禄南小学校・小禄小学校・垣花小学校	45,000
11	民生委員 児童委員	小禄第三民生委員児童委員協議会	ボッチャ交流事業	45,000
民生委員（11団体） 助成額合計				1,644,499

(4) 育成枠助成

NO	種類	団体	事業名	助成額
1	育成	那覇市食生活改善推進協議会	研修費	36,000
2	育成	うるく地域ふれあいまつり実行委員会	うるく地域ふれあい祭り実行委員会	40,500
3	育成	那覇市識名老人福祉センター利用者連絡会	第18回識名地域福祉まつり	40,500
4	育成	安謝児童館母親クラブ	安謝児童館・老人憩いの家まつり	40,500
5	育成	かなぐすく地域福祉まつり実行委員会	かなぐすく地域福祉まつり	45,000
6	育成	うるくみーまーる隊	うるくみーまーる隊	20,000
7	育成	曙小学校区まちづくり協議会	防災イベント事業（防災キャンプで避難所体験）	31,704
8	育成	識名友遊食堂	子ども食堂	40,000
9	育成	マヒナジーモ	渡嘉敷島へGO！子供の居場所 夏休み平和学習！	40,000
育成（9団体） 助成額合計				334,204

(5) 特別助成

NO	種類	団体	事業名	助成額
1	特別助成	結の広場（ゆいまーるの会）	子育て支援事業	40,000
特別助成（1団体） 助成額合計				40,000

助成団体（54団体） 総額 **4,718,191**

ア② ふれあい・いきいきサロン助成団体一覧

No.	地区	団体名	事業内容	申請額
1	本庁	あさとなかよし会	グラウンドゴルフ	24,000
2	本庁	美田ふれあい ・いきいきサロン	気軽にご近所付き合いの輪を広げ安心して暮らせるコミュニティとしての居場所づくり	24,000
3	本庁	あけぼのゆんたく会	月に1回グラウンドゴルフをし夕方から親睦会を開催	24,000
4	本庁	あけぼのほのぼの サロン	健康体操・防災学習・健康講話・DVD鑑賞・モルックゲームなどで介護予防。ゆんたくで情報交換や親睦を図る事で認知予防に繋がる	24,000
5	本庁	縫染花	団地内美化活動、健康体操、小物、洋裁作り	24,000
6	本庁	三々五々の会	ゆんたく会、カラオケ、地域の歴史・文化、小物作り、健康について等	24,000
7	本庁	いきいきゆんたく サロン	地域の方々と交流、楽しく過ごせる。独りでのときは公園に出て声掛けする勇気が欲しいです	24,000
8	本庁	ゆいまーるの会	困窮世帯への支援、食糧品の無料配布	24,000
9	本庁	ラッキー木よう会	ゆんたく、歌、工作、体操、ゲーム、講話等	24,000
10	本庁	コスモス絆の会	ゆんたく、手工芸、その他	24,000
11	真和志	ハッピーハッピーサ ロン	ゆんたく、小物づくり、折り紙教室、スイーツ作り、カラオケ、健康体操、お笑い等々、随時話し合いで決める	10,000
12	真和志	いきいきサロンいい あんべえ	琉球歴史物語、近況報告会、持寄り簡易食事会	24,000
13	真和志	サロンぼちぼち	食事、ユンタク、カラオケで楽しみながら地域の方々と交流する	24,000
14	真和志	スマイル女子会	手工芸、高齢者を対象として気軽にユンタクをしながら楽しく月に2回、活動しています。	24,000
15	真和志	真地団地自治会	高齢者に食事の場を提供し、ふれあいのできる居場所づくりと見守りを行う。	24,000
16	真和志	がじゅまる会	地域の高齢者の健康づくり、仲間づくり等楽しく集える場の提供	24,000

17	真和志	松川ていだサロン	日頃、閉じこもりがちで交流の機会が少ない高齢者をカラオケや百歳体操での居場所づくり	24,000
18	真和志	男の食ッキング	男性のための調理実習	24,000
19	真和志	ボランティアサークル・マヒナジーモ 854	ボランティアの育成、交流、子どもの居場所	24,000
20	真和志	フレンズおおぞら	毎朝6時30分、おおぞら公園で活動しています。(ラジオ体操) サンデーウォーキング、ふれあい会	24,000
21	真和志	松金クラブ	仲間同士囲碁サロン交流	24,000
22	真和志	すこやか	グラウンドゴルフ・茶話会	24,000
23	真和志	ふれあい・いきいきサロンわかば	地域の資源を活用した認知予防勉強会	22,000
24	真和志	ゆんたくカフェ	ゆんたく	24,000
25	首里	はなびより	ゆんたく、ストレッチ	24,000
26	首里	ふれあい・いきいきサロン 一木会	首里石嶺町たんぼぼ通り自治会の高齢者居場所として開設、参加者からの会費100円でコーヒータ임にユンタクを主とし今年はコロナが5類になり年間活動に弾みがつき忘新年会、観月会等でシニアライフを楽しみたい。	24,000
27	首里	桃原町いやしの会	毎月第4木曜日に公民館に集い、歌謡曲の合唱、ストレッチ体操等を行い居場所づくりの活動を進める	24,000
28	首里	首里石だたみ会	地域で交流して、引きこもり防止、健康維持のため、毎週月～木曜日に地域内の広場でグラウンドゴルフを楽しむ。	24,000
29	首里	いきいきサロンかりゆし会	踊り、茶話会、今年度より折り紙を取り入れる	24,000
30	首里	大角座	囲碁愛好者同士の交流・親睦	24,000
31	首里	いきいきサロンゆんたく会	高齢者を対象に引きこもりをなくすため、おしゃべりしたり歌を歌ったりしてボケ防止のため	24,000
32	首里	ペンタス花の会	高齢者を中心に近所の方々とおしゃべり。カラオケ、手芸等自由に楽しめ集える憩いの場所として活動する。	24,000

33	小祿	ふれあい・いきいき サロンゆんたく広場	高齢者の居場所づくり、元気な高齢者が もっと元気に、ゆんたくしながら手を動 かし、お互いに教え合い楽しく集える場 の提供	24,000
34	小祿	田原きんよう会	地域に居る老人と仲間づくり・ゆんたく の場を作り交流を深める。	24,000
35	小祿	糸の会	地域住民の居場所づくりを目的として、 袋物や手作り小物製作をする	24,000
36	小祿	ひまわり水よう会	健康体操、手工芸、花壇づくり、ゆんたく 会	24,000
37	小祿	健康体操クラブ	健康体操	24,000
				872,000

イ. 令和6年度歳末たすけあい配分金事業

NO	種類	団体名称	助成内容	助成額
1	自治会	銘苅市営住宅自治会	新春もちつき大会	30,000
2	自治会	くもじ地域自治会	新年もちつき会	21,000
3	自治会	若狭一丁目自治会	三世代交流ムーチャーづくり	30,000
4	自治会	楚辺一丁目自治会	新春もちつき大会	30,000
5	自治会	壺川東市営住宅自治会	新春交流会	30,000
6	自治会	県営天久高層住宅自治会	新春もちつき大会	30,000
7	自治会	仲井真ハイツ自治会	ムーチャー作り	30,000
8	自治会	真嘉比自治会	高齢者声掛け活動・高齢者へ食料支援事業	50,000
9	自治会	識名市営住宅自治会	クリスマス会・忘年会	30,000
10	自治会	真地自治会	わたしたち、ぼくたちの公民館をはなやかそう	30,000
11	自治会	繁多川市営住宅自治会	繁多川市営住宅共用広場の両整備	30,000
12	自治会	繁多川自治会	新春餅つき大会	30,000
13	自治会	真地団地自治会	ふれあいモルック大会	30,000
14	自治会	県営古蔵会自治会	高齢者を対象にしたスマホ講座	17,500
15	自治会	与儀市場通り地域自治会	新春のつどい・もちつき大会・全世代交流事業	21,000
16	自治会	久場川市営住宅自治会	新春もちつき大会	20,000
17	自治会	首里赤田町自治会	三世代交流のクリスマス会・グランドゴルフ大会	30,000
18	自治会	赤平町自治会	新春”初起し”もちつき大会	21,000
19	自治会	当蔵町自治会	世代交流 新春むーちーづくり	30,000
20	自治会	首里大中町自治会	新春もちつき大会	30,000
21	自治会	首里鳥堀町自治会	子どもとお年寄りの餅つき会	30,000
22	自治会	県営赤嶺団地自治会	交流事業及び高齢者への食料支援事業	50,000
23	自治会	小禄泉原自治会	新年会(世代間交流事業)	30,000
24	自治会	新都心銘苅市営住宅自治会	もちつき交流会	30,000
25	自治会	三重城団地自治会	令和5年度歳末助け合い配分金福祉活動助成事業	30,000
26	自治会	樋川市営住宅自治会	保存食配布事業(困窮世帯)	50,000
27	自治会	県営繁多川高層住宅自治会	新春もちつき、新年会」及び食糧支援見守り活動	50,000
28	サロン	ひまわり水よう会	老人等見守り活動	30,000

イ. 令和6年度歳末たすけあい配分金事業

N0	種類	団体名称	助成内容	助成額
29	サロン	ふれあいいきいきサロン縫染花	三世代交流	20,000
30	サロン	ペントス花の会	クリスマス交流会から知念商店ペントス花の会、見守り 隊交流昼食会	30,000
31	サロン	真地ゆんたく広場	親子クリスマス会	30,000
32	サロン	真地団地自治会「百均食堂」	地域住民への食の支援	30,000
33	サロン	フレンズおおぞら	高齢者ふれあい交流新年会	30,000
34	サロン	サロン系	サロン仲間づくり交流会	30,000
35	サロン	いきいき・サロン一木会	地域住民との交流会・組織づくり仲間づくり	30,000
36	サロン	ゆんたく広場3/24/28TEL	地域との交流会を行う	20,000
37	障がい施設	株式会社ハートランドおきなわ こくば	体を動かし心も体もぽかぽか	30,000
38	障がい施設	株式会社ハートランドおきなわ 首里	プラネタリウムへ行こう	30,000
39	子ども居場 所	ボランティアサークル マヒナジーモ854	こどもの居場所かきぞめ会	40,000
40	子ども居場 所	一般社団法人ゆいまーの会	生活困窮世帯への食料支援	30,000
41	その他	神花きっず	神原ホルト通り年末CGGクリーン活動&交流会	30,000
42	団体	那覇地区老人クラブ連合会	女性委員歳末見守り活動	45,000
43	団体	那覇市母子寡婦福祉会	母子会・寡婦会を中心に清掃活動、生活困窮世帯方々へ の食料支援	50,000
44	団体	山下町老人会	会員・自治会と地域住民児童との交流会	20,000
45	団体	那覇市手をつなぐ育成会	親子研修（交流会）	50,000
46	団体	非営利任意団体 MIRAIアニメプロダクション	新春アニメワークショップ 四コママンガを作ろう	30,000
47	その他	小禄北地域福祉推進会	グランドゴルフ地域交流	30,000
48	その他	NP0法人地域サポートわかさ	お花いっぱい活動と年末大そうじ	30,000
49	老人セン ター	識名老人福祉センター利用者連 絡会	三世代交流会	30,000
50	老人セン ター	金城老人憩の家利用者連絡会	三世代交流「新春ふれあい会」1/18	30,000
51	民児協	真和志第1民児協	一人暮らし高齢者の見守りに子どもと一緒に訪問活動を行 い福祉教育事業	10,000
52	民児協	真和志第6民児協	笑顔いっぱいあったかクリスマス	50,000
53	民児協	那覇第2民児協	日帰り研修（今帰仁村・本部町）	30,000

合計…①	1,655,500
令和6年度助成配分金額…②	2,050,000

ウ. 地域見守り・交流事業参加者について

	日時	場所	参加者数										備考		
			戸別 訪問	交流 行事	総合計	開催別	参加者内訳					関係者			
							種別	独居	高齢世帯	障害	子育て世帯	その他		その他	民生委員
那覇第1	11月29日、 1月23日	独居・高齢・障害・子育て世帯宅	○		120		65	8	10	18			19		
那覇第2	8月24日	若狭公民館		○	90		41	2	2			13	32		
那覇第3	12月5日、 12月12日、 12月24日	独居・高齢・障害・子育て世帯宅	○		164		75	16	6	24	11		32		
那覇第4	11月14日～ 12月	独居・高齢・障害者宅	○		153		121	9	10				13		
那覇第5	12月2日～	独居・高齢・障害・子育て世帯宅	○		118		43	2	20		35	7	11		
那覇第6	11月22日～ 12月31日	独居・高齢・障害・子育て世帯宅	○		125		74	2	23	9			17		
真和志第1	12月1日～ 1月31日	独居・高齢・障害・子育て世帯宅	○		211		164	5	10	6		9	17		
真和志第2	11月12日	大道公民館、 独居・高齢・障害・子育て世帯宅	○	○	137		95	11	7	1		18	5		
真和志第3	10月22日～ 1月30日	独居・高齢・障害・子育て世帯宅	○		154		58	54	20	13			9		
真和志第4	1月19日	独居・高齢・障害者宅	○		83		53	8	3				19		
真和志第5	1月10日	独居・高齢・障害・子育て世帯宅	○		93		27	14	3	37			12		
真和志第6	1月8日	那覇市人材育成支援センターまーいNaha		○	102		32	15				39	16		
首里第1	11月12日	独居・高齢者宅	○		174		134	24					16		
首里第2	11月26日、 1月30日	独居・高齢・障害・子育て世帯宅	○		168		51	65	19	15			18		
首里第3	1月～2月	独居・高齢・障害者宅	○		71		50	2	1	8			10		
小禄第1	1月15日	独居・高齢・障害者宅	○		199		160	2	10	2		15	10		
小禄第2	1月16日	独居・高齢・障害者宅	○		93		50	18	1			4	20		
小禄第3	1月29日～	独居・高齢・障害・子育て世帯宅	○		170		144	6	3	5			12		

6. ふれあいのまちづくり事業

(1) ふれあい福祉相談室の運営

市民の日常生活における心配ごとや悩みごとに対して助言・支援を行っており、令和6年度においても感染予防対策を徹底しながら、総合相談体制の継続に努めてまいりました。これまでの基本姿勢を継承しつつ、制度の狭間にある緊急課題をいち早く捉え、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）や関係機関と連携し、迅速な対応に努めています。

また、生活福祉資金の貸付相談の際には、対象とならない方々に対する緊急支援として、法外援護による物品の提供に加え、フードドライブ活動を実施し、市民の皆さまから寄贈いただいた食品等も活用しました。さらに、専任相談員は、ひきこもり状態にある方や困窮世帯への支援を行うとともに、ケース会議を開催し、関係機関との意見交換や情報共有を通じて、今後の支援の在り方について検討を重ねました。

●一般相談員の配置 5名

一般相談員 5 名を配置し電話相談・来所相談を対応した。心の悩みや生活課題へのアドバイス、関係機関の情報提供を行い、市民に安心感を与える対応をした。

●専門相談員（弁護士・司法書士）配置

沖縄県弁護士会の推薦による 3 名、沖縄県司法書士会の推薦による 6 名を委嘱、番制で配置し、登記遺産相続、多重債務、自己破産、損害賠償、書類作成、消費者金融問題等の相談に対応した。

●専任相談員の配置 1名

一般相談員と連携しながら、行政関係機関、地域包括支援センター、パーソナルサポートセンター、民生委員・児童委員、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、生活福祉資金担当者などの関係機関につなぎ、早期解決に努めました。

また、CSW と共に個別ケースの検討を行い、適切な情報提供を行うことで、問題解決に向けて積極的に取り組みました。

ア. 相談件数実績報告

イ. 相談員連絡会及び事例検討会

相談員勉強会の開催

① 関係機関との連携や相談員の資質向上及び情報交換を目的として連絡会等を開催した。

回	期 日	内 容	場 所	参加者
1 回	令和 6 年 4 月 25 日 (木) 10 : 00 ~ 12 : 00	・ 令和 6 年度 FD・食糧支援体制 ・ 令和 6 年度 貸付事業体制 ・ 意見交換 ※互助会説明	会議室 A	職 員 7 人 相談員 5 人

2回	令和6年 6月27日(木) 10:00~12:00	・貸付報告 ・意見交換 ・CSWとの交換会	会議室A	職員6人 相談員5人
3回	令和6年 8月22日(木) 10:00~12:00	・償還指導報告 ・意見交換 ・ふれデイとの交換会	会議室A	職員6人 相談員4人 研修生3人
4回	令和6年 9月26日(木) 10:00~12:00	・貸付報告 ・意見交換 ・育児支援の役割・交換会	会議室A	職員3人 相談員5人
5回	令和6年 12月26日(木) 10:00~12:00	・意見交換 ・糸の役割・交換会	会議室A	職員8人 相談員4人
6回	令和7年 3月27日(木) 10:00~12:00	令和6年度のまとめ ※今年度の振り返り	会議室A	職員5人 相談員4人

②相談員の資質向上を目的として勉強会を開催し、研修会等に参加した。

回	期 日	内 容	場 所	参加者
1回	令和6年 5月23日(木) 10:00~12:00	おきなわ女性財団「相談員基礎研修」 ・精神保健福祉センターの役割と連携 ・児童相談所の役割と連携 ・女性相談支援センターの役割 ・沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センターの役割と連携	ていりる 1Fホール	・相談員6名
2回	令和6年 7月25日(木) 10:00~12:00	・那覇市ちやーがんじゅう課との交換会 ・包括支援センターの仕組みについて 包括支援G ・認知症サポーター養成講座	会議室B	・相談員5名 ・職員2名 ・那覇市2名 合計9名
3回	令和6年 10月24日(木) 10:00~12:00	・子ども家庭センターなは見学と交流 ・センターの役割について説明 ・意見交換	那覇市 2階	・相談員5名 ・職員2名 ・那覇市2名 合計9名
4回	令和6年 11月28日(木) 10:00~12:00	・こころの健康出前講座 「こころの病気を持った方への対応」 日本精神科看護協会 渡慶次智子	会議室B	・相談員4名 ・職員8名 ・保健所2名 合計14名
5回	令和7年 1月23日(木) 10:00~12:00	・「国民年金保険料の免除手続きに関 すること」 日本年金機構 副所長 屋比久宏光	会議室B	・相談員4名 ・職員3名 ・年金機構1 名 合計8名

6 回	令和 7 年 2 月 27 日（木） 10：00～12：00	・障がい福祉課との交換会 障がい者支援の役割と概要説明	那覇市 10 階	・相談員 5 名 ・職員 3 名 ・那覇市 6 名 合計 14 名
-----	--------------------------------------	--------------------------------	-------------	--

表. 令和 6 年度ふれあい福祉相談室実績報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
① 相談室開設日 (日)	21	20	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	242	240
② 相談件数(件)	46	62	67	57	67	76	88	74	40	77	59	71	784	1051
ア来所相談(件)	18	17	27	22	23	28	35	31	14	47	25	49	336	364
イ電話相談(件)	28	45	40	35	44	48	53	43	26	30	34	22	448	687
※司法書士相談(件)	2	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	7	10
※弁護士相談(件)	-	3	-	3	-	1	-	2	-	1	-	3	13	9
③連絡会開催(回)	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	6	6
④研修会参加(回)	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	6	6
⑤ケース会議(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥訪問 (回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

①令和 6 年度ふれあい福祉相談室実績

1) 相談者内訳

	相談者内容	件数
1	本人、家族	666
2	民生委員・児童委員	16
3	その他	59
	合計	741

2) 相談経路

	内容経路	件数
1	パンフ、社協広報	145
2	市広報	16
3	新聞、その他マスコミ	7
4	民生委員児童委員	15
5	福祉機関、団体	55
6	市行政担当	61
7	友人、知人、その他	326
	合計	628

3) 相談内容

	内容	内訳	件数	割合 (%)
1	お金に関すること	生活費	108	12%
		目的費（教育・医療等）	13	1%
		借金	22	2%
2	家庭の問題に関すること	夫婦間の問題	19	2%
		親子、姉妹兄弟の問題	44	5%
		隣の問題	28	3%

3	健康に関すること	本人の健康	124	14%
		家族の健康	40	5%
		親族の健康	17	2%
4	法人に関すること	行政への苦情	7	1%
		その他法人への苦情	5	1%
5	食料支援に関すること	社協食料支援	216	24%
		フードバンク	4	3%
6	その他	子育てに関すること	2	0%
		福祉情報提供	17	2%
		その他	220	25%
		合計	886	100%

②司法書士相談・弁護士相談件数

ア. 司法書士相談件数（7件）

件数	月	日	性別	相談方法	相談内容
2	4	12	女性	来所	騒音トラブルについて
	4	12	男性	来所	相続について
1	5	10	女性	来所	マンション購入登記について
1	6	14	男性	来所	お墓の名義変更について
1	10	11	女性	来所	相続放棄について
1	11	8	女性	来所	離婚について
1	3	14	女性	来所	相続について

イ. 弁護士相談件数（13件）

件数	月	日	性別	相談方法	相談内容
3	5	24	女性	来所	近隣トラブルについて
	5	24	女性	来所	退去後の手続きについて
	5	24	女性	来所	土地、建物の所有権について
3	8	2	男性	来所	保護課への苦情について
	8	2	女性	来所	詐欺被害、借金返済、生活の自立について
	8	2	女性	来所	建物名義、土地借地について
1	9	27	男性	来所	不法解雇について
2	11	22	男性	来所	借金について
	11	22	女性	来所	債務整理について
1	1	24	女性	来所	子どもの居場所での金銭トラブルについて
3	3	28	女性	来所	近隣の騒音問題について
	3	28	女性	来所	職場の組織問題について
	3	28	女性	来所	実家の相続について

③令和6年度ふれあい相談室・アンケート調査実施状況報告

4月 (0 件)	10月 (1 件)
5月 (0 件)	11月 (7 件)
6月 (3 件)	12月 (2 件)
7月 (2 件)	1月 (7 件)
8月 (4 件)	2月 (2 件)
9月 (4 件)	3月 (4 件)
合計 : (36 件)	

ア. 結果内容 (36) 件数

Q1. 相談手段 来所 (36) 電話 (0)

Q2. 性別 男 (13) 女 (23)

Q3. 年齢 10代 (2) 20代 (2) 30代 (8) 40代 (7) 50代 (6) 60代 (5)
70代以上 (6)

Q4. 相談内容

- ☐ お金に関すること (生活費 ・ 借金) (5)
- ☐ 食料支援・物品 (フードドライブ) の相談 (21)
- ☐ 家庭の問題に関すること (夫婦間、親子姉妹兄弟間、隣近所) (3)
- ☐ 子育てに関すること (0)
- ☐ 健康に関すること (本人の健康 家族の健康 1 親族の健康) (1)
- ☐ 福祉情報提供 (0)
- ☐ 法人に関すること (法人や行政への苦情) (0)
- ☐ その他 (6)

Q5. 繋ぎ先

- ☐ 生活福祉資金 (0) ☐ CSW (0) ☐ 民生委員児童委員 (1) ☐ 行政機関 (4)
- ☐ 社協事業 (0) ☐ 包括支援センター (4) ☐ 民間福祉団体 (12) ☐ その他 (11)
- ☐ パーソナルサポートセンター (11)

Q6. 今回相談により課題の解決に役立ちましたか。
☐ 解決した。(34) ☐ 解決しなかった(0) ☐ どちらともいえない (2)

Q7. 改善した方がよいと思われることについてお教えて下さい
なし

Q8. その他、ご意見等

- ・自分のことを分かってくれる人がいて嬉しかった。話してすっきりした。
- ・自宅で作業できる仕事の案内を貰って良かった。
- ・適切な支援先に繋いで頂いて有り難かった。
- ・食料支援をして頂きとても助かった。
- ・本当に助かりました。
- ・話を沢山聴いて貰い、食料品も提供して頂きありがとうございました。

これからも頑張って行けそうです。

- ・優しい声をかけて頂き助かりました。ありがとうございます。
- ・丁寧に対応して下さい感謝しています。
- ・色々教えて貰い来て良かったです。

(2) 法外援護活動の実施（共募配分金・寄付金）

- ① 公的制度では対応できない緊急に援護の必要な世帯に対し、資金の援助や食料品等の物品を配布し、一時的な救済活動を実施した。

緊急支援（提供） 件数

支援内容	件数	金額
法外援護貸付	8 件	359,000 円

- ② 緊急支援（食料支援活動）として、石嶺公民館や沖縄ファミリーマート等と協力し、館内や店舗へのフードドライブ BOX の設置し、食料を寄贈に参加しやすい仕組み作りを行った。なお、企業・個人が家庭で眠っている食糧等を寄贈いただき困窮世帯へ配布する活動（那覇社協フードドライブ）を引き続き実施。活動に賛同頂ける民間企業や民生委員・児童委員並びに個人からの食糧等の寄贈が頂けた。

下記表記載の通り、那覇社協フードドライブ活動による企業や個人等からの寄贈数。

支援内容	件数	重さ
食料支援	43 件	243 kg

7. 生活困窮者に対する相談支援

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託）

低所得者、高齢者、障害者世帯に対して資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的に貸付業務を通して生活に関する諸相談を実施した。

① 貸付及び生活に関する総合相談（県報告件数）

ふれあい福祉相談室及び那覇市保護課、那覇市就職・生活支援パーソナル・サポート・センターなど、その他関係機関等との連携を取りながら貸付相談、償還相談、その他の相談に対応した。

②生活福祉資金事業の対応

ア. 沖縄県社会福祉協議会が作成した相談受付票の内容を吟味して、申請対象であるかどうかを県社協へ随時確認しながら、貸付支援を行う事により自立可能なケースに対して手続きの支援を行った。また、決定後には契約事務を行い、償還が完了へ至るまでの相談支援を行った。

I. 令和6年度 相談件数及び貸付決定件数

資 金 種 別	相談件数(前年)	貸付決定数(前年)	決定額（円）(前年)
① 総合支援資金	315 (643)	1 件 (5)	522,000 (1,542,000)
② 緊急小口資金	1,208 (1,529)	25 件 (48)	2,608,000 (4,248,000)
③ 福祉費・福祉資金	2,881 (2,159)	85 件 (72)	17,787,000 (12,971,000)
④ 生活復興資金	6 (0)	0 件 (0)	0 (0)
⑤ 教育支援資金	1,090 (776)	55 件 (43)	22,119,400 (14,829,200)
⑥ 不動産担保型資金	44 (40)	0 件 (1)	0 (8,605,000)
⑦ 臨時特例つなぎ資金	7 (12)	0 件 (0)	0 (0)
⑧ 償還に関する事	12,024 (5,888)		
⑨ その他相談	1,293 (1,408)		
合 計	18,868(12,455)	166 件 (169)	43,036,400 (42,195,200)

イ、コロナ特例貸付償還支援の対応

コロナ特例貸付終了後(令和4年9月末)、令和5年1月より特例貸付金の償還（返済）が開始したが、物価の高騰や世帯の状況の変化により償還が困難な状況にある利用者からの相談増加に伴い、償還免除の説明及び、償還猶予相談も開始した。更に緊急小口資金特例貸付の償還猶予期間が終了後も尚、償還が厳しい相談者に対しては、令和7年1月より償還計画額の減額相談も行い、並行して必要な相談者(世帯)には他の機関への相談や制度案内も行った。

Ⅱ. 令和 6 年度 特例貸付償還猶予及び償還免除決定件数(令和 7 年 3 月末)

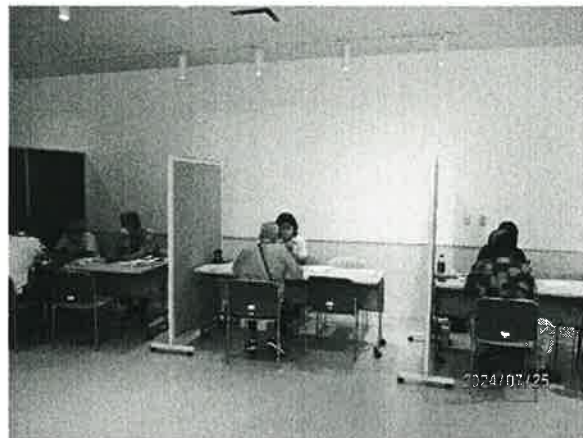
種別	猶予決定件数	償還免除決定件数
緊急小口資金(特例)	495	354
総合支援資金(特例初回)	454	336
総合支援資金(特例延長)	257	237
総合支援資金(再貸付)	245	2,187
合計	1,451	3,114

③ 生活福祉資金滞納者対策・実態調査

(ア) 面談型償還相談会を開催（沖縄県社会福祉協議会合同）

・ 令和 6 年 7 月 24 日(水)～令和 6 年 7 月 26 日(金)

・ 3 日間で 来所者 172 件、架電連絡者 452 件、合計 624 件の相談があった。



④ 民生委員援助活動に対する支援

(ア) 貸付時の調査書作成に関する依頼及び支援

(イ) 償還状況（償還履歴、残額等）を提供し、民生委員の援助活動へ繋ぐ。

(ウ) 「借受世帯援助記録票」など資料の引き継ぎ支援

(エ) 定例会(研修等)参加（事業説明等）・4 月から 7 月迄に三民児協、にて説明を行えた。

⑤ 説明会研修会への参加、事業説明など、

ア. 県社協主催の研修会等への参加

	期 日	研修・説明会・相談会等	主 催	場 所	参 加 数
1	令和 6 年 5/28(火) 14:00-16:00	令和 6 年度 生活福祉資金特例貸付償還免除に関するオンライン研修会	沖縄県社会福祉協議会 民生部	オンライン 研修(zoom)	9 名
2	令和 6 年 6/11(火) 14:00-16:40	やさしい日本語の基礎知識及び活用方法について	沖縄県社会福祉協議会 民生部	県総合福祉センター1F ゆいホール	3 名
3	令和 6 年 8/29(木) 10:00~12:00	令和 6 年度沖縄県コロナ特例貸付利用者支援の在り方検討委員会	沖縄県社会福祉協議会 民生部	沖縄県社会福祉協議会 研修室	1 名
4	令和 6 年 9/4(水) 10:00-16:30	令和 5 年度分生活福祉資金貸付事業伝票の確認及び意見交換	沖縄県社会福祉協議会 民生部	市総合福祉センター2F 会議室	7 名
5	令和 6 年 10/22(火) 14:00-15:30	令和 6 年度生活福祉資金貸付事業償還業務研修会	沖縄県社会福祉協議会 民生部	オンライン 研修(zoom)	5 名
6	令和 6 年 11/22(金) 13:30~16:30	令和 6 年度生活福祉資金貸付償還担当者研修会	沖縄県社会福祉協議会 民生部	県総合福祉センター1F ゆいホール	1 名
7	令和 7 年 2/13(木) 13:00~17:00	令和 6 年度生活困窮者自立支援研究協議会	沖縄県社会福祉協議会 民生部	県総合福祉センター1F ゆいホール	3 名
8	令和 7 年 3/26(水) 10:00~11:30	第 2 回令和 6 年度沖縄県コロナ特例貸付利用者支援の在り方検討委員会	沖縄県社会福祉協議会 民生部	オンライン 研修(zoom)	1 名

イ. 他機関への事業説明会及び出張相談会への参加

	期 日	研修・説明会・相談会	主 催	場 所	参 加 者
1	令和 6 年 5/31(火) 15:30~17:30	生活福祉資金貸付業務事業説明会	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	グッジョブ センター研 修室	2 名

2	令和6年6/11(火) 14:00-14:40	真和志第二民生委員 児童委員協議会 定例会(事業説明)	真和志第二民生委員 児童委員協議会	大道公民館	2名
3	令和6年6/14(金) 13:30-14:00	那覇第二民生委員児 童委員協議会 定例会(事業説明)	那覇第二民生委員児 童委員協議会	若狭公民館	1名
4	令和6年6/19(水) 10:00~16:00	那覇市就職・生活 なんでも相談会	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	那覇市保健 所 3F 会議室	2名
5	令和6年7/11(木) 14:10~14:50	小禄第二民生委員児 童委員協議会 定例会(事業説明)	小禄第二民生委員児 童委員協議会	那覇市総合 福祉センタ ー2F 会議室	2名
6	令和6年8/28(水) 10:00~16:00	那覇市就職・生活 なんでも相談会	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	ともかぜ振 興会館	2名
7	令和6年10/4(金) 10:00~16:00	一日合同行政相談所 職員派遣	沖縄行政評価事務所	サンエーメ インプレイ ス 4F	2名
8	令和6年10/16(水) 10:00~16:00	那覇市就職・生活 なんでも相談会	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	J Aおきな わ真和志支 店	2名
9	令和6年12/12(木) 10:00~16:00	那覇市就職・生活 なんでも相談会	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	那覇市ほし ぞら公民館	2名

ウ. その他研修及び会議への参加

	期 日	研修・説明会・相談会	主 催	場 所	参 加 数
1	令和6年4/16(火) 15:00~17:00	生活保護課、那覇市就 職・生活支援パーソナルサ ポートセンター・ハローワー ク・生活福祉資金貸付 担当者 支援調整会議	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	グッジョブ センター内 研修室	2名
2	令和6年6/25(火) 15:00~17:00	生活保護課・パーソナ ルサポートセンター・ ハローワーク・生活福 祉資金貸付担当者支 援調整会議	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	グッジョブ センター内 研修室	2名

3	令和6年7/16(金) 13:00～17:00	第2回業務担当者連絡会・特例貸付償還 管理業務	南部地区社会福祉協 議会連絡協議会	八重瀬町社 会福社会館	2 名
4	令和6年9/27(金) 15:00～17:00	第3回業務担当者連絡会・特例貸付償還 管理業務	南部地区社会福祉協 議会連絡協議会	八重瀬町社 会福社会館	2 名
5	令和6年10/15(火) 15:00～17:00	生活保護課・パーソナ ルサポートセンター・ ハローワーク・生活福 祉資金貸付担当者支 援調整会議	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	グッジョブ センター内 研修室	2 名
6	令和6年11/19(火) 15:00～17:00	生活保護課・パーソナルサ ポートセンター・ハローワー ク・生活福祉資金貸付 担当者支援調整会議	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	グッジョブ センター内 研修室	2 名
7	令和6年12/17(木) 15:00～16:30	生活保護課・パーソナルサ ポートセンター・ハローワー ク・生活福祉資金貸付 担当者支援調整会議	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	那覇市役所 6階会議室	1 名
8	令和7年1/21(火) 15:00～17:00	生活保護課・パーソナルサ ポートセンター・ハローワー ク・生活福祉資金貸付 担当者支援調整会議	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	グッジョブ センター内 研修室	2 名
9	令和7年2/18(火) 15:00～17:00	生活保護課・パーソナルサ ポートセンター・ハローワー ク・生活福祉資金貸付 担当者支援調整会議	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	グッジョブ センター内 研修室	2 名
10	令和7年3/11(火) 15:00～17:00	生活保護課・パーソナルサ ポートセンター・ハローワー ク・生活福祉資金貸付 担当者支援調整会議	那覇市就職・生活支援 パーソナルサポートセンター	グッジョブ センター内 研修室	2 名

エ. 内部研修への参加

	期 日	研修・説明会・相談 会	主 催	場 所	参 加 数
1	令和6年4/10(水) 15:00～16:00	弁護士勉強会リスク管理・個人情報・クレーム対応について	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 2階会議室	1名
2	令和6年4/17(水) 15:00～16:00	安全運転講習会	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 2階会議室	7名
3	令和6年5/15(水) 15:00～16:00	弁護士勉強会リスク管理 個人情報クレーム対応②	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 2階会議室	1名
4	令和6年6/5(水) 15:00～16:00	弁護士勉強会 成年後見制度入門	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会	1名
5	令和6年8/7(水) 15:00～16:00	弁護士勉強会 後見実務について	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 2階会議室	1名
6	令和6年9/11(水) 15:00～16:00	弁護士勉強会沖縄の 消費者被害について	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 2階会議室	2名
7	令和6年10/2(水) 15:00～16:00	弁護士勉強会沖縄の 消費者被害 ②	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 2階会議室	2名
8	令和6年11/8(月) 15:00～16:00	弁護士勉強会 著作 権侵害について	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 2階会議室	1名
9	令和7年3/5(水) 15:00～16:00	弁護士勉強会 障がい者への合理的配慮 の提供義務化について	那覇市社会福祉協議会	那覇市社会福祉協議会 2階会議室	1名

8. 権利擁護支援の推進

(1) 日常生活自立支援事業（県社協受託）

[1] 目 的

認知症高齢者の方や知的障がい、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用に関する援助等を行うことにより地域において自立した生活が送れるよう支援する事を目的とする。

[2] 支援対象者

認知症高齢者：認知症により日常生活の判断が困難な高齢者。

知的障害者：知的障害により情報の理解や意思表示が難しい方。

精神障害者：精神障害により日常生活の判断が困難な方。

これらの方々が、日常生活を営むために必要なサービスを利用する際に、情報の入手、理解、判断、意思表示を適切に行うことが困難で、契約の内容について判断し得る能力を有している方が対象となる。

[3] 援助の内容

利用者の意思に基づき契約を行い以下のサービスを提供する

①福祉サービスの利用援助

- ・福祉サービスの申請や利用手続きの助言・同行等
- ・医療・福祉サービス利用料等の支払いの手続き

②日常的金銭管理

- ・預金の払い戻しや預け入れ ・公共料金や医療費、税金などの支払い手続き
- ・定期的な生活費や小遣い等を届ける

③書類等の預かり及び保管

- ・通帳、印鑑、キャッシュカードや年金証書などの書類の預かり

④苦情解決制度の利用援助

- ・福祉サービスに関する苦情の解決手続き

⑤定期的な訪問

- ・利用者の生活変化を察知するため定期的な訪問

[4] 職員体制

- ・事業担当者 1 名（専門員・法人後見 兼務） 専門員 4 名 事務補佐 1 名
- ・生活支援員 11 名（4 人 生活保護世帯金銭管理支援事業と兼務）

[5] 日常生活自立支援事業の実施状況

①利用者推移 ※（ ）は生活保護受給者数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計利用者数
令和 2 年度	18 (10)	38 (13)	23 (13)	5 (1)	84 (37)
令和 3 年度	17 (8)	38 (12)	27 (16)	5 (1)	87 (37)
令和 4 年度	16 (6)	40 (12)	27 (13)	5 (0)	89 (31)
令和 5 年度	14 (6)	46 (15)	28 (13)	5 (0)	93 (32)

令和6年度	9 (3)	49 (14)	29 (14)	7 (1)	94 (32)
-------	-------	---------	---------	-------	---------

②年間契約者数と解約者数

ア) 契約者数

年間で10件の契約を行った件数利用者区分の内訳

対象者		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	生活保護 (再掲)	合 計
事 項							
契 約 者 数		1	3	4	2	3	10
契約時 自宅外 (再掲)	施設	0	0	0	0	0	0
	病院	0	0	0	0	0	0
	グループ ホーム	0	2	4	0	2	6

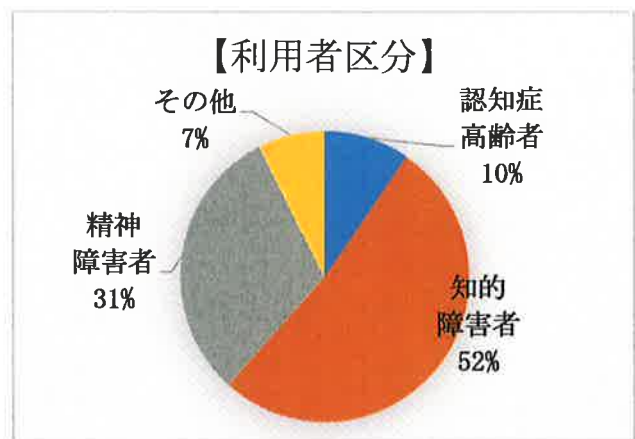
イ) 解約者数 (年間で9件の何らかの理由で解約があった。)

対象者		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合 計
事 項						
終 了 件 数		6	0	3	0	9

③利用者区分

認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	合計
9	49	29	7	94

ア) 認知高齢者ではなく、知的障害者数の利用者が半数を超えているところが特徴的である。



④相談件数内訳

内 容		本事業の利用に関するもの				その他	合 計
事 項	対象者	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不 明・ その他		
a. 問合せ件数 (制度、事業について)		4	2	8	29	2	45
b. 初回相談件数 (初回相談受付)		3	7	9	5		24
c. 相談援助件数 (ab以外)		392	2251	1655	312		4610
合 計		399	2260	1672	346	2	4679

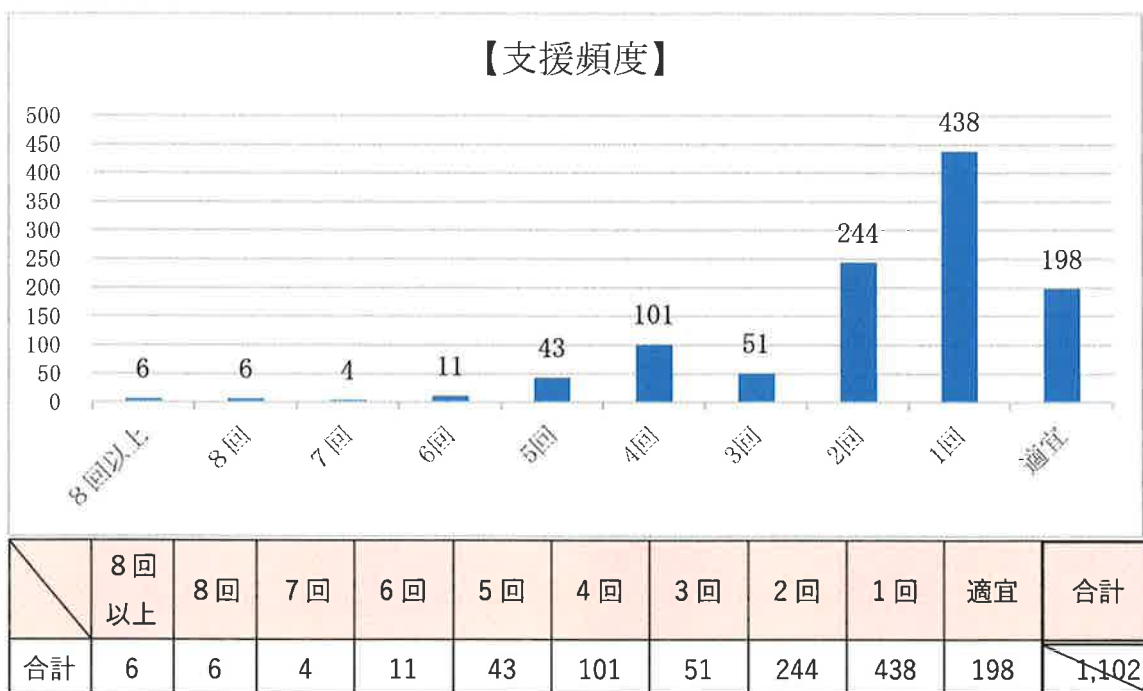
⑤専門員・生活支援員支援回数

	専門員	支援員	専+支
4月	40	124	164
5月	31	131	162
6月	29	122	151
7月	25	143	168
8月	36	117	153
9月	39	108	147
10月	36	132	168
11月	43	109	152
12月	29	138	167
1月	40	116	156
2月	50	119	169
3月	69	103	172
合計	467	1,462	1,929
月平均	38.9	121.8	160.8



ア) 年間を通して月に平均して約 160 件の支援を行っている。2 月、3 月は生活支援員の休みが多く代わりに専門員が支援をすることになり専門員の支援回数が増えたため事務処理などの負担も多くなった。データは生活費や小遣いや各種支払いを伴う支援回数となっている。

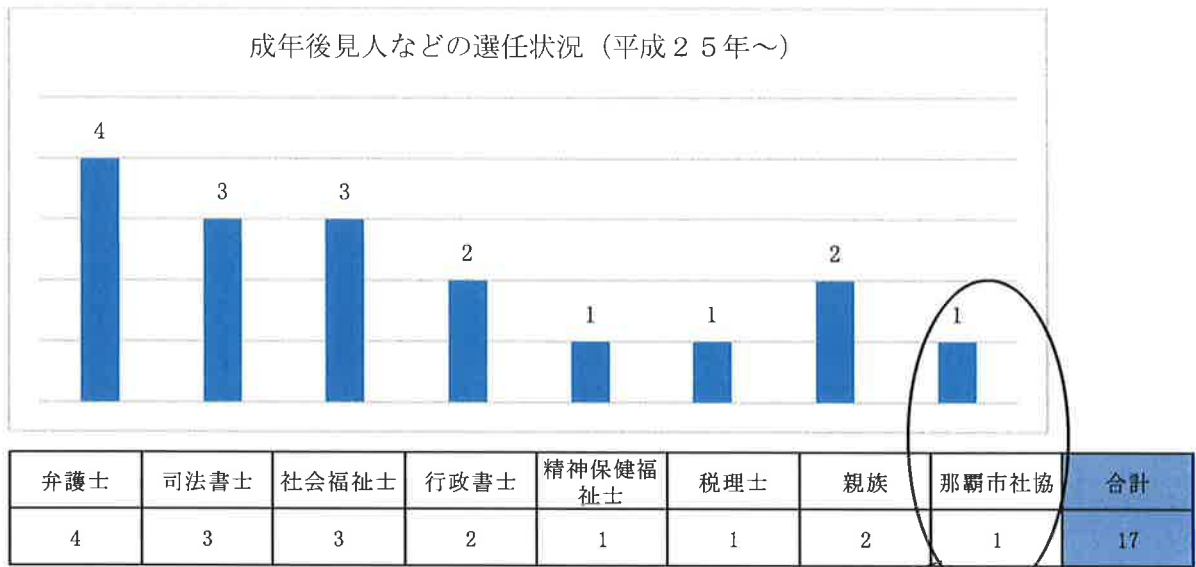
⑥支援頻度（年間）



- ア) 月に 1 回の支援の利用者が一番多く次いで月に 2 回の支援回数の利用者が多い。
 イ) 月に 4 回は毎週 1 回支援を行っている利用者であり、5 回は毎週 1 回の支援に加え追加支援がある回数と思われる。
 ウ) 月に 8 回以上支援している利用者も若干数いる。

⑦日常生活自立支援事業から成年後見制度へ移行した件数

ア) 平成 25 年度～令和 6 年度延べ件数



⑧令和 6 年度の解約者の内訳

1	2	3	4	5	6	7	8	9
認知高齢者	認知高齢者	認知高齢者	認知高齢者	認知高齢者	認知高齢者	精神	精神	精神
一般	一般	一般	一般	一般	生保	一般	一般	生保
	親族管理		保佐人	成年後見人		市外移管	保佐人	市外移管
	甥		弁護士	那覇市社協		西原町社協	兄	豊見城市社協

・解約者数 9 人中、3 人が成年後見制度へ繋がった。うち 1 人は那覇市社協の法人後見へ移行した。

[6] 各関係機関関連会議・研修会への参加

①日常生活自立支援事業 県社協主催研修

	日 時	場 所	会議・研修	内 容	人 数
1	令和 6 年 6 月 28 日 (金) 13:00～15:00	沖縄県総合福祉センター 402 研修室	第 1 回利用見直し及び事業のあり方に関する検討会	① 座長選任 ② 検討会の設置及び開催趣旨について ③ 予算及び利用料の賢首音課題について	1 名
2	令和 6 年 8 月 28 日 (水) 13:30～15:30	沖縄県総合福祉センター西棟 3 階第 1 会議室	第 2 回利用見直し及び事業のあり方に関する検討会	① 市町村社協における利用料に関する現状と課題について ② 利用料案及び改定時期等について	1 名

3	令和 6 年 10 月 23 日 (水) 15 : 00～	沖縄県総合福 祉センター東 棟 4 階第 402 会議室	第 3 回利用見直 し及び事業のあ り方に関する検 討会	① 利用料改定に係る今後の対応 について	1 名
4	令和 6 年 8 月 27 日 (火) 13 : 30～ 16 : 50	沖縄県総合福 祉センター東 棟 4 階第 403 会議室	専門員研修	① 基調説明 ② 法律と福祉の連携～法テラス にできること ③ 豊見城市社協の自己決定への 支援～利用者の特性を考える ～	6 名
5	令和 6 年 12 月 12 日 (木) 13 : 30～16 : 50	沖縄県総合福 祉センター東 棟 1 階ゆいほ ーる	日常生活自立支 援事業研究協議 会	① 基調説明「日常生活自立支援 事業・成年後見制度に関する 社協の取り組みと今後」 ② 報告・日常生活自立支援事業 の取り組み内容及びあり方検討 会報告 ③ グループ討議 日常生活自立支援事業の実施 について	2 名
6	令和 6 年 11 月 8 日 (金) ～令 和 6 年 12 月 27 日 (金)	オンデマンド	日常生活自立支 援事業 生活支 援員研修	① 生活支援員のお仕事～基本 姿勢・役割を学ぶ～ ② 精神障がい者の理解と支援	1 2 名
7	令和 7 年 2 月 10 日 (月) 10 : 30～11 : 50 13 : 30～16 : 40	沖縄県総合福 祉センター 東棟 402・東 棟 5 階 501	地域における権 利擁護推進会議	① 県内の社協法人後見事業の現 状・課題について ② 成年後見制度利用促進向けた 市町村社協の現状・課題 ③ 権利擁護センターくろしおの 取組～権利擁護支援モデル事 業をとおして～ ④ これからの地域における権利 擁護推進に向けて果たすべき 役割について	

②生活保護金銭管理支援事業進捗会議への参加

	日 時	場 所	会 議・ 研 修	内 容	人 数
1	令和6年5月21日（火）15:00～17:00	那覇市役所 3階会議室	第1回生活保護世帯金銭管理支援事業・進捗状況ケースに関する会議	○日常生活自立支援事業と生活保護世帯金銭管理支援事業との兼ね合いの為、オブザーバーとして参加 ○令和4年度報告会	4名
2	令和6年7月22日（月）15:00～17:00	那覇市役所 4階会議室	第2回生活保護世帯金銭管理支援事業・進捗状況ケースに関する会議	○日常生活自立支援事業と生活保護世帯金銭管理事業との兼ね合いの為、オブザーバーとして参加	6名
3	令和6年10月23日（木） 11:00～12:00	那覇市役所 4階会議室	第3回生活保護世帯金銭管理支援事業・進捗状況ケースに関する会議	○日常生活自立支援事業と生活保護世帯金銭管理事業との兼ね合いの為、オブザーバーとして参加	7名
4	令和7年2月4日（火） 16:00～17:00	那覇市役所 10階会議室	第3回生活保護世帯金銭管理支援事業・進捗状況ケースに関する会議	○日常生活自立支援事業と生活保護世帯金銭管理事業との兼ね合いの為、オブザーバーとして参加	7名

③ 弁護士勉強会（内部研修）

	日 時	場 所	会 議・ 研 修	内 容	人 数
1	令和6年4月10日 15:30～	会議室	弁護士勉強会	リスク管理・個人情報・クレーム対応について①	1名
2	令和6年5月15日 15:00～	会議室	弁護士勉強会	リスク管理・個人情報・クレーム対応について②	1名
3	令和6年6月5日 15:00～	会議室	弁護士勉強会	成年後見制度入門	3名
4	令和6年8月7日 15:00～	会議室	弁護士勉強会	後見実務について	3名

5	令和6年9月11日 15:30～	会議室	弁護士勉強会	沖縄の消費者被害の実態について	2名
6	令和6年11月18日 15:00～	会議室	弁護士勉強会	著作権侵害について	2名
7	令和7年3月5日 15:00～	会議室	弁護士勉強会	障害者への「合理的配慮の提供義務化」について	1名

④日常生活自立支援事業と生活保護世帯金銭管理支援事業 新規調整会議

	日 時	場 所	会 議・ 研修	内 容	人 数
1	令和6年4月23日(火)15:00	会議室	新規調整会議 (グループミーティング)	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	8名
2	令和6年5月22日(水)15:00	会議室	新規調整会議(グループミーティング)	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	7名
3	令和6年6月20日(木)15:30	会議室	新規調整会議(グループミーティング)	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	8名
4	令和6年7月30日(金)15:00	会議室	新規調整会議(グループミーティング)	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	9名
5	令和6年8月26日(月)15:00	会議室	新規調整会議(グループミーティング)	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	9名
6	令和6年9月25日(水)15:00	会議室	新規調整会議(グループミーティング)	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	9名
7	令和6年10月28日(木)15:00	会議室	新規調整会議(グループミーティング)	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	9名
8	令和6年11月25日(月)15:30	会議室	新規調整会議(グループミーティング)	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	9名
9	令和6年12月23日(月)15:30	会議室	新規調整会議(グループミーティング)	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	9名

10	令和7年1月27日（水）15：30	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	9名
11	令和7年2月19日（水）15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	10名
12	令和7年3月24日（月）15：00	会議室	新規調整会議（グループミーティング）	○情報共有 ○新規契約する利用者を決める	9名

[7] 広報・外部への講師など

	日 時	場 所	会議・研修	内 容	人 数
1	令和6年10月	沖縄県総合福祉センター	日常生活自立支援事業生活支援員研修	日常生活自立支援事業の事例提供とオンデマンド映像	1名
2	令和7年1月16日（木）14：00～16：00	なは市民協働プラザ	那覇市本庁地区ケアマネ研修会	身寄りのない人の意思決定支援の在り方のパネリスト	1名
3	令和6年6月21日（金）19：00～21：00	弁護士会館	司法と福祉職の勉強会	事例の持ち寄りに対して福祉関係者や司法関係者からアドバイスを受ける	2名

(2)那覇市生活保護世帯金銭管理支援事業

(目的)

生活保護世帯のうち、高齢や心身の障がい等により判断能力が低下し、日常生活に支障をきたしている方で、福祉サービス利用援助やその他の社会資源の活用が必要であるにもかかわらず、親族等の関わりや他の支援が望めない場合に、金銭管理や書類の預かりなどの支援を実施する。

[1] 実施主体

- ☐那覇市 福祉部 保護管理課
- ☐社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会（受託者）

[2] 実施期間

☐期 間：令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

[3] 支援内容

- (1) 支援対象者が日常生活を営む上で必要な範囲における、預貯金の払い戻し、預け入れ、預金の解約、支払い等の金銭管理の支援（日常的金銭管理）
- (2) 支援対象者が日常生活を営む上で必要な範囲における、書類等の預かり及び保管
- (3) 定期的な訪問による生活変化の察知
- (4) 住家屋の家賃、及びその他の公共料金の支払い
- (5) 福祉サービスの利用料の支払い

[4] 支援対象者

支援の対象者は、原則として那覇市に居住する者（グループホームを含む。）で、次の以下に該当するものとする。

- (1) 本事業の契約の内容について判断し得る能力を有していること。
- (2) 認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等であつて、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な者。
- (3) 那覇市から生活保護費を受給している者。

[5] 令和6年度 職員配置

- 責任者：地域福祉課長 ○事業企画及び運営に係る職員：1名
- 専門員：3名（常勤職員） ○事務補佐：1名（パート）
- 生活支援員：7名（日常生活自立支援事業との兼務3名）

[6] 令和6年度支援実績

期間：令和6年4月～令和7年3月

① 契約者及び解約者数・待機者数推移

令和6年度 契約者						令和6年度 待機者推移 (待機者リストより)							
	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	合 計	待機者 (契約 準備含 む)	契約準備 (調整会 議の新 契約準備 は含ま ない)	調整会 議で新 しく契 約準備 になっ た人	契約	契約準備 後取り 下げ	取り下 げ(契 約準備 後取り 下げ含 む)	新規申し込み	支援者
4月	19	9	47	10	85	26	7	0	0	6	6	1	専3 生8 (兼3)
5月	18	9	48	11	86	24	7	4	2	1	1	2	専2 生8 (兼4)
6月	18	9	49	11	87	32	5	2	1	1	2	2	専2 生8 (兼4)
7月	19	9	48	11	87	31	9	3	0	0	1	1	専2 生8 (兼4)
8月	20	9	48	11	88	32	10	3	1	2	3	5	専3 生8 (兼4)
9月	19	9	48	11	87	28	9	2	1	1	4	0	専3 生8 (兼4)
10月	19	9	49	13	90	26	9	4	3	0	1	4	専3 生8 (兼4)
11月	18	9	49	13	89	22	12	0	0	2	3	3	専3 生8 (兼4)
12月	18	9	50	13	90	28	10	2	2	0	0	7	専3 生8 (兼3)
1月	19	9	51	14	93	25	6	2	4	0	1	2	専3 生7 (兼3)
2月	18	9	49	14	90	23	7	4	1	1	1	4	専3 生7 (兼3)
3月	18	8	48	14	88	19	3	6	0	5	6	1	専3 生7 (兼3)
合計	223	107	584	146	1,060	316	94	32	15	19	29	32	
平均	19	9	49	12	88	26	8	3	1	2	2	3	
割合	21%	10%	55%	14%	100%								

(1)新規契約者数について

R6 年度における新規契約者数は 15 人。月平均 1.3 人の新規契約となった。

(2)解約者数について

R6 年度における解約者数合計は 14 人。月平均 1.2 人の解約者数となった。また、解約の理由として、本人死亡、本人希望による自己管理、成年後見人への移行となっている。

(3)待機者と新規契約者について

年間平均の待機者数は約 26 人となっている。新規申し見込みは、月平均 3 人が生活保護課を通して申請があった。

(4)契約者数が 4 月 85 件から 3 月には 88 件となった。

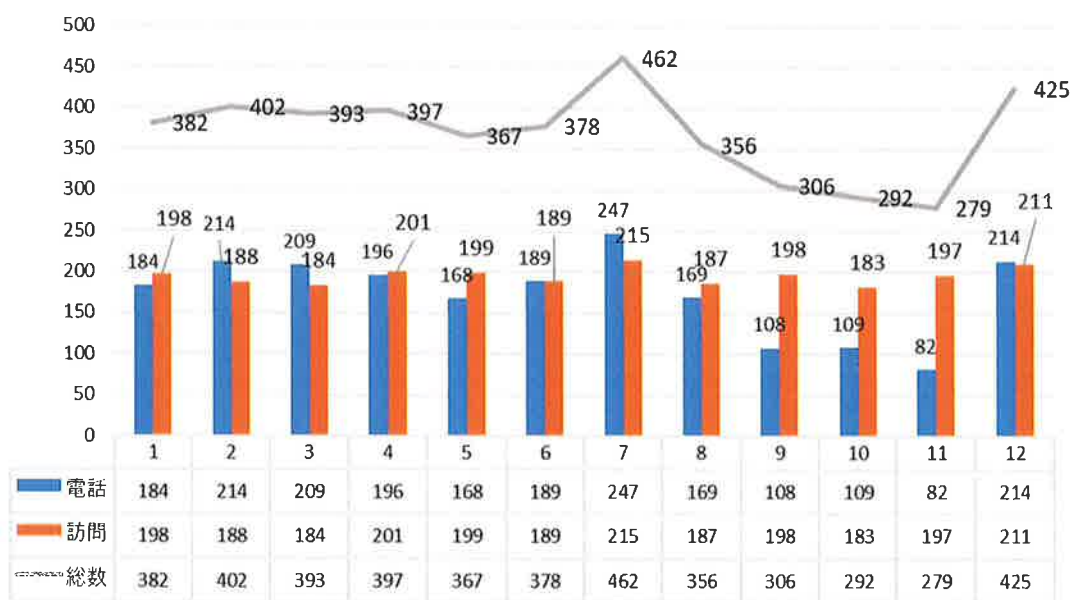
② 相談援助件数の内訳 (令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月) は、以下のグラフの通りです。

【電話】新規相談、利用者の滞納金の調整や生活の相談、関係機関との調整など

(会議などへの参加も含む※システム上電話相談へのカウントに入る)

【訪問】定期支援、追加支援 (臨時・滞納金支払い)

令和6年度 相談援助件数内訳（R6年4月からR7年3月）



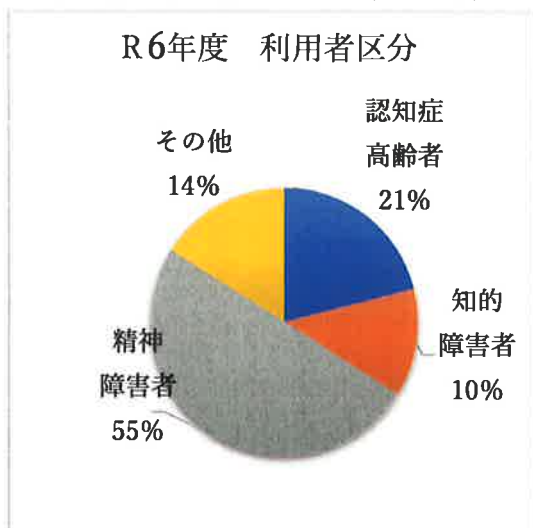
③生活保護金銭管理事業における専門員・生活支援員の活動回数推移（前年度比較）

契約者件数に対する、専門員・生活支援員の活動件数は以下の通りです。

令和5年度支援回数					令和6年度支援回数				
	契約者	専門員	支援員	合計		契約者	専門員	支援員	合計
4月	96	33	175	208	4月	85	39	159	198
5月	96	74	163	237	5月	86	35	153	188
6月	94	51	153	204	6月	87	37	147	184
7月	94	57	163	220	7月	87	48	153	201
8月	93	59	146	205	8月	88	52	147	199
9月	93	41	144	185	9月	87	40	149	189
10月	91	44	166	210	10月	90	50	165	215
11月	87	40	150	190	11月	89	56	131	187
12月	84	37	145	182	12月	90	63	135	198
1月	83	32	145	177	1月	93	53	130	183
2月	85	25	133	158	2月	90	74	123	197
3月	86	33	141	174	3月	88	67	144	211
合計	1,082	526	1,824	2,350	合計	1,060	614	1,736	2,350
月平均	90.2	43.8	152.0	195.8	月平均	88.3	51.2	144.7	195.8

○前年度に比べて、月平均の契約者数 1.9 名減になった要因は年度当初専門員が一名不在だったことや専門員の入れ替えがあったことが要因としてあげられる。

[7] 利用者区分（令和7年3月末）



認知症 高齢者	知的障 害者	精神障 害者	その他	合計
223 名	107 名	584 名	146 名	1,060 名
21%	10%	55%	14%	100%

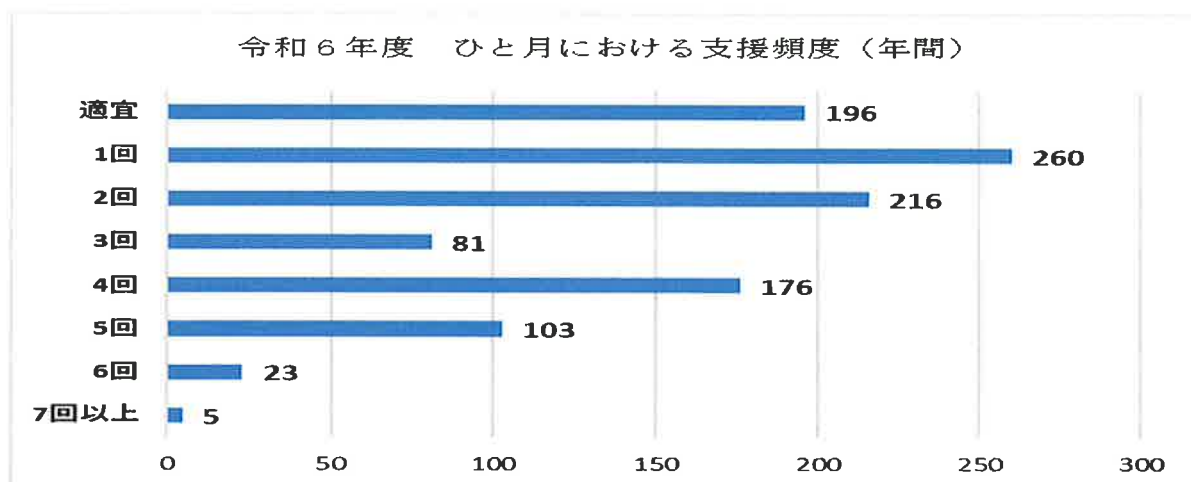
○精神障害者が半分を占めています。

[8] ひと月における支援頻度の内訳（令和6年4月～令和7年3月）

(1) 総契約者のひと月における、支援回数の内訳は以下の通りです。

《令和6年度 支援頻度別利用者数》 (人)

	7回以上	6回	5回	4回	3回	2回	1回	適宜	合計
4月	1	3	9	12	10	14	19	17	85
5月	0	1	11	13	9	16	16	20	86
6月	0	2	5	19	3	16	30	12	87
7月	0	4	14	6	7	19	24	13	87
8月	0	1	10	15	4	21	21	16	88
9月	0	1	10	15	5	18	22	16	87
10月	1	4	12	9	12	15	21	16	90
11月	0	0	10	16	2	22	21	18	89
12月	1	2	5	16	11	16	25	14	90
1月	1	2	2	20	4	19	24	21	93
2月	1	2	6	15	9	21	19	17	90
3月	0	1	9	20	5	19	18	16	88
合計	5	23	103	176	81	216	260	196	1,060
割合	0.5%	2.2%	9.7%	16.6%	7.6%	20.4%	24.5%	18.5%	100.0%



- ① 本サービスの支援計画作成において、月 2 回程度の支援を目安としているが、月 1 回が最も多く、次いで月 2 回が多くなっています。
- ② 支援回数にはカウントしていないが、本人から書類の確認について依頼があったときや携帯料金の見直し、年金事務所の同行訪問なども行っています。
- ③ 一定数の利用者では、月 5～6 回以上（週 1～3 回）の支援を必要とする場合もあり、理由は以下の通りです。
- ④ 月 5 回～6 回以上は定期支援に加え、支援日までに追加支援や滞納金支払い後払い購入の支払いなどで金銭を使い切ってしまった。
 - 例 1) 相談なくスマホを使って通販で購入した商品の後払い請求が届く。
 - 例 2) パートナーとの交際費に消費し、予定にない追加支援など。
 - 例 3) 近隣との関係悪化でイライラして夜間家にいたくなくて飲みに行ったため生活費を 1 日で使いきった。
 - 例 4) 隣人にお金を返済した為、生活費が足りなくなった。
 - 例 5) 生活費を何に使ったか本人がわからない。手元にお金も食材もない。
- ⑤ 適宜については、入院・入所中の入院費や利用料の引き落とし（食事代・おむつ代・消耗品等）年金支給月のみ支援など、不定期の支援や直接の支援がない等があげられる。

[9] 専門員・生活支援員の研修会参加（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

①専門員・生活支援員のスキルアップ向上のための研修参加は以下の通りです。

	日 時	場 所	会 議・ 研修	内 容	人 数
1	令和 6 年 4 月 12 (金) 15:00～17:00 18:30～20:30	那覇市社会福祉協議会 2 階会議室	那覇市社会福祉協議会～ビジネスマナー編～	●職員の資質向上を目的として、社会人としての基本的なビジネスマナーを学ぶ。	2 名
2	令和 6 年 4 月 25 日 (木) 13 : 30～16 : 40	沖縄県総合福祉センターゆいホール	令和 6 年度 日常生活自立支援事業研究協議会	●日常生活自立支援事業を取り巻く課題について ●組織として支える日常生活自立支援事業の展開 ●グループ討議・今後の展開を考える	6 名
3	令和 6 年 8 月 27 日 (火) 13 : 00～16 : 50	沖縄県総合福祉センター 東棟 403 研修室	令和 6 年度 日常生活自立支援事業 専門員研修会	●「法福連携」をテーマとして専門職が連携・協働し利用者を支える支援の在り方について学ぶ。	7 名
4	令和 6 年 10 月 15 日 14 : 00～	動画配信	令和 6 年度 日常生活自立支援事業生活支援員	●日常生活自立支援事業生活支援員を対象として生活支援員としての基本	12 名

			研修会	姿勢・精神障害者の支援について学ぶ	
5	令和6年11月28日 13:30～16:45	ライブ配信	令和6年度 日常生活自立支援 事業専門員実践力 強化研修	●事例を聞いての質問事項の検討 ●事例検討参加者からの質問 ●解決策の検討 ●検討結果の全体共有	2名
6	令和7年2月8日(土) 9:20～16:10	ライブ配信	第21回「支援者のための成年後見制度活用講座」	●成年後見制度への理解を深めるとともに、後見人との演習を通して適切な意思決定支援とは後見制度について理解を深める。	1名

②内部研修への参加

	日 時	場 所	会 議・ 研修	内 容	人 数
1	令和6年4月10日 15:30～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	リスク管理・個人情報・クレーム対応について①	3名
2	令和6年5月15日 15:00～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	リスク管理・個人情報・クレーム対応について②	3名
3	令和6年6月5日 15:00～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	成年後見制度入門	3名
4	令和6年8月7日 15:00～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	後見実務について	3名
5	令和6年9月11日 15:30～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	沖縄の消費者被害の実態について	2名
6	令和6年11月18日 15:00～	那覇市社会福祉協議会2階会議室	弁護士勉強会	著作権侵害について	2名

7	令和7年3月5日 15:00～	那覇市社会福祉協議会2階 会議室	弁護士勉強会	障害者への「合理的配慮 の提供義務化」について	1 名
---	--------------------	---------------------	--------	----------------------------	--------

③新規調整会議・日常生活自立支援事業と合同

○情報共有とケース会議及び新規利用者に関する会議

	日 時	場 所	会 議・ 研修	内 容	人 数
1	令和6年4月23日 15:00～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 (グループミー ティング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を 決める。	9 名
2	令和6年5月22日 15:00～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 (グループミー ティング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を 決める。	9 名
3	令和6年6月20日 15:30～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 (グループミー ティング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を 決める。	8 名
4	令和6年7月30日 15:00～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 (グループミー ティング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を 決める。	9 名
5	令和6年8月26日 15:00～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 (グループミー ティング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を 決める。	9 名
6	令和6年9月25日 15:00～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 (グループミー ティング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を 決める。	10 名
7	令和6年10月28日 15:00～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議(グ ループミーティ ング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を 決める。	9 名
8	令和6年11月25日 15:30～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議(グ ループミーティ ング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を	10 名

				決める。	
9	令和6年12月23日 15:30～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 (グループミー ティング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を 決める。	10 人
10	令和7年1月27日 15:00～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 (グループミー ティング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を 決める。	10 人
11	令和7年2月19日 15:00～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 (グループミー ティング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を 決める。	9 人
12	令和7年3月22日 15:00～17:00	那覇市社協 会議室	新規調整会議 (グループミー ティング)	○情報共有 ○新規利用者の優先順位を 決め契約を進める利用者を 決める。	7 人

(3) 法人後見事業（成年後見制度の推進）

[1] 事業目的

判断能力が不十分なために意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会（那覇市社協）が成年後見人、保佐人、補助人（以下後見人等）に就任することにより、被成年後見人、被保佐人、被補助人の財産管理、身上保護を行いその権利を擁護します。現状のほとんどが、親族や法律専門家による個人後見人が多い中、本会では法人による成年後見制度に取り組む。

[2] 支援対象者

- ①那覇市に在住し紛争性が無くほかに適切な後見人等を得られない者。
 - ②本会（那覇市社協）が実施する日常生活自立支援事業及び生活保護世帯金銭管理支援事業の利用者で判断能力が低下し、同事業での対応が困難である者を優先する。
- ※必ず②であるとは限らず、ほとんどが市町村長申し立てや親族申し立てである。

[3] 受任経路

- ①ちゃーがんじゅう課（高齢者）や障害福祉課が家裁に市長申し立て後に専門職団体へ打診したが受任する者がいない場合等
- ②家庭裁判所から直接受任打診後に受任したケース。
- ③相談支援事業所や犯罪に巻き込まれた被害者の代理人弁護士からの依頼。
- ④市長申し立てで家裁に申し立て前に打診があり、後見人等候補者事情説明書を社協職員で記入したケース。
- ⑤その他。

[4] 後見活動内容（1年間）

① 身上保護

- （ア）毎月1回の面会、病院受診や入院に関する手続き。
- （イ）福祉・介護サービスの手続きや福祉施設入所契約 それに伴う住所変更手続き。
- （ウ）福祉サービスにおける会議に参加。
- （エ）犯罪被害者給付金の申請。
- （オ）その他。

②財産管理

- （ア）施設利用料、入院費の支払い。生活費のお届け その他。
- （イ）居住用不動産の処分。
- （ウ）預貯金管理。
- （エ）その他。

[5] 職員体制

- ①正職員2名（兼務） パート職員1名

[6] 新規受任件数と終了件数（令和6年度）

令和6年度	件数
新規受任	3
終了件数	3

[7] 受任件数の推移（年度単位）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算 （補助金等）	400万円	190万円	95万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度末合計 受任件数	0	5	5	8	9	11	9	13	13	14	15	15



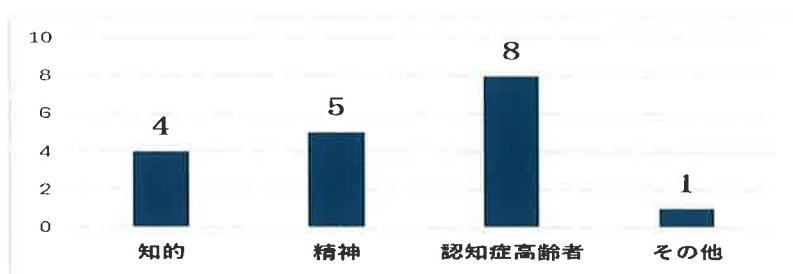
- ①事業開始3年間は行政からの補助金で事業を運営していたが4年目からは後見報酬のみで自主事業として運営している。
- ② 令和6年度当初の受任件数は15件であったが、令和6年度新規受任件数3件、死亡による終了件数3件であったため年度末時点では当初と変わらず15件の受任件数となっている。
- ③令和6年度は日常生活自立支援事業で判断能力が低下した利用者ひとりを本会の法人後見事業へ移行した。市長申立ての為、行政との連携ができ後見人候補者として家庭裁判所への書類も提出したため後見人決定までは約3か月と比較的に早くに受任することができた。

[8] 被後見人の状況

	性別	利用状況	障害類型	生保有無	申立者		報酬助成有無	終了
1	女性	後見	知的	×	市長申立て		無	
2	女性	後見	認知症高齢者	○	市長申立て		有	
3	男性	後見	認知症高齢者	○	市長申立て		有	
4	女性	後見	精神	×	親族		有	
5	男性	後見	精神	×	親族		無	
6	男性	後見	精神	○	市長申立て	南風原町	有	
7	女性	後見	知的	×	親族		無	
8	女性	後見	認知症高齢者	×	市長申立て	浦添市	無	
9	男性	保佐	精神	○	親族		無	
10	男性	後見	知的	×	親族		無	
11	男性	後見	認知症高齢者	×	市長申立て		有	
12	男性	後見	その他	○	親族	弁護士	有	
13	男性	後見	認知症高齢者	×	市長申立て		1年未満	
14	男性	後見	精神	○	市長申立て		1年未満	
15	女性	後見	知的	×	市長申立て		1年未満	
16	男性	後見	認知症高齢者	×	市長申立て		有	○
17	女性	後見	認知症高齢者	×	市長申立て		有	○
18	女性	後見	認知症高齢者	×	親族	司法書士	無	○

①障害類型

障害類型	
知的	4
精神	5
認知症高齢	8
その他	1
合計	18



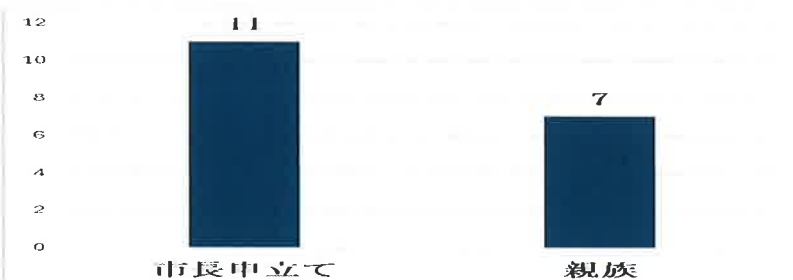
②生活保護の有無

生保有無	
生保受給	6
生保なし	12
合計	18



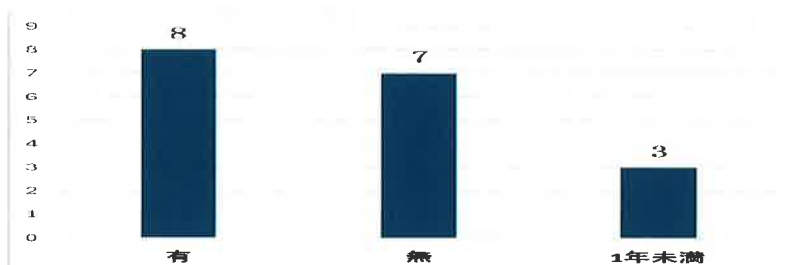
③申立て者

申立て者	
市長申立て	11
親族	7
合計	18



④報酬助成の有無

報酬助成有無	
有	8
無	7
1年未満	3
合計	18



⑤後見類型

後見類型	
後見	17
保佐	1
合計	18

[9] 後見活動状況

①業務内容

業務内容	件数
その他	609
ご本人面会	78
入院・医療に関すること	54
生活費等の受け渡し	42
担当者会議	22
家庭裁判所への事務報告・手続き	15
本人・関係者の報告、状況確認、調整	15
金融機関取引事務手続き	9
福祉サービス利用の更新・変更	9
土地・不動産に関すること	9
福祉サービス利用に関する契約・申込み	8
福祉サービス以外の支払い・確認	8
住居に関すること	8
福祉サービス利用に関する支払い・確認	7

2. 夜間・休日対応状況

②受電状況

時間帯	休日	休日夜間	平日夜間	計
件数	10	1	0	11

業務内容	件数
業務終了後の事務	5
親族との調整・報告等	4
年金・手当・保険等に関すること	2
保険料等支払いに関すること	2
外出支援、買い物支援	2
福祉サービス以外に関する契約・申込み	1
遺産相続に関すること	0
債務整理に関すること	0
後見監督業務に関すること	0
合計	909

③内容等

業務内容	件数
その他	9
入院・医療に関すること	2
ご本人面会	2
合計	13

[10] 法人後見運営委員会の開催

	日 時	場 所	参加委員	内 容
1	令和6年8月 22日(木) 14:00~16:00	那覇市 社会福 祉協議 会2階 会議室	●医療福祉関係者 ●社会福祉士 ●学識経験者 ●福祉政策課 ●ちゃーがんじゅう課 ●生活保護課 ●障害福祉課 ●その他	●委嘱状交付 ●運営委員会設置要綱一部改正について ●市長申立て決定状況等 ●令和5年度実績報告 ●権利擁護支援センターについて ●宮古島市権利擁護支援機関の状況 ●成年後見等権利擁護に関する相談会について ●沖縄市社協法人後見に関する県外先進地視察状況 ●その他
2	令和7年1月 29日(水) 14:00~16:00	那覇市 社会福 祉協議 会2階 会議室	●医療福祉関係者 ●弁護士 ●学識経験者 ●福祉政策課 ●障害福祉課 ●その他	●運営委員会設置要綱一部改正について ●実績報告 ●市長申立てで障害福祉課から受任したケース(2件) ●成年後見制度専門窓口設置について進捗状況 ●日自事業・生保金銭管理事業の成年後見に移行が適当と考える利用者 ●その他

[11] 関係機関関連会議・研修会への参加

①法人後見運営委員会調整会議（運営委員会打合せ）

参加者：常務・局長・課長・主幹・主任・専門員

	日 時	場 所	会 議・研 修	内 容	人 数
1	令和 6 年 7 月 19 日（水） 15：00～16：00	那覇市社会福祉協議会 2 階ミーティングスペース	調整会議（運営委員会開催打合せ含む）	●令和 5 年度事業報告 ●成年後見制度利用促進に向けた家庭裁判所と関係自治体との連携への参加について ●運営委員会設置要項の改正について ●被後見人の支援状況について	6 名
2	令和 6 年 8 月 5 日（月） 15:00～16：00	会議室	調整会議（運営委員会開催打合せ含む）	●事業実績 ●ケース状況報告 ●成年後見等権利擁護に関する相談会について ●沖縄市社協の先進地視察について	6 名
3	令和 6 年 11 月 6 日（水） 13：30～14：30	2 階ヘルパー室	調整会議（運営委員会開催打合せ含む）	●第 1 回法人後見運営委員会の振り返り ●法人後見事業実績報告 ●ケースの状況報告 ●10/31（木）成年後見制度促進に関する関係自治体との事務打ち合わせ参加報告 ●第 2 回運営委員会の日程調整 ●その他	6 名
4	令和 7 年 1 月 21 日（火）16：00～17：00	会議室	調整会議（運営委員会開催打合せ含む）	●運営委員会日程決定 ●運営委員会設置要綱の再検討 ●成年後見制度専門相談窓口の設置について ●その他	6 名

②成年後見人養成研修等（人材育成）

	日 時	場 所	会 議・研 修	内 容	人 数
1	令和 6 年 7 月 26 日（金） 9：20～16：50	ZOOM オンライン	成年後見人材育成研修（聴講生）	●研修ガイダンス ●成年後見制度の解説 ●財産法の基礎 ●家庭裁判所の実務の理解	1 名
2	令和 5 年 7 月 27 日（土） 9：20～17：20	ZOOM オンライン	成年後見人材育成研修（聴講生）	●社会福祉士と成年後見～権利擁護の視点から～ ●成年後見活動における判断能力のとらえ方 ●財産管理のための知識 ●後見事務の実務 1	1 名
3	令和 6 年 10 月 25 日（金） 9：20～16：50	ZOOM オンライン	成年後見人材育成研修（聴講生）	●家族法の基礎 ●身上監護のための知識 ●後見事務の実務 2	1 名

4	令和6年10月 26日(土) 9:30~16:00	ZOOM オンライン	成年後見人材育成研修 (聴講生)	●演習①ニーズの把握と対応 ●演習②ネットワーク活用による権利擁護(それぞれの立場での権利擁護実践) ●今後の活動について	1名
5	令和7年2月8日(土) 9:20~16:10	ZOOM オンライン	支援者のための成年後見活用講座	●成年後見制度の概要 ●成年後見制度利用促進法と基礎計画 ●成年後見人の職務 ●成年後見制度の活用方法	1名

③成年後見制度関連研修・会議等

	日 時	場 所	会 議・研 修	内 容	人 数
1	令和6年10月31日(木) 13:30~16:30	那覇家庭裁判所 4階大会議室	成年後見制度利用促進に関する関係自治体との事務打ち合わせ	●成年後見制度利用促進に関する各自治体の検討状況について ●家庭裁判所を含む関係機関との連携の在り方について ●中核機関の設置に向けた取り組みの中で裁判所の支部が管轄する地域に特化した関係機関の担当者協議会などの設置について ●後見事務報告書の統一書式化について ●その他	1名
2	令和6年12月20日(金) 14:00~16:00	WEB開催	令和6年度第1回沖縄県成年後見制度利用促進協議会	●沖縄県内の成年後見制度取組状況 ●自治体における成年後見名等の報酬助成事業について ●浦添市の中核機関について ●中核機関の協議と支援会議について ●その他	1名
3	令和7年2月22日(木) 10:30~11:50 13:30~16:40	沖縄県社会福祉協議会 ゆいホール	令和6年度地域における権利擁護推進会議	●法人後見事業実施社協情報交換会 ●地域における権利擁護推進会議	1名
4	令和7年2月10日(月) 10:30~11:50	沖縄県総合福祉センター東棟402研修室	令和6年度地域における権利擁護推進会議情報交換会	●情報交換「県内の社協法人後見事業の現状と課題について」	1名

5	令和7年2月10日(月) 10:30～11:50	沖縄県総合福祉センター東棟501教室	令和6年度 地域における権利擁護推進会議 地域における権利擁護推進会議	●成年後見制度利用促進に向けた市町村社協の現状・課題 ●本県における成年後見制度促進にかかる取組の現状 ●権利擁護センターくろしおの取り組み～権利擁護支援モデルをとおして～ ●質疑応答 これからの地域における権利擁護推進に向けて果たすべき役割 ●高知県黒潮町社協・黒潮町健康福祉課	1名
---	-----------------------------	--------------------	---	--	----

④内部研修への参加

	日 時	場 所	会 議・ 研修	内 容	人 数
1	令和6年4月10日 15:30～	会議室	弁護士勉強会	リスク管理・個人情報・クレーム対応について①	1名
2	令和6年5月15日 15:00～	会議室	弁護士勉強会	リスク管理・個人情報・クレーム対応について②	1名
3	令和6年6月5日 15:00～	会議室	弁護士勉強会	成年後見制度入門	3名
4	令和6年8月7日 15:00～	会議室	弁護士勉強会	後見実務について	1名

⑤その他

	日 時	場 所	会議・研修	内 容	人 数
1	令和6年11月22日(金) 15:00～16:30	豊見城市福祉センター2階レクセナー	南部地区社会福祉協議会連絡協議会業務担当者連絡会勉強会	●那覇市社協の法人後見事業の概要と実務の説明 ●久米島町社協と豊見城市社協の法人後見の取り組みと状況報告について	1名

(4)預金通帳等緊急預かり支援事業

高齢者及び心身に障がいがある方等、金銭管理等が不十分のため日常生活に支障をきたしているが、日常生活自立支援事業や生活保護世帯金銭管理事業、成年後見制度等の活用が困難である方に対し、他の社会資源の活用が可能となるまでの期間、緊急預かりの支援を行うことにより、その者の権利を擁護し、かつ自立を図ることを目的として実施する。

●令和6年度 預かり件数（1件） 返還件数（1件）